518・519は複合口縁壺。518は外反する一次口縁の上に二次口縁を貼り足すが、二次口縁が剥落。鍔状部となった一次口縁端面と上面に、クシ描き波状文がみられる。519は頸部に突帯を貼り付け、短く屈曲する口縁部が、「く」の次状に短く内側に屈曲させる。二次口縁部外面と頸部にクシ描き波状文がみられる。

520・521は大きくラッパ状に開く口縁部。520は端部を下方にやや肥厚させ、端面にクシ描き波状文を施す。521は口縁端部下側にクシ描き波状文を巡らす。器壁が薄く仕上げが丁寧で、壺以外の可能性も残る。522・523は二重口縁壺の接合部か。

524～572は壺底部。524～537は、底部から一度立ち上がってから体部へと外傾する平底の底部。底部は分厚く、胎土に砂粒・砂礫を多く含み、前期から中期前葉に遡る可能性が高い。538～549は、微弱な例も含んだ凹底の底部。538～540は、底部から一度立ち上がってから体部へと外傾し、他は基本的に底部から直接体部が外傾して立ち上がる。546～549は明確な凹み底で、549はむしろ高台状。そのため、547・549は底部から一度立ち上がってから外傾する。550～554は平底の底部で、底部から直接体部へとやや外反気味に立ち上がる。555～557は平底で、一度底部から立ち上がってから体部へと外傾するが、底部が薄くやや小型。558・559は、平底の底部から内湾気味に体部へと立ち上がる。560～567は、体部に比べかなり小型化した平底の底部。560は若干凹み、562はむしろ凸気味。566・567は体部の立ち上がりがややきつく、甕の可能性もある。568～572は凸状の底部で小型のため、甕あるいは鉢の可能性もある。573は小型の高台状。574は丸底で厚い。

575～579は突帯文系の甕。575～577は口縁から少し下がった位置に薄い断面三角形の突帯を貼り付け、刻み目は小さい。口縁端部は尖り気味。575は器壁が薄く、突帯と口縁端部が平行せず、波状口縁の可能性がある。577の突帯は口縁端部に向かって貼り付けが広がる。578・579は口縁位置が不明ながら、体部に突帯を貼り付ける。578の突帯は低く、細かく刻む。579の突帯は断面方形状に高い（図版22－１）。

580～584は、前期でも中葉以前に遡る可能性の高い甕。580・581は緩やかな如意状口縁。581は口縁端部全面を刻み、口縁部下に沈線はない。580は口縁端部を全面刻み、口縁部下は上下を削り出しによって軽微な幅１㎝前後の段とし、さらに２条のヘラ描き沈線を加えている（図版22－１）。582～584は如意状からさらに屈曲が強くなった口縁部。582は口縁下端部を大ぶりに刻み、583は全面を細かく刻む。584は横ナデの強い口縁端部の下端に、横広の押圧を施している。中期中葉まで降る可能性もある。585は甕体部片で、上端に２条のヘラ描き沈線が残る。

586～594は前期後葉（図版22－２）。586～588は、口縁端部に接して突帯を貼り付ける、所謂瀬戸内型甕。586は無文。587は７条のヘラ描き沈線に１列の刺突文、588は８条のヘラ描き沈線に円管刺突文１列。589～591は、同様に多条のヘラ描き沈線をもつ、折り曲げ口縁の甕。そして、592～594は多条ヘラ描き沈線文をもつ体部片。593はヘラ描き沈線の間に刺突文列を挿入している。

595～598はクシ描き文をもつ甕で中期前葉（図版22－２）。595は瀬戸内型甕で４条１単位のクシ描き文。596は折り曲げ口縁で４条１単位のクシ描き文を３単位重ね、最下部に刺突文列を加える。597は強く逆Ｌ字状に屈曲する口縁で、４条１単位のクシ描き文を３単位重ね、波状文を加える。この文様構成と、かなり内傾する体部から、無頸壺とすべきかもしれない。598もクシ描き文をもつ体部小片。

599は体部の最大幅部に刺突文１列のみをもつ甕体部。刺突文の特徴から、中期前葉を前後する時期。

600は甕蓋。甕蓋自体、中期以降ほとんどなく、ここで提示した。頂部は欠損するが、体部は頂部からハの字状に開き、端部はさらに外反する。頂部内面は横方向のケズリがなされている（図版22－３）。

601～620は中期中葉から後葉の甕（図版22－４）。確実に中期中葉に限定できるのは601。大型で、口縁端部に断面三角形の大きな突帯を貼り付けて上面を水平とし、さらに少し下がった位置に突帯を貼り付け、Ｆ字状。下方の突帯には押圧を施している。

602～606は上半が張る胴部から、「く」の字状に屈曲して口縁部となり、端部は若干肥厚する程度で、横ナデは顕著でない。中期中葉に遡る形態であるが、後葉にも残る。

同様に、端部に横ナデが卓越しないのが609～611。607・608は横ナデが口縁部全体に及び、そのため内湾して受け口状の口縁部となる。607は頸部に布目押圧突帯をもつ。これらは、中期後葉の松山平野でも、道後城北遺跡群にのみ認められる形態である。609～611は短く、「く」の字状に屈曲する口縁部で、

図112　SR-301-③層出土遺物(30)　－弥生土器⑧－　（縮尺1/3）

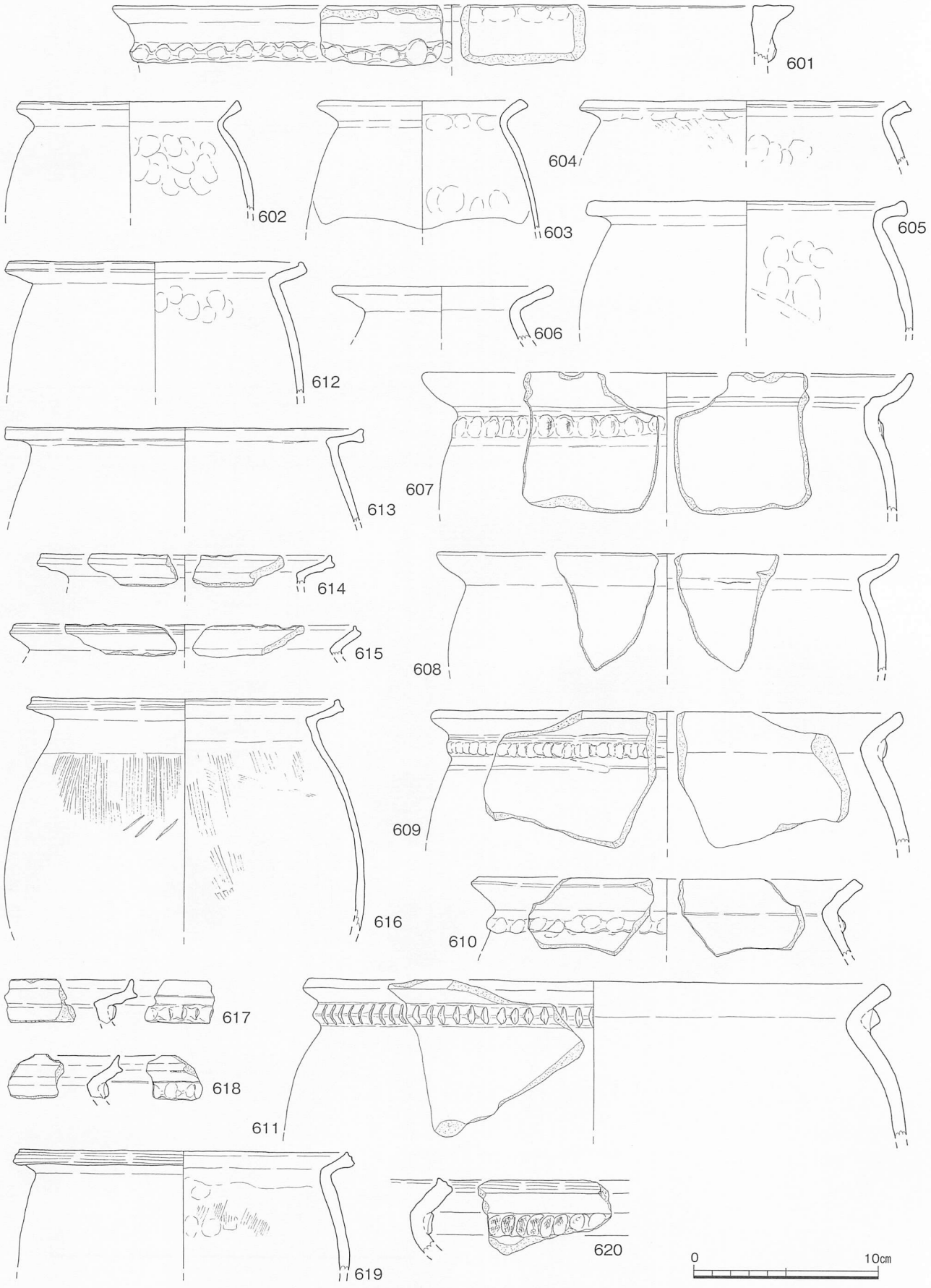

図113　SR-301-③層出土遺物(31)　－弥生土器⑨－　（縮尺1/3）

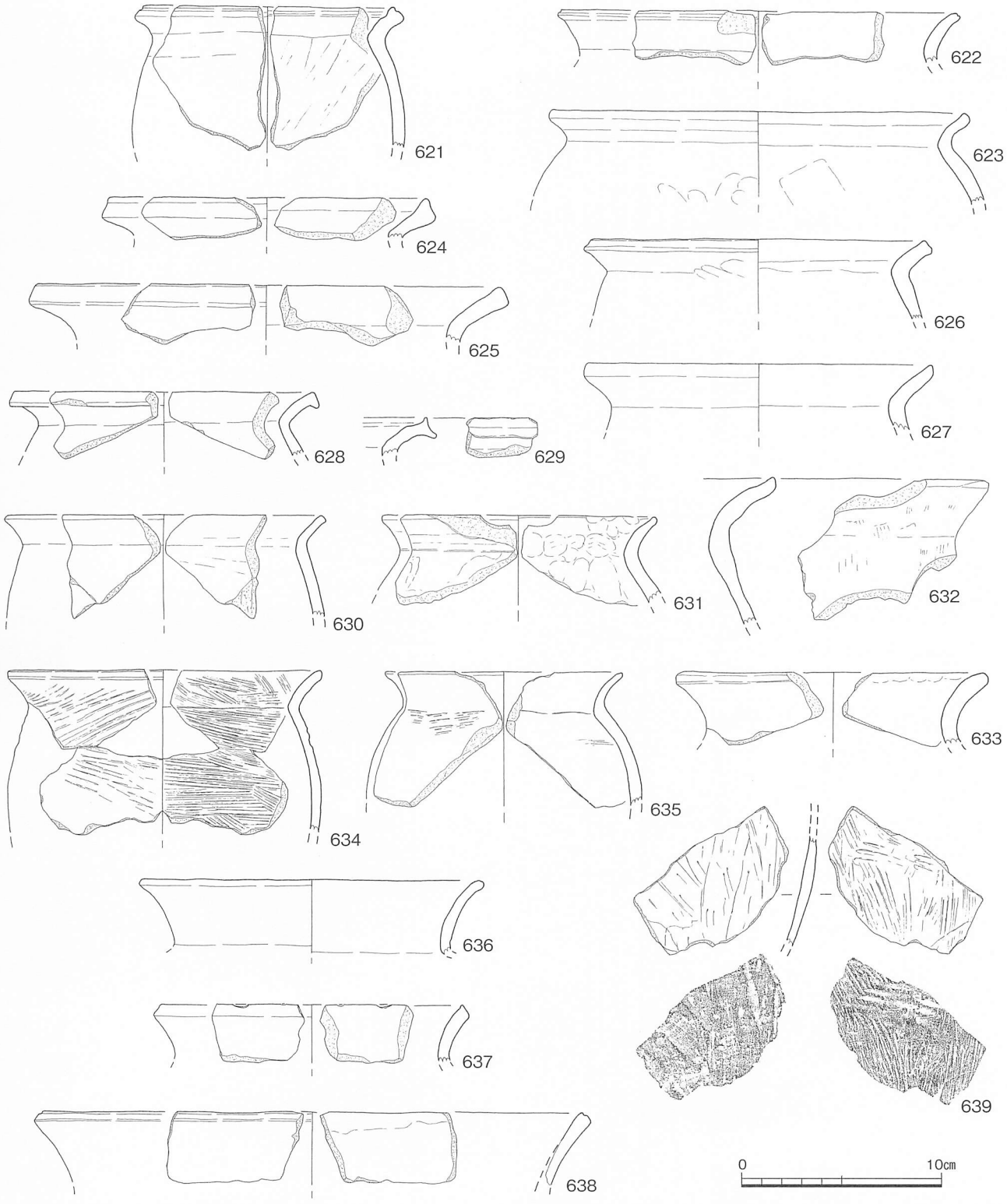

図114　SR-301-③層出土遺物㉜　－弥生土器⑩－　（縮尺1/3）

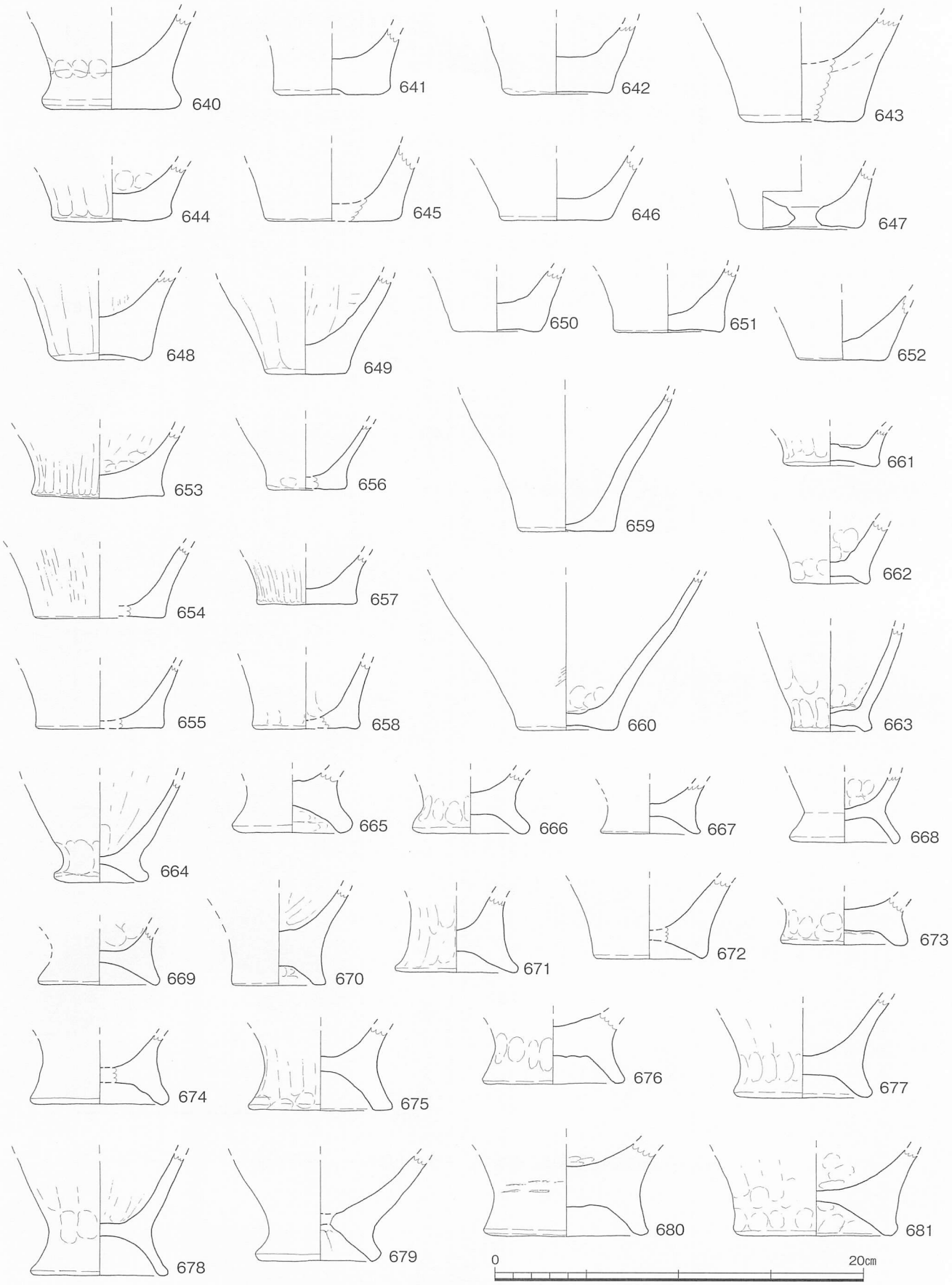

図115　SR-301-③層出土遺物㉝　－弥生土器⑪－　（縮尺1/3）

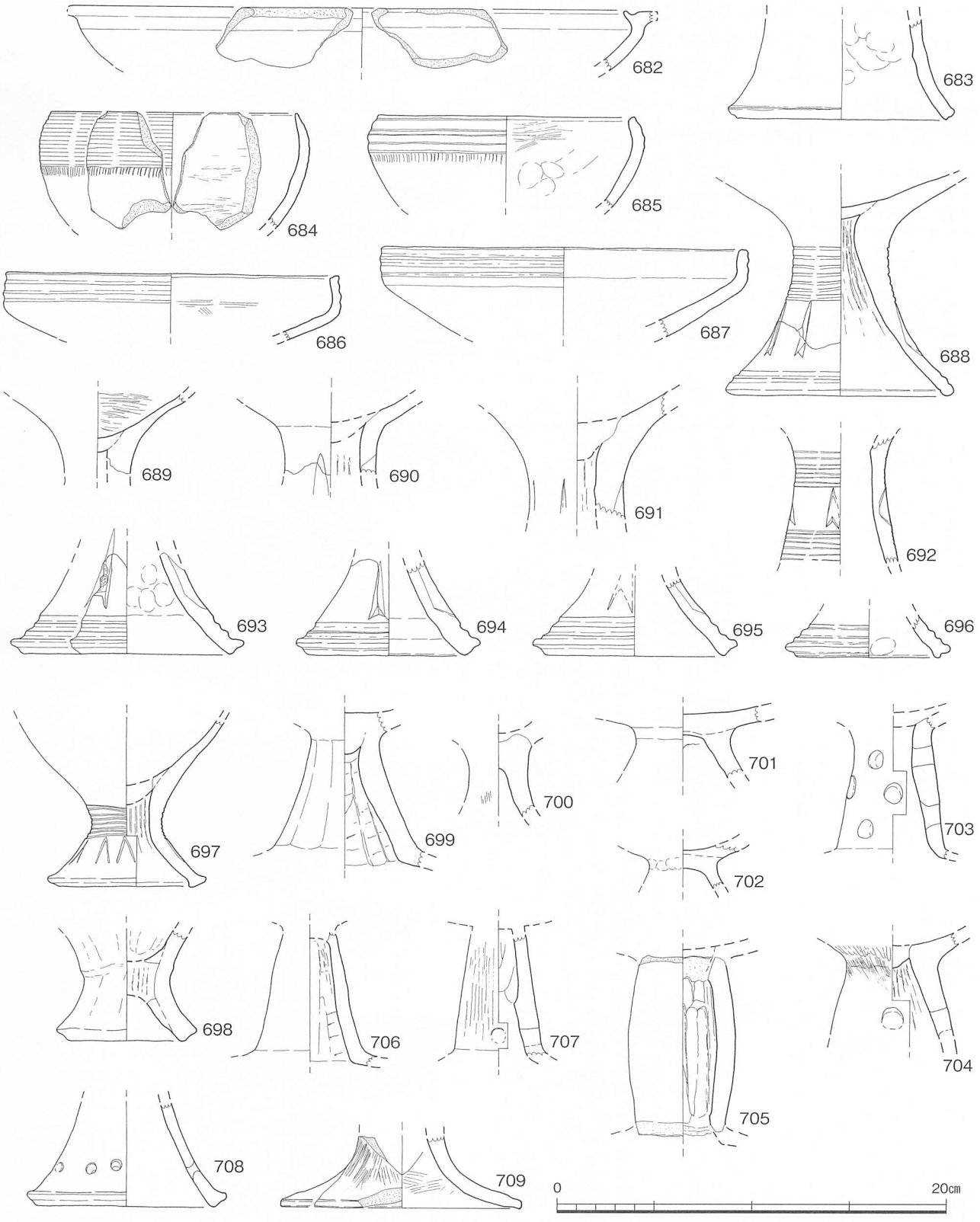

図116　SR-301-③層出土遺物㉞　－弥生土器⑫－　（縮尺1/3）

頸部には押圧ないし刻み目突帯を貼り付ける。610の口縁端部は、横ナデによりわずかに凹状。中期後葉。

612～620は口縁端部に横ナデが卓越する甕で、中期後葉。612は口縁端部を横ナデによりつまみ上げ、613では端面の横ナデも顕著。614～616は一層明瞭な横ナデにより、１条の凹線文となっている。616は上半が残り、内外面頸部付近まで横ナデが施され、外面は以下に縦方向のハケ目が残り、その上から板小口による「ノ」字状の押圧文が胴最大径部より若干上に施されている。内面はヘラケズリが横ナデ付近まで及び、その後一部ハケ目調整も行われている。このケズリにより、器壁はかなり薄く仕上げられている。617･618は、口縁端のつまみ上げをより大きくし、凹線文も幅広となっている。また頸部には刻み目突帯を貼り付ける。619は口縁端部を上下にやや拡張し、２条の凹線文を施す。620も口縁端部に２条の凹線文を施し、頸部に布目押圧突帯をもつ。

621～639は後期の甕（図版22－５）。621・622は口縁部に凹線文あるいは擬凹線文をもつが、頸部の屈曲が中期後葉に比べて緩やかで、後期初頭に位置づけられる。623も体部は張るが、頸部の屈曲が緩やか。624・625は口縁端部が三角形状にやや肥厚し、626は

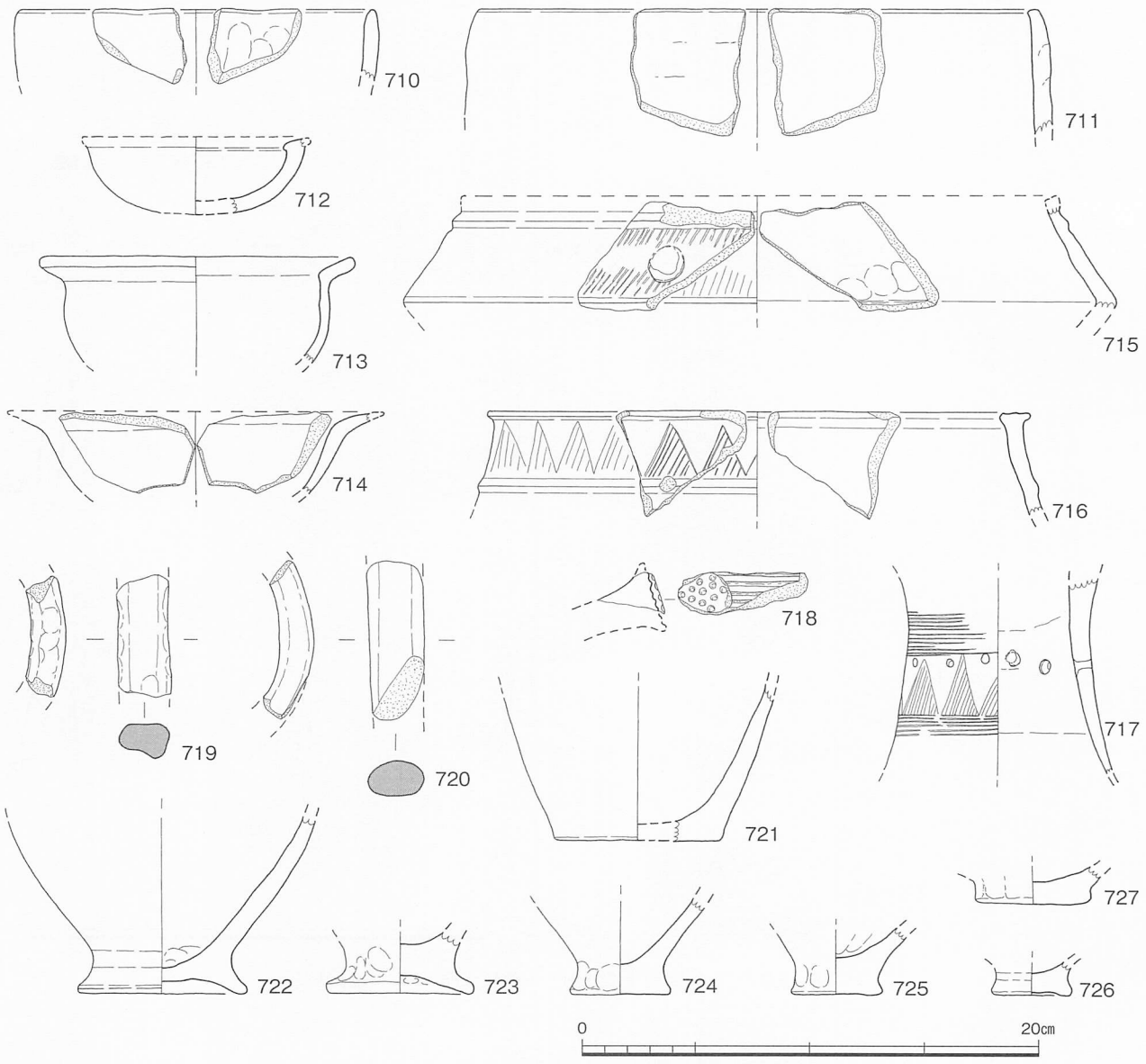

図117　SR-301-③層出土遺物㉟　－弥生土器⑬－　（縮尺1/3）

端部の横ナデがやや強く、627は口縁外端面を丸く、上端をやや尖り気味に収める。628は口縁下端を下方に肥厚させる。後期前葉を前後する時期か。

629は頸部から外反して、横ナデにより端部を上下につまみ出して拡張する。胎土に雲母・角閃石を多く含み、搬入品である。

630～633は、頸部からやや長く外反してのびる口縁部。後期中葉頃か。

634・635は頸部内面が明確な稜を形成し、体部は外面にタタキ調整を残し、634はとくに顕著にタタキ目を残す。後期後葉。636～638は、やや立ち気味に長く外反してのびる口縁部。やはり後期後葉か。639は、外面タタキ後ハケ目調整、内面にケズリを行う甕体部片。後期後葉。

640～681は甕底部。641～652は基本的に平底の厚い底部。胎土に砂粒・砂礫を多く含み、中期前葉以前に遡る可能性が高い。640は底部が外に張り出し、分厚い。642・643・648も分厚い底部である。647は焼成後穿孔がなされ、甑として利用されたとみられる。648・650・651は若干凹み底。

653～660は薄い平底の底部で、一度底部から立ち上がって外傾する。また、外面には縦方向のミガキが行われる。中期中葉から後葉。

661～663は上げ底。後述と比べ、その程度は小さく、また小型。鉢底部の可能性も残る。

664～681は明瞭な上げ底で、底部外面が大きくくびれる。時期は中期中葉から後期前葉。679は焼成後穿孔がなされ、甑としての利用が窺える。680・681は底径がかなり大きく、鉢底部の可能性もある。

682～709は高坏。682は水平の鋤先状口縁をなす坏部。683は低脚でやや径の大きい脚裾部。これらは中期中葉。

684～696は中期後葉の高坏。684～687は口縁部外面に凹線文を巡らす。684・685は内湾し、凹線文下に刺突文を加える。686・687は屈曲して立ち上がる口縁部に凹線文を施す。688は坏接合部から脚裾までが残る。坏底部は円盤充填し、脚上端に８条のヘラ描き沈線、その下に未貫通の矢羽根透が７方向にあり、脚裾部に２条の凹線文が巡る（図版22－６）。689～691は坏と脚の接合部で、いずれも円盤充填。690と691には矢羽根透の上端が残り、690は５単位。692は脚部。上下のヘラ描き沈線文帯間に未貫通の矢羽根透が施され長脚。693～696は脚裾部。脚裾外面に２ないし３条の凹線文、脚下端面にも１条の凹線文を施し、693～695には矢羽根透が認められる。

697は坏中位から脚端部。脚は低脚。坏底部は欠落するが円盤充填。脚上部には８条のヘラ描き沈線を施し、その下位に透が痕跡化した、ヘラ描きの逆Ｖ字文が11単位巡り、脚端部は無文。凹線文は確認できないが、形態から中期後葉か（図版22－７）。698は円盤充填部が欠落するが、短脚の脚部。

699～709は後期の高坏（図版22－８）。699は坏底部を充填するが、脚裾部は変換点をもって広がり、それ以上の内面は粗いケズリ調整を行う。700は細い脚上端部。坏底も一部残る。701・702は坏底部に「ハ」の字状に開く脚上端部が接合し、低脚になるとみられる。703も開放した脚上端部に坏が接合し、脚柱部には千鳥に３段、４方向に円形透が開き、裾部は大きく広がる。704は坏底を円盤充填し、脚部はやや膨らみをもち、３方向の円形透がみられる。705はエンタシス状に中膨らみの脚柱部。坏部とは円盤充填で、裾部も接合部で大きく広がる。内面にはナデつけた痕跡がよく残る。706も裾広がりの脚部。坏部との接合部がわずかに残る。脚内面は横方向のケズリ調整。707も裾広がりの脚柱部で、裾への変換部上位に円形透がみられる。708・709は脚裾部。708は横ナデが脚端部にみられ、脚裾部には小さな円形透が巡る。709は大きくラッパ状に裾広がりになる。

710～727は鉢類を一括した。710・711は直口の鉢。とくに711は大型。712は鋤先状口縁で小型。脚が付き、高坏となる可能性もある。713・714は、「く」の字状に屈曲して外に開く口縁の小型鉢。

715・716は大型の逆「く」の字状に屈曲する口縁部。715は端部に２条の凹線文を施し、２段に「ノ」字状刺突文が巡り、その間に円形浮文を貼り付ける。716は口縁端部が鋤先状、口縁下に左下がりのＬ鋸歯文を巡らせ、下を突帯で区画する。胎土に角閃石の細粒を含み、中部瀬戸内地域からの搬入品とみられる。717は脚柱部で、上からヘラ描き沈線12条、Ｌ鋸歯文とその間に円形透、さらにヘラ描き沈線６条を細い工具で施文する。形態的特徴から716同様、中部瀬戸内地域からの搬入品とみられる（図版22－９）。

718は、上下に拡張した口縁端部に凹線文を４条以上もち、円管刺突文を施した花文状の円形浮文を貼り付ける。壺口縁の可能性も残るが、円形浮文の特徴から、器台口縁部の可能性が高い（図版22－９）。

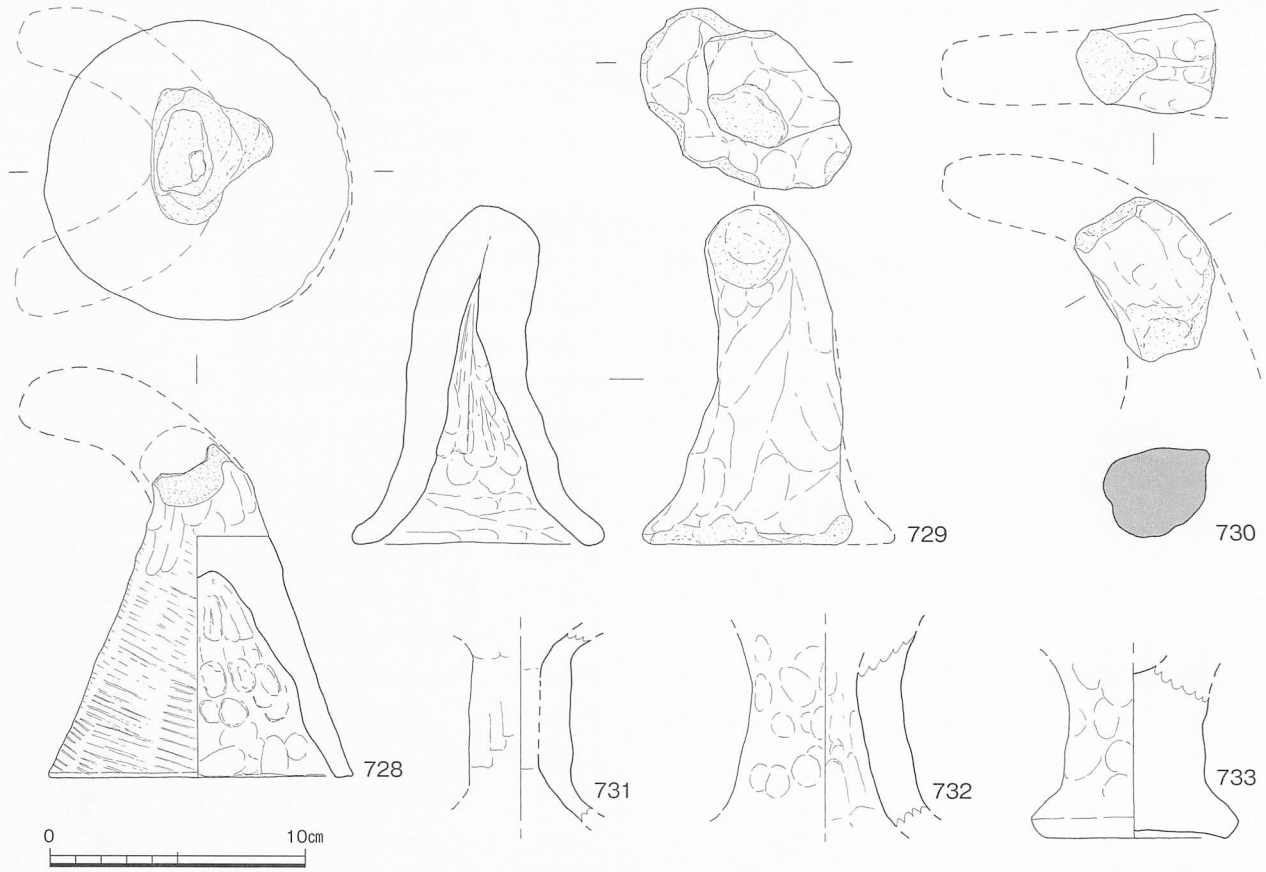

図118　SR-301-③層出土遺物㊱　－弥生土器⑭－　（縮尺1/3）

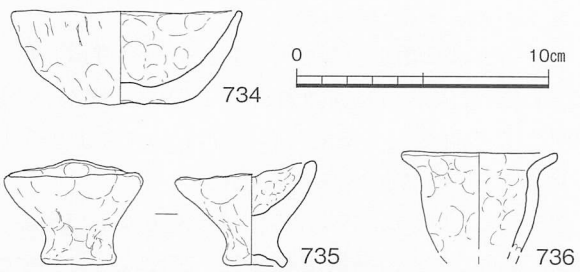

図119　SR-301-③層出土遺物㊲　－弥生土器⑮－
（縮尺1/3）

719・720は湾曲した棒状で、ジョッキ形土器の把手部である。719の断面は、片側が厚みを増しいびつ。721は底径と体部の立ち上がり具合から、ジョッキ形土器の底部とみられる。

722～727は、鉢の可能性が高い底部。722・723は上げ底状の底部。同様の上げ底甕底部に比べ、立ち上がりがやや低く、扁平な感が強い。724～727は小型凸状の底部。甕あるいは壺の可能性も残る。

728～733は支脚（図版23－１）。728は把手部を欠損し円錐状。外面は平行のタタキ目を全面に残し、内面も指オサエを顕著に残す。把手部は頂部から斜め上２方向に付されていたとみられる。729も、同様に２方向に把手部がのびていた支脚であるが、ちょうど半身が残るのみ。内外面とも指オサエ痕が顕著に残る。730は中実で、片側が鰭状に突出し、わずかに湾曲がある。支脚把手部の破片とした。731～733は脚部。731・732は中空の脚部で、調整は高坏に比べて粗い。733は中実で、上端面の一部が残り、低脚となる。

734～736は手捏ね土器あるいはミニチュア土器。734は手捏ねの小型鉢。丸底の椀状で、内外面に指オサエ痕を顕著に残す。735は台付鉢のミニチュア。浅い坏状の鉢に上げ底の高台が付き、内外面に指オサエ痕が顕著に残る。736は、「く」の字状に口縁が開く甕形のミニチュア。

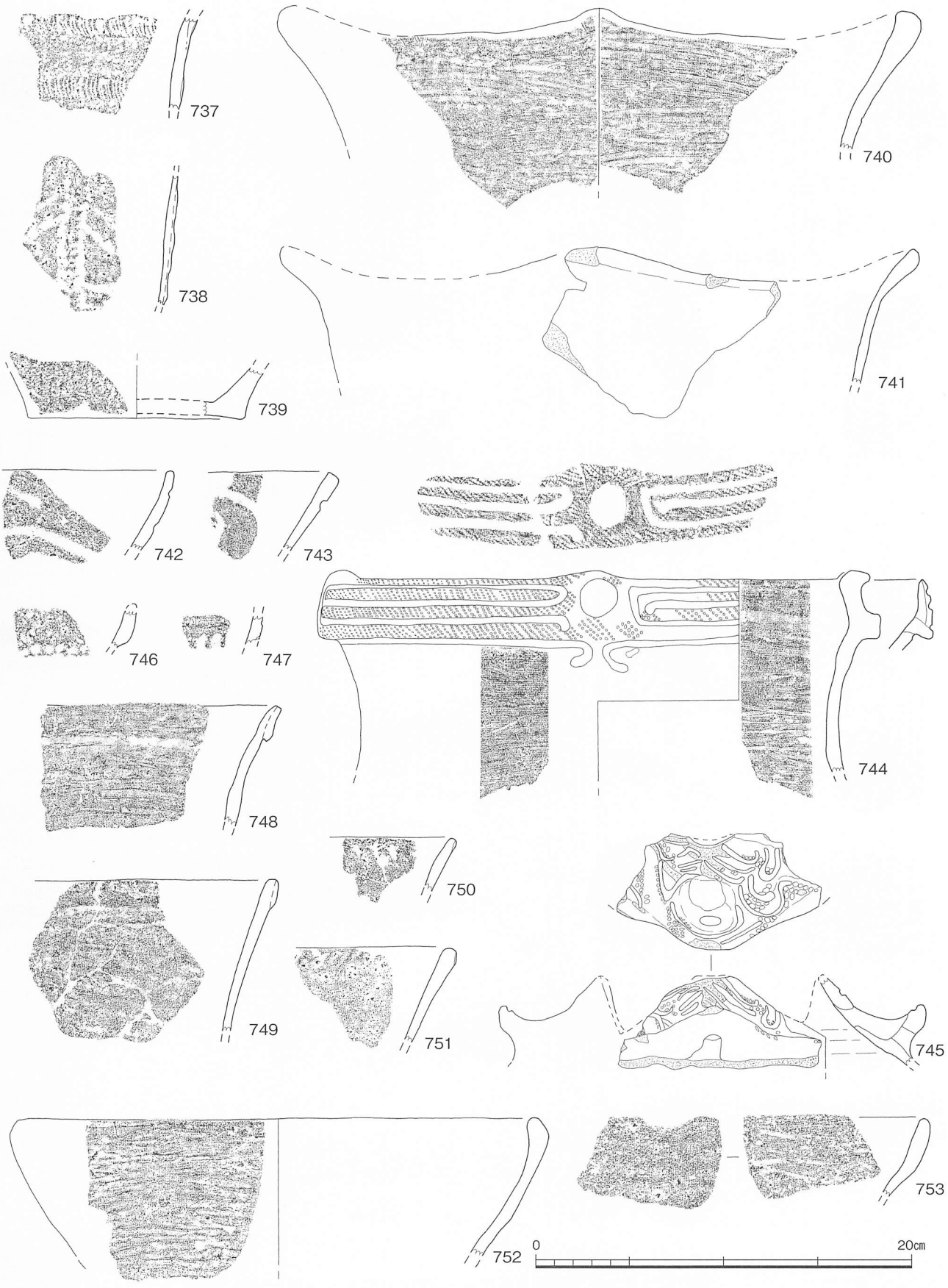

図120　SR-301-③層出土遺物㊳　－縄文土器①－　（縮尺1/3）

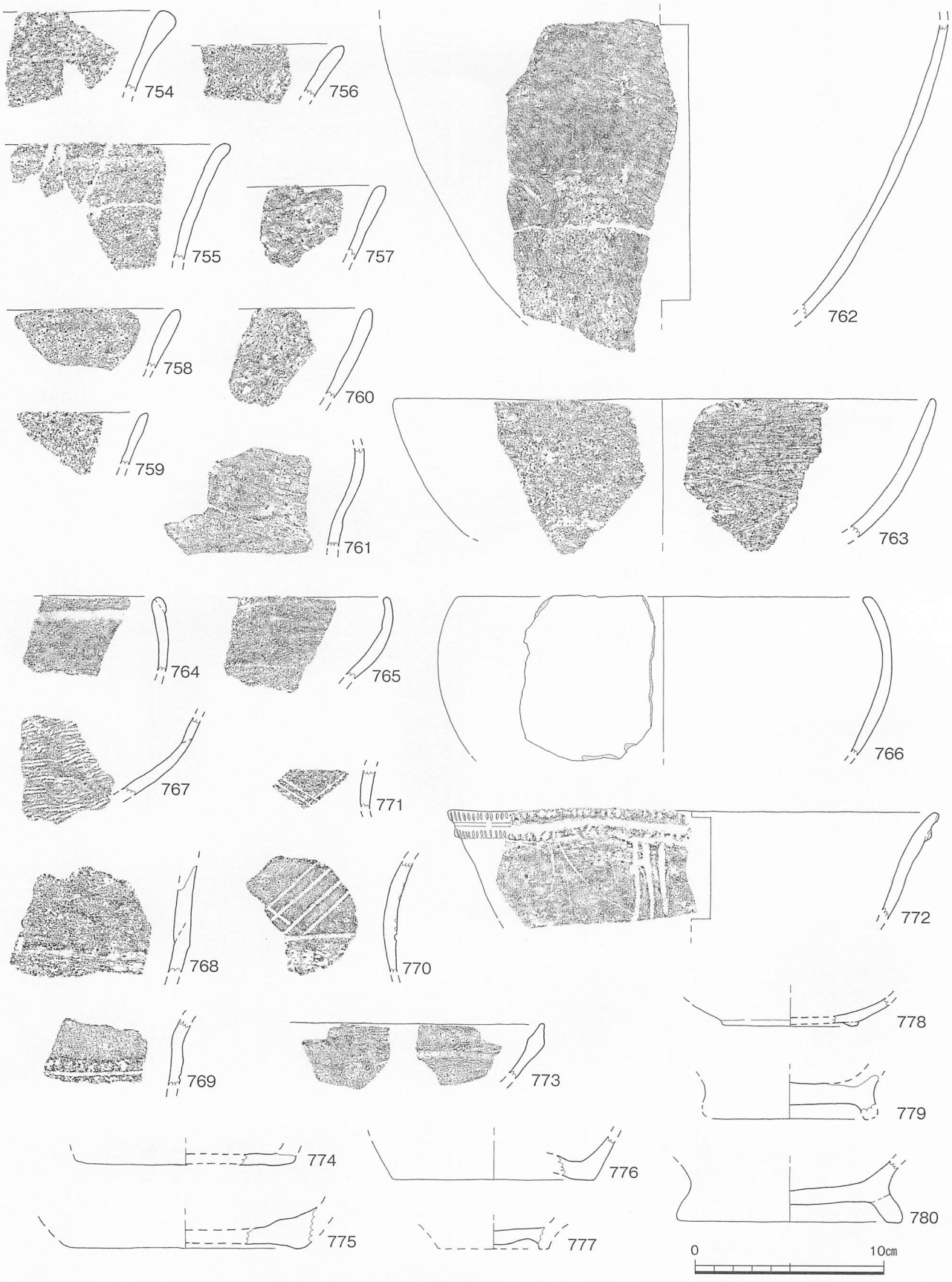

図121　SR-301-③層出土遺物㊴　－縄文土器②－　（縮尺1/3）

[縄文土器]

縄文土器は、737～780の44点を提示する（図120・121、図版23－２～８）。

737はやや外反気味の体部に、連続爪形文を密に施した低平な隆帯２帯がみられる。738は垂下する突帯上を連弧状に刻み、同様の刺突文が交差する。739は平底からわずかに凹む底部で、外面に幅約６㎜のＲ縄文が施される。以上は中期船元式に位置づけられる（図版23－２）。

740～767は後期。740・741は波状口縁で無文。740は内外面に巻貝条痕がよく残る。742は表面が磨滅するが、外面に沈線２条が残る。743はＪ字文がみられ、その間に磨消縄文（RL）がある（図版23－３）。

744は微弱ながら波状口縁を呈し、幅広く肥厚する。口縁波頂部下には径約２cmの円文が配され、その間は３条の太い沈線で区画され、RL 縄文が施されている。また口縁部直下には、太い沈線が横走し、波頂部で折り返されている。内外面調整は巻貝条痕である（図版23－４）。

745は胴部以下を欠損するが、双耳壺の波状突起部。口縁部外面には沈線が施されるが、途切れて長く続かない。沈線間には RL 縄文が施される。内面には粘土紐の痕跡が明瞭に残る（図版23－５）。

746・747は、肥厚する口縁部の下端に刺突文が施される。748・749は、外反する口縁端部に粘土帯を貼り足して肥厚させている。いずれも外面は巻貝による条痕調整。750・751は外反する口縁端部を刻む。752・753はやや内湾気味に肥厚する口縁部。752は外面巻貝条痕がよく残り、内面はおこげ状に炭化物が付着する（図版23－６）。

754～759は外反する口縁部。754は端部が外側に三角形状に肥厚する。761・762は体部片で、761は湾曲部。いずれも巻貝条痕調整。

763～767は浅鉢。763は内湾気味に外傾し、端部は尖り気味に収める。外面はナデ調整、内面に巻貝条痕が残る。764は端部がやや内傾して外側を段状に肥厚させる。765・767は端部を大きく内傾内湾させる。767は体部片で、外面に無節縄文が施される。

768～773は晩期（図版23－７）。768・769は体部屈曲部で、下半にケズリを施し、外反する上半部は丁寧なナデ。770は屈曲部に１条のヘラ描き沈線をもち、上半には４条単位のヘラ描き山形文を施す。771もその部位の小片。772は外反する口縁端部を刻み、端部から少し下がった位置に突帯を貼り付けて刻む。突帯下には、垂下する３条の太いヘラ描き沈線と、両側が裾広がりの微弱な３条のヘラ描き沈線がある。また、外面には煤の付着が認められる。773は浅鉢口縁部。内外面を肥厚させ、断面菱形状を呈する。

774～780は底部。774は、薄い円盤状の平底の上に体部を積んでいたのが剥落している。775～777は小片ながら、凹み底とみられる。778～780は高台状の底部。778は低平で、780は明確な高い高台。

[土製品]

土製品としては、管状土錘が１点と円盤状土製品２点がある（図122）。781は半分が欠損した管状土錘。長辺は４cm程度と、小さく軽い。782・783は円盤状土製品で、胎土および断面形状から、弥生土器片を転用したものとみられる。782は径約4.2cm、厚さ0.9cm、783は径約5.5cm、厚さ0.6～0.8cm。いずれも穿孔は認められず、紡錘車未製品の可能性が高い。

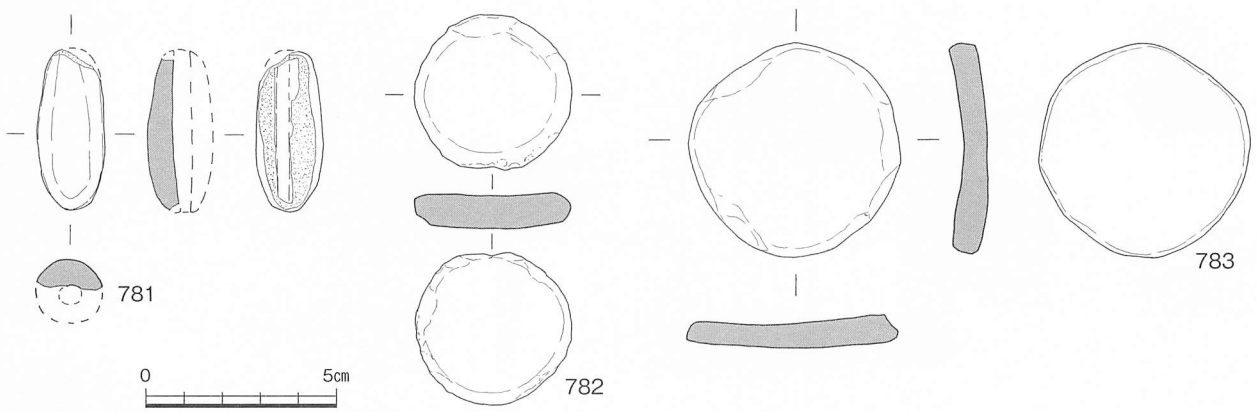

図122　SR-301-③層出土遺物(40)　－土製品－　（縮尺1/2）

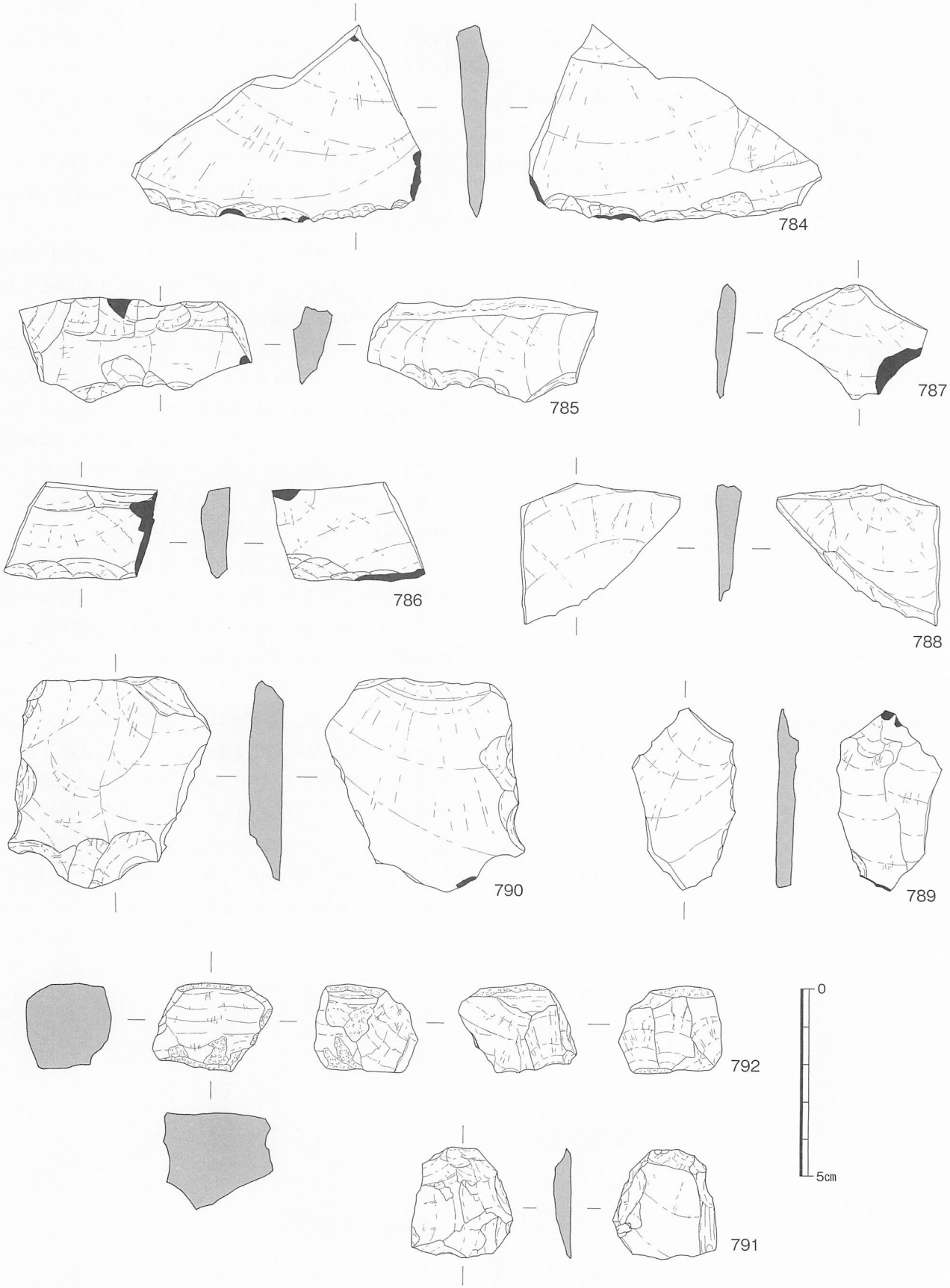

図123　SR-301-③層出土遺物(41)　－石器①－　(縮尺2/3)

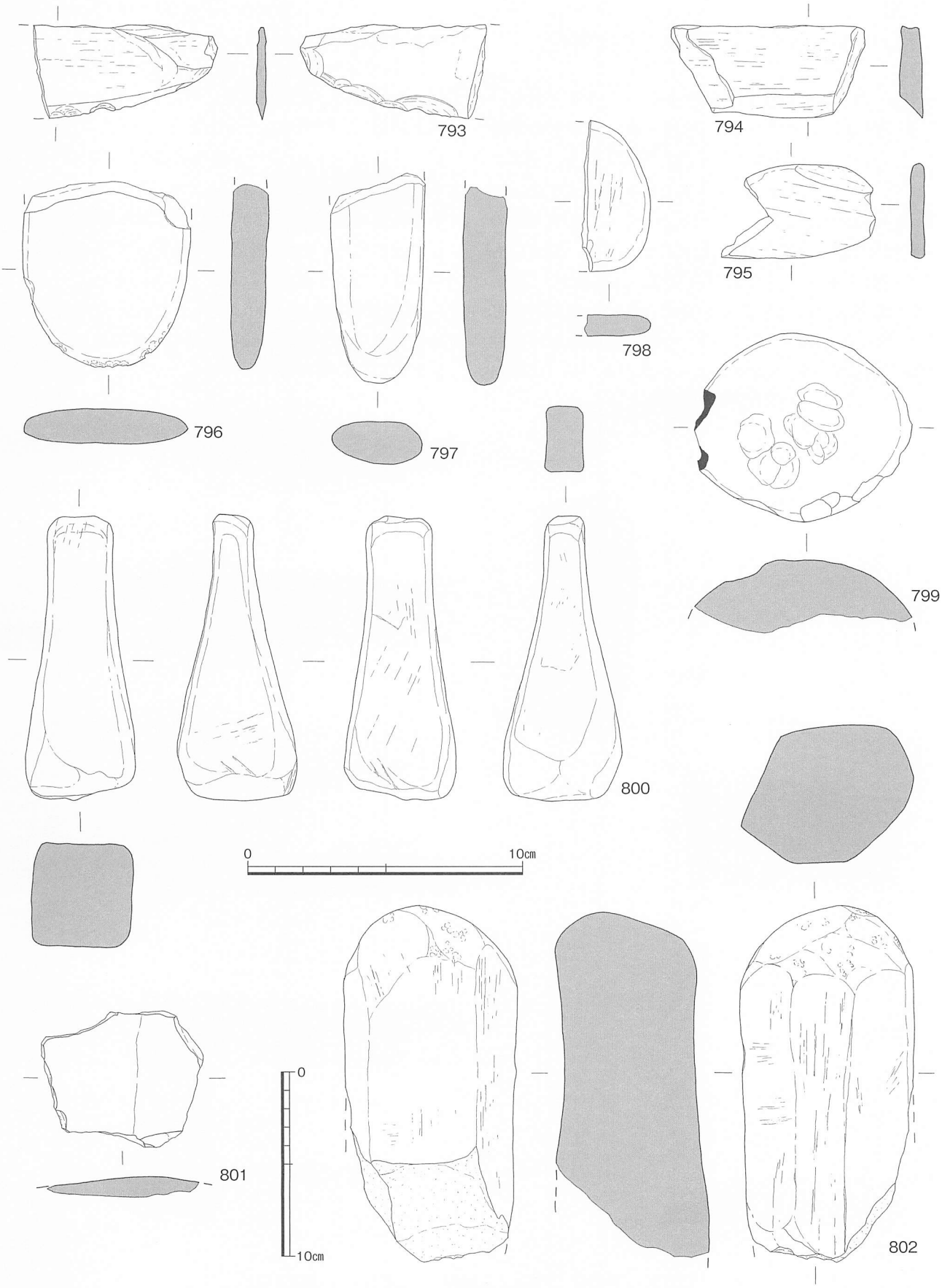

図124　SR-301-③層出土遺物(42)　－石器②－　（縮尺1/2・1/3）

[石器]

石器は24点を提示する（図123～125、図版24－１～７）。

784～792は打製の剥片石器あるいは剥片・石核。784～789はサヌカイト製。784は平面三角形状の刃器で、長辺に細かい調整剥離を施し刃部とする。掻器または削器として使用したと考えられ、使用痕と推定されるつぶれが認められる（図版24－１）。785も刃器の可能性がある。刃部は狭い範囲に形成され、対辺にも調整剥離を施すが、片面のみで厚い（図版24－２）。786の縁辺部には調整剥離が認められ、刃器刃部の可能性がある。787～789は剥片。790は防府産の可能性がある安山岩剥片。水流による磨滅が著しい（図版24－３）。791は赤色頁岩剥片。792は玉随の石核。相対する２辺から剥出されている。

793は結晶片岩製の石庖丁。全面を研磨し製品として仕上げた後、片面が節理に沿って破損。その後縁辺部を研磨し、再利用したものと考えられる。半分が欠損（図版24－４）。794・795は結晶片岩で、素材として持ち込まれたものである。796～798は磨石。797は防府産安山岩の可能性があり、他は砂岩製。798には研磨痕が残る。799は砂岩製の敲石。径８～15㎜程度の剥離が数箇所認められる。

800～802は砥石。800は手持ちで火山岩製。４面とも使用しており、幅12㎜程度の平らな痕跡と、幅５㎜程度の棒状の痕跡が残る（図版24－６）。801は防府産

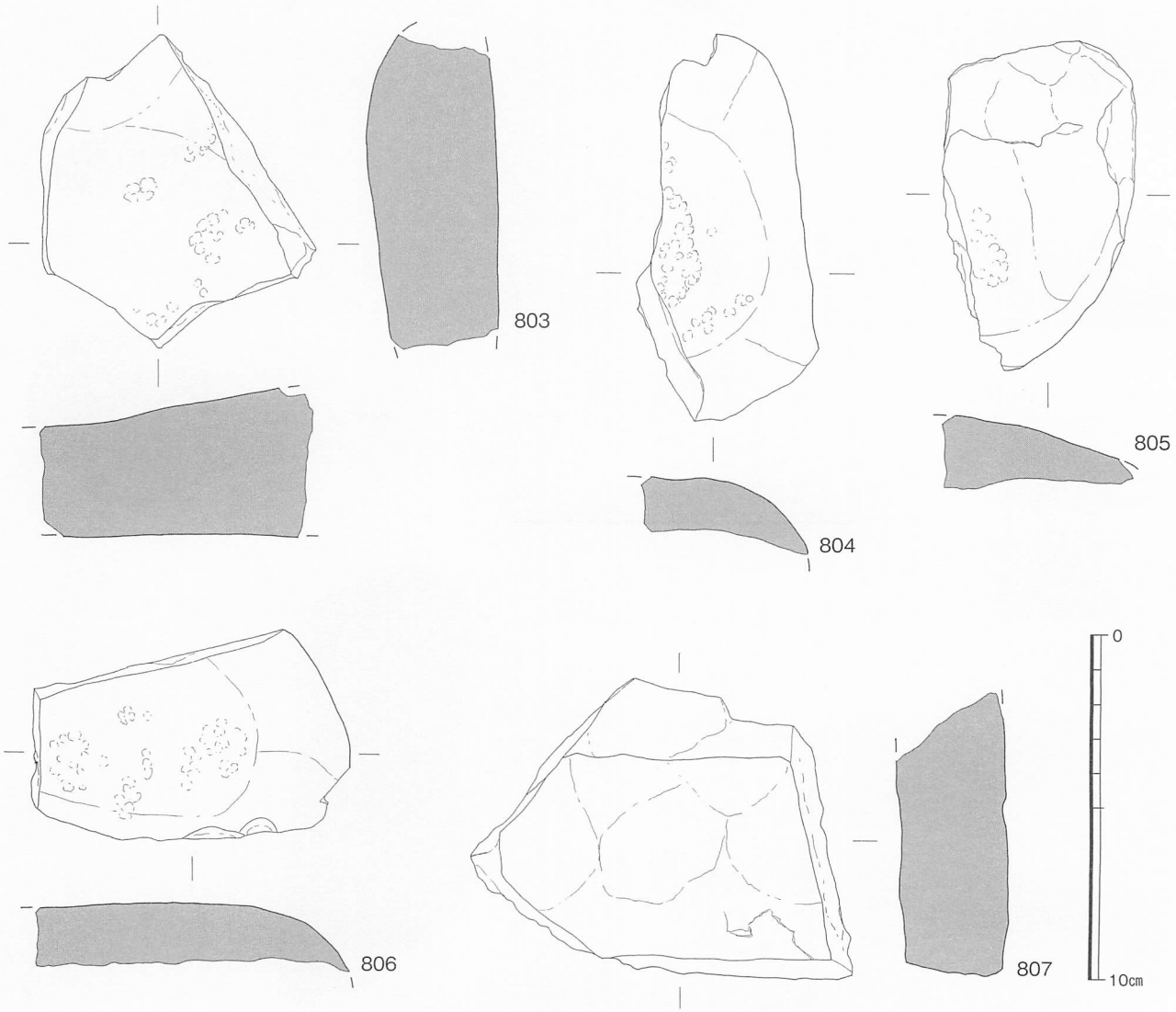

図125　SR-301-③層出土遺物(43)　－石器③－　（縮尺1/2）

安山岩の可能性がある。802は砂岩製。長辺はすべて砥面として使用しており、短辺には敲打痕がわずかに残る（図版24－７）。

803～807は台石。803～806は砂岩製で、807は閃緑岩とみられ、敲打後砥石としても使用されている。

[鉄器]

鉄器は３点を図示する（図126、図版24－８）。

808は不明鉄器。断面は方形で釘に近いが、片側端部が扁平と推定され、釘の可能性は低い。809は平根式の鉄族。鏃身は三角形で、鏃身関は明確でないが、頸部関は直角と推定される（図版24－８）。810は鉄滓。

④　SR-301-④層（e3層）の出土遺物

SR-301-④層として取り上げた遺物は、弥生土器を主体としながら、須恵器・土師器も若干含む。土師器皿には底部にヘラ切り離し痕を残すものがあり、また内黒の黒色土器体部片がある。したがって、SR-301-②層からあまり遡らない堆積と考えられる。

出土遺物から、９点を図化した（図127）。

１は土師器皿の底部。底面に回転ヘラ切り痕が残る。赤彩の可能性もある。２は須恵器長頸壺の肩部片。

３～５は弥生土器。３は甕口縁部。胴部からほぼ直角に屈曲して水平方向にのびる。端部は横ナデによりつまみ上げられたような形状を呈する。外面縦ハケ目、内面ナデを施す。４は高坏口縁部で、外面に多条の凹線文を施す。５は高坏脚部で、脚最上部付近に凹線文を施す。現状で３条が残存。３～５は伊予中部Ⅳ様式にあたる。

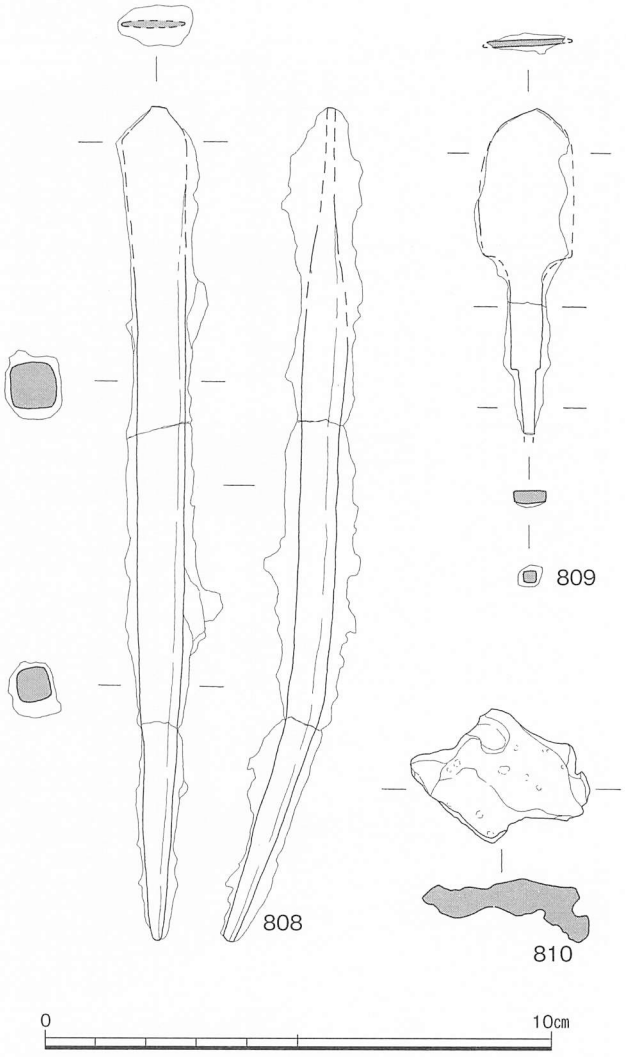

図126　SR-301-③層出土遺物(44)－鉄器①－（縮尺2/3）

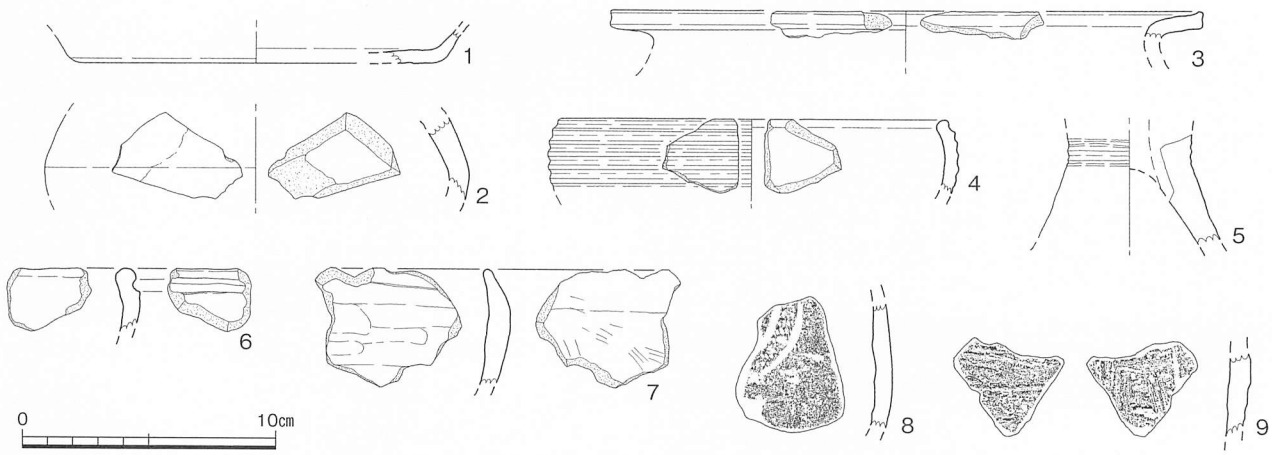

図127　SR-301-④層出土遺物（縮尺1/3）

表12　SR-301-③層出土遺物観察表

図83～126　SR-301-③層出土遺物

遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
1	R63611	r6216	e2層	DX50畔	土師器	坏	口縁部	全面磨滅。内外面浅黄橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	30
2	R62173	r6099	e2層	DQ50	土師器	坏	口縁部	内外面磨滅、横ナデか。にぶい橙色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	30
3	R63127	r6168	e2層	DU49	土師器	坏	口縁部	内外面磨滅。橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	30
4	R62060	r6087	e2層	DQ48	土師器	坏	全形	内外面磨滅。橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	30
5	R63036	r6162	e2層	DU47	土師器	坏	口縁部	内外面磨滅。橙色。微細な石英・長石と赤色粒まばらに含む。	30
6	R62616	r6132	e2層	DS48	土師器	坏	口縁部	全面磨滅。橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	30
7	R62899	r6151	e2層	DT49	土師器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。内外面橙色（塗彩）、断面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒やや多く含む。	30
8	R62089	r6089	e2層	DQ49	土師器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。にぶい黄橙色。微細な石英・長石わずかに含む。	30
9	R63305	r6184	e2層	DV49	土師器	坏	口縁部	全面磨滅、内外面横ナデか。外面橙色（赤彩）、内面・断面にぶい黄橙色。微細な石英・長石ごくわずかに含む。	30
10	R63501	r6201	e2層	DW49	土師器	坏	口縁部	全面磨滅。浅黄橙色。微細な石英・長石、赤色粒まばらに含む。	30
11	R62838	r6146	e2層	DT48	土師器	坏	底部	外面横ナデ、内面回転ナデのち散発的ミガキ。明赤褐色。石英・長石の砂粒～細礫、赤色粒わずかに含む。	30
12	R63581	r6212	e2層	DX49	土師器	坏	底部	全面磨滅、回転ナデか。浅黄橙色。微細な石英・長石・赤色粒わずかに含む。	30
13	R63648	r6219	e2層	DY47	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面淡黄色、内面浅黄橙色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	30
14	R62230	r6105	e2層	DR46	土師器	坏	底部	外面磨滅、内面回転ナデ。外面浅黄橙色、内面明黄褐色。石英・長石の砂粒、赤色粒わずかに含む。	30
15	R62818	r6145	e2層	DT48	土師器	坏	底部	内外面磨滅。外面橙色、内面浅黄橙色。微細な石英・長石・赤色粒まばらに含む。	30
16	R63227	r6177	e2層	DV46	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒を多く含み、赤色粒まばらに含む。	30
17	R62414	r6121	e2層	DR50	土師器	坏	底部	内外面磨滅。内外面橙色、断面黒褐色。微細な石英・長石・赤色粒わずかに含む。	30
18	R62197	r6102	e2層	DR45	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。淡黄色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	30
19	R62025	r6084	e2層	DQ47	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ、外底面回転ヘラ切り離し痕。浅黄橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒わずかに含む。	30
20	R62039	r6085	e2層	DQ47	土師器	坏	底部	内外面磨滅、回転ナデか。浅黄橙色。微細な石英・長石、赤色粒わずかに含む。	30
21	R62779	r6144	e2層	DT48	土師器	坏	底部	内外面磨滅。橙色。微細な石英・長石・赤色粒まばらに含む。	30
22	R62511	r6128	e2層	DS47	土師器	皿	全形	口縁部内面沈線。内外面回転ナデ。外面にぶい褐色、内面黒褐色。微細な石英・長石・赤色粒わずかに含む。	30
23	R62174	r6099	e2層	DQ50	土師器	皿	全形	内外面横ナデ。橙色。微細な石英・長石わずかに含む。	30
24	R63304	r6184	e2層	DV49	土師器	皿	全形	全面磨滅。明赤褐色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	30
25	R63654	r6224	e2層	DY49	土師器	皿	全形	内外面磨滅、回転ナデか。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	30
26	R63161	r6171	e2層	DU50	土師器	皿	全形	全面磨滅。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	30
27	R63207	r6174	e2層	DV45畔	土師器	皿	全形	口縁端部欠損。全面磨滅。橙色。微細な石英・長石と赤色粒まばらに含む。	30
28	R63128	r6168	e2層	DU49	土師器	盤	底部	全面磨滅。淡黄色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	30
29	R63425	r6191	e2層	DW46	土師器	盤	底部	全面磨滅。橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	30
30	R62561	r6129	e2層	DS47	土師器	高坏	坏部	全面磨滅、接合部外面指オサエ。橙色。石英・長石の砂粒～細礫をわずかに含む。	30
31	R62904	r6151	e2層	DT49	土師器	高坏	坏部	全面磨滅。橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	30
32	R62349	r6117	e2層	DR49	土師器	高坏	脚部	外面に沈線。外面磨滅、内面回転ナデ。内外面橙色、断面淡黄色。微細な石英・長石・雲母・赤色粒まばらに含む。	30
33	R63280	r6182	e2層	DV48	土師器	高坏	脚部	脚部横断面多角形。傾き任意。全面磨滅。外面橙色。内面にぶい橙色。石英・長石の砂粒・赤色粒まばらに含む。	30
34	R62453	r6126	e2層	DS46	土師器	高坏	脚部	脚部横断面多角形。外面ヘラケズリ、脚柱部内面オサエ、脚裾部内面横ナデ。橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	30
35	R62940	r6152	e2層	DT49	土師器	高坏	脚部	脚部横断面多角形。全面磨滅。外面ヘラケズリ、内面上半横ナデ、内面下半縦ナデか。内外面橙色。断面浅黄橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	30
36	R62753	r6142	e2層	DT47	土師器	高坏	脚裾部	脚部横断面多角形。外面ケズリ。脚柱部内面指オサエ、脚裾部ナデ。外面橙色（赤彩）、内面にぶい黄橙色。断面に橙色色素の沈着あり。石英・長石・角閃石の砂粒と赤色粒わずかに含む。	30
37	R63652	r6224	e2層	DY49	土師器	高坏	脚裾部	脚部横断面多角形。全面磨滅。外面ヘラオサエ、内面指オサエ。橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒多く含む。	30
38	R63206	r6174	e2層	DV45畔	土師器(赤彩)	坏	口縁部	内外面磨滅。体部内面回転ナデ、底部内面ナデか。内外面赤褐色（赤彩）、断面橙色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	31
39	R62244	r6106	e2層	DR47	土師器(赤彩)	坏	口縁部	口縁部外面指オサエ、内面横ナデ。内外面橙色(赤彩)、断面にぶい黄橙色。微細な石英・長石・赤色粒まばらに含む。	31
40	R62751	r6142	e2層	DT47	土師器(赤彩)	坏	口縁部	内外面回転ナデ。内外面明赤褐色(赤彩残存)、断面浅黄橙色。微細な石英・長石わずかに含む。	31
41	R62084	r6088	e2層	DQ48	土師器(赤彩)	坏	口縁部	内外面磨滅。断面黄褐色。内面下半橙色(赤彩残存)。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	31
42	R62332	r6116	e2層	DR49	土師器(赤彩)	坏	口縁部	内外面回転ナデ。内面一部明赤褐色（赤彩残存）、断面浅黄橙色。微細な石英・長石、赤色粒わずかに含む。	31
43	R62512	r6128	e2層	DS47	土師器(赤彩)	坏	口縁部	内外面磨滅。内外面橙色（赤彩）、断面浅黄橙色。１㎜以下の石英・長石の砂粒、赤色粒わずかに含む。	31
44	R63642	r6218	e2層	DX50	土師器(赤彩)	坏	口縁部	内外面回転ナデのち外面横方向ミガキ。外面橙色（赤彩）、内面・断面にぶい黄橙色。微細な石英・長石、赤色粒わずかに含む。	31
45	R63208	r6174	e2層	DV45畔	土師器(赤彩)	坏	底部	全面磨滅。内外面橙色。外面一部明赤褐色(赤彩残存)。微細な石英・長石、赤色粒わずかに含む。	31
46	R63541	r6204	e2層	DW50	土師器(赤彩)	坏	底部	全面磨滅、回転ナデか。内外面橙色。内面一部明赤褐色（赤彩残存）。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	31
47	R62578	r6131	e2層	DS48	土師器(赤彩)	坏	底部	小型。外面磨滅、内面回転ナデ。橙色。微細な石英・長石、赤色粒をわずかに含む。	31
48	R62684	r6136	e2層	DS49	土師器(赤彩)	坏	全形	外面磨滅、内面回転ナデ。内外面にぶい黄橙色。高台一部橙色(赤彩残存)。微細な石英・長石、赤色粒わずかに含む。	31
49	R63514	r6202	e2層	DW49	土師器(赤彩)	坏	全形	全面磨滅、内外面回転ナデか。内外面とも部分的に赤彩（赤彩褐色）残存、断面橙色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	31
50	R62415	r6121	e2層	DR50	土師器(赤彩)	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面明赤褐色（塗彩）、断面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	31
51	R62615	r6132	e2層	DS48	土師器(赤彩)	坏	底部	外面は表面のみ塗彩、内面は断面４㎜程度赤彩が沈着。内外面磨滅、回転ナデか。内外面橙色（赤彩）、外底面淡黄色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	31
52	R62312	r6113	e2層	DR48	土師器(赤彩)	坏	底部	外面回転ナデ、内面磨滅。内外面明赤褐色（一部赤彩残存）、断面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒わずかに含む。	31
53	R63278	r6182	e2層	DV48	土師器(赤彩)	坏	底部	全面磨滅、内外面赤塗か。橙色。微細な石英・長石・赤色粒まばらに含む。	31

遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
54	R62780	r6144	e2層	DT48	土師器(赤彩)	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面赤褐色(赤彩残存)、断面浅黄橙色。微細な石英・長石まばらに含む。	31
55	R62416	r6123	e2層	DS45畔	土師器(赤彩)	坏	底部	外面回転ナデ、内面磨滅。外面一部赤褐色（赤彩残存）、断面橙色。微細な石英・長石まばらに含む。	31
56	R62560	r6129	e2層	DS47	土師器(赤彩)	坏	底部	外面回転ナデ、内面磨滅。内外面にぶい黄橙色。高台一部橙色(赤彩残存)。微細な石英・長石、赤色粒まばらに含む。	31
57	R62311	r6113	e2層	DR48	土師器(赤彩)	皿	全形	内外面回転ナデ。内外面赤褐色（一部赤彩残存）、断面にぶい橙色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	31
58	R63630	r6217	e2層	DX50畔	土師器(赤彩)	皿	全形	全面磨滅。内外面明赤褐色（赤彩一部残存）、断面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	31
59	R62778	r6144	e2層	DT48	土師器(赤彩)	皿	全形	全面磨滅。内外面にぶい橙色。内面一部明赤褐色（赤彩残存）微細な石英・長石、赤色粒まばらに含む。	31
60	R62324	r6114	e2層	DR48	土師器(赤彩)	皿	全形	内外面回転ナデ。外面にぶい黄橙色、内面橙色(赤彩残存)。石英・長石の砂粒わずかに含む。	31
61	R62733	r6141	e2層	DT46	土師器(赤彩)	盤	底部	内外面磨滅。内外面にぶい黄橙色、高台部明赤褐色（赤彩残存）。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	31
62	R63361	r6186	e2層	DV49	土師器(赤彩)	盤	底部	内外面磨滅、内外面赤彩か。橙色。微細な石英・長石、赤色粒まばらに、微細な角閃石わずかに含む。	31
63	R63338	r6185	e2層	DV49	土師器(赤彩)	盤	底部	内外面磨滅。内外面橙色(赤彩残存)、断面浅黄橙色。微細な石英・長石、赤色粒まばらに含む。	31
64	R62965	r6155	e2層	DT50	土師器(赤彩)	高盤？	口縁部	内外面横ナデか。内外面橙色、断面浅黄橙色。微細な石英・長石わずかに含む。	31
65	R62085	r6088	e2層	DQ48	土師器(赤彩)	高坏	脚裾部	内外面磨滅。焼成軟質。内外面橙色。赤褐色の塗彩わずかに残存。石英・長石の砂粒～細礫わずかに含む。	31
66	R63435	r6193	e2層	DW46	土師器	甕	肩部	胴部外面横ナデのち一部縦ナデ。口縁部内面横ナデ、胴部内面ナデか。にぶい赤褐色、下半煤付着か。石英・長石の砂粒まばらに含む。	32
67	R62024	r6084	e2層	DQ47	土師器	甕	口縁部	口縁部内外面横ナデ、体部外面左上がりハケ目、体部内面横ハケ目のちナデ。内外面にぶい黄橙色、外面一部橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	32
68	R62685	r6136	e2層	DS49	土師器	甕	上半部	外面縦ハケ目のち口縁部横ナデ。内面は口縁部横ハケ目、胴部指ナデのち横ハケ目・ナデ。外面灰黄色・黒色（煤付着）、内面口縁部～胴部上半灰白色、内面下半灰黄褐色。石英・長石の砂粒、雲母やや多く含む。	32
69	R63040	r6163	e2層	DU48	土師器	甕	口縁部	全面磨滅。内外面横ナデか。内外面明赤褐色、断面にぶい黄色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	32
70	R62734	r6141	e2層	DT46	土師器	甕	上半部	口縁部内外面横ナデ。胴部外面指オサエのち縦方向ハケ目、内面指オサエのち横ナデ。内外面にぶい黄橙色、外面一部煤付着。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	32
71	R62562	r6129	e2層	DS47	土師器	甕	口縁部	口縁部外面ナデ、内面横方向ハケ目。胴部外面左上がりハケ目、内面上部横ハケ目、下部ナデ。外面にぶい黄褐色、内面にぶい橙色。石英・長石の砂粒～細礫、赤色粒多く含む。	32
72	R62198	r6102	e2層	DR45	土師器	甕	口縁部	口縁部外面にヘラ記号（×）。内外面横ナデ、体部外面左上がりハケ目、外面にぶい黄橙色、内面橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	32
73	R63542	r6204	e2層	DW50	土師器	甕	口縁部	口縁部外面にヘラ記号（×）。口縁部横ナデ、胴部外面左上がりハケ目。内外面明褐色、断面暗灰黄色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	32
74	R62125	r6092	e2層	DQ49	土師器	甕	口縁部	口縁部内外面横ナデ、体部外面ハケ目か、体部内面ナデ。内外面にぶい褐色。外面煤付着。4㎜以下の石英・長石・チャートの砂粒～中礫多く含む。	32
75	R63483	r6199	e2層	DW48	土師器	甕	上半部	接合しないが、下半部の可能性のある破片あり。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦ハケ目、胴部内面ナデ・オサエ。胴部下半は右上がりハケ目のち左上がりハケ目。内外面にぶい橙色。外面一部黒褐色（煤付着）。石英・長石の砂粒～細礫多く、赤色粒まばらに含む。	32
		r6200	e2層	DW48					
		r6211	e2層	DX48					
76	R62748	r6142	e2層	DT47	須恵器	坏蓋	下半部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	35
77	R62749	r6142	e2層	DT47	須恵器	坏蓋	下半部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	35
78	R62677	r6136	e2層	DS49	須恵器	坏蓋	全形	内外面回転ナデ、天井部外面ヘラケズリ。外面灰色、内面灰白色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	35
79	R63381	r6187	e2層	DV50	須恵器	坏蓋	下半部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	35
80	R62657	r6135	e2層	DS49	須恵器	坏蓋	下半部	外面磨滅、内面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒、炭化物多く含む。	35
81	R63408	r6188	e2層	DV50	須恵器	坏蓋	全形	内外面回転ナデ、天井部外面回転ヘラケズリ。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	35
82	R63154	r6171	e2層	DU50	須恵器	坏蓋	下半部	内外面回転ナデ。内外面灰色、断面浅黄色。石英・長石の砂粒、微細な炭化物まばらに含む。	35
83	R63623	r6217	e2層	DX50畔	須恵器	坏蓋	下半部	内外面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石・炭化物まばらに含む。	35
84	R62807	r6145	e2層	DT48	須恵器	坏蓋	下半部	内外面回転ナデ。内外面灰色。微細な石英・長石わずかに含む。	35
85	R62901	r6151	e2層	DT49	須恵器	坏蓋	下半部	全面磨滅。焼成軟質。橙色。微細な石英・長石まばらに含む。	35
86	R62597	r6132	e2層	DS48	須恵器	坏身	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石わずかに含む。	35
87	R62304	r6113	e2層	DR48	須恵器	坏身	上半部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒～細礫わずかに含む。	35
88	R62079	r6088	e2層	DQ48	須恵器	坏身	上半部	内外面回転ナデ。口縁部外面～内面灰色、体部外面黒色（自然釉）。石英・長石の砂粒まばらに含む。	35
89	R63447	r6195	e2層	DW47	須恵器	坏身	体部	内外面回転ナデ。外面は体部下半回転ヘラケズリ。内外面灰色、断面灰赤色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	35
90	R63017	r6161	e2層	DU47	須恵器	坏身	全形	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリ。灰色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	35
91	R62194	r6102	e2層	DR45	須恵器	坏身	体部	内外面回転ナデ、体部下半回転ヘラケズリ。灰色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	35
92	R62923	r6152	e2層	DT49	須恵器	坏身	上半部	内外面回転ナデ、体部下半回転ヘラケズリ。外面灰色、内面灰黄色。石英・長石の砂粒～細礫まばらに含む。	35
93	R62423	r6125	e2層	DS45	須恵器	坏身	上半部	内外面回転ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒～細礫、炭化物まばらに含む。	35
94	R62305	r6113	e2層	DR48	須恵器	坏身	上半部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	35
95	R63055	r6164	e2層	DU48	須恵器	坏身	上半部	内外面回転ナデ。焼成やや軟質。橙色。石英・長石の砂粒と赤色粒まばらに含む。	35
96	R62676	r6136	e2層	DS49	須恵器	坏身	上半部	内外面回転ナデ、外面下半回転ヘラケズリ。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	35
97	R63086	r6167	e2層	DU49	須恵器	坏身	体部	内外面回転ナデ。外面暗灰色（自然釉）、内面灰色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	35
98	R63085	r6167	e2層	DU49	須恵器	坏身	体部	内外面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石、炭化物わずかに含む。	35
99	R62806	r6145	e2層	DT48	須恵器	坏身	上半部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石わずかに含む。	35
100	R62032	r6085	e2層	DQ47	須恵器	坏身	上半部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石わずかに含む。	35
101	R63324	r6185	e2層	DV49	須恵器	坏身	上半部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	35
102	R63686	r6231	e2層	DY50西畔	須恵器	坏身	上半部	内外面回転ナデ。青灰色、外面自然釉。石英・長石の砂粒わずかに含む。	35
103	R63155	r6171	e2層	DU50	須恵器	坏身	上半部	内外面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石わずかに含む。	35
104	R62397	r6121	e2層	DR50	須恵器	坏身	底部	内外面回転ナデ後、底部外面回転ヘラケズリ、底部内面不定方向ナデ。灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	35
105	R63271	r6182	e2層	DV48	須恵器	坏身	底部	外面回転ヘラケズリ、内面回転ナデ。内面中心部に青海波文あて具痕。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含み、3㎜以下の砂粒・炭化物わずかに含む。	35
106	R63123	r6168	e2層	DU49	須恵器	蓋	口縁部	かえりあり。内外面回転ナデ。内外面灰色、断面灰褐色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	36
107	R63187	r6172	e2層	DU50	須恵器	蓋	口縁部	かえりあり。内外面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石やや多く含む。	36

遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
108	R62353	r6117	e2層	DR49	須恵器	蓋	口縁部	かえりあり。内外面回転ナデ。内外面灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	36
109	R63186	r6172	e2層	DU50	須恵器	蓋	口縁部	かえりあり。内外面回転ナデ。内外面灰白色、内面一部灰色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	36
110	R63018	r6161	e2層	DU47	須恵器	蓋	口縁部	内外面回転ナデ。内外面灰白色、外面一部オリーブ褐色（自然釉）。微細な石英・長石、炭化物わずかに含む。	36
111	R62549	r6129	e2層	DS47	須恵器	蓋	口縁部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石わずかに含む。	36
112	R63327	r6185	e2層	DV49	須恵器	蓋	口縁部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	36
113	R63387	r6187	e2層	DV50	須恵器	蓋	口縁部	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面明褐色（破損後に付着した酸化鉄による）。微細な石英・長石わずかに含む。	36
114	R62505	r6128	e2層	DS47	須恵器	蓋	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石わずかに含む。	36
115	R62122	r6092	e2層	DQ49	須恵器	蓋	口縁部	内外面回転ナデ。内外面青灰色、断面灰褐色。石英・長石の砂粒～細礫まばらに含む。	36
116	R63093	r6167	e2層	DU49	須恵器	蓋	口縁部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石、炭化物わずかに含む。	36
117	R62928	r6152	e2層	DT49	須恵器	蓋	口縁部	内外面磨滅、回転ナデか。焼成やや軟質。外面灰褐色、内面にぶい橙色。石英・長石の砂粒～細礫、微細な赤色粒まばらに含む。	36
118	R62605	r6132	e2層	DS48	須恵器	蓋	口縁部	内外面回転ナデ。焼き歪みあり。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	36
119	R62354	r6117	e2層	DR49	須恵器	蓋	口縁部	内外面回転ナデ。焼成やや軟質。内外面灰白色。微細な石英・長石、炭化物わずかに含む。	36
120	R62110	r6091	e2層	DQ49	須恵器	蓋	口縁部	内外面回転ナデ。灰白色。石英・長石・チャートの砂粒まばらに含む。	36
121	R62710	r6139	e2層	DS50	須恵器	蓋	全形	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面灰色。石英・長石の砂粒～細礫まばらに含む。５㎜以下の粒状炭化物付着。	36
122	R62099	r6090	e2層	DQ49	須恵器	蓋	口縁部	外面磨滅、内面回転ナデ。焼成軟質。灰白色。微細な石英・長石と炭化物まばらに含む。	36
123	R62229	r6105	e2層	DR46	須恵器	蓋	口縁部	内外面磨滅。内外面にぶい橙色。微細な石英・長石わずかに、赤色粒多く含む。	36
124	R63601	r6216	e2層	DX50畔	須恵器	蓋	つまみ	赤焼け須恵器。全面磨滅。橙色。微細な石英・長石まばらに含む。	36
125	R62939	r6152	e2層	DT49	須恵器	蓋	つまみ	赤焼け須恵器。全面磨滅。橙色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	36
126	R62170	r6099	e2層	DQ50	須恵器	蓋	つまみ	赤焼け須恵器。擬宝珠状つまみ。内外面回転ナデ。橙色。石英・長石の砂粒と赤色粒わずかに含む。	36
127	R62271	r6109	e2層	DR47	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰白色。２㎜以下の石英・長石まばらに含む。	37
128	R63122	r6168	e2層	DU49	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	37
129	R62352	r6117	e2層	DR49	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。外面にぶい赤褐色、内面灰色。微細な石英・長石やや多く含む。	37
130	R62399	r6121	e2層	DR50	須恵器	坏	口縁部	外面磨滅、回転ナデか、内面回転ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	37
131	R63602	r6216	e2層	DX50畔	須恵器	坏	口縁部	全面磨滅。内外面灰白色、外面下半灰色。石英・長石の砂粒～細礫と炭化物まばらに含む。	37
132	R63409	r6188	e2層	DV50	須恵器	坏	全形	内外面回転ナデ、外底面回転ヘラ切り離し。灰白色。石英・長石の砂粒～中礫まばらに含む。	37
133	R62728	r6141	e2層	DT46	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒、炭化物わずかに含む。	37
134	R62501	r6128	e2層	DS47	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石多く含む。	37
135	R63087	r6167	e2層	DU49	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	37
136	R62033	r6085	e2層	DQ47	須恵器	坏	全形	内外面回転ナデ、外底面回転ヘラ切り離し痕。灰白色。石英・長石の砂粒多く含む。	37
137	R62891	r6151	e2層	DT49	須恵器	坏	口縁部	内外面磨滅、回転ナデか？外面灰色、内面淡黄色。微細な石英・長石・雲母と赤色粒やや多く含む。	37
138	R63389	r6187	e2層	DV50	須恵器	坏	口縁部	内面にヘラ記号（×）。内外面回転ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	37
139	R63124	r6168	e2層	DU49	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。内外面灰白色、内面一部灰色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	37
140	R62241	r6106	e2層	DR47	須恵器	坏	口縁部	内外面磨滅、回転ナデか。灰白色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	37
141	R62176	r6101	e2層	DQ50東畔	須恵器	坏	全形	外面磨滅、内面回転ナデ。焼成やや軟質。灰白色。微細な石英・長石わずかに含む。	37
142	R62999	r6160	e2層	DU46南壁	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石と炭化物わずかに含む。	37
143	R63603	r6216	e2層	DX50畔	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石・炭化物わずかに含む。	37
144	R62377	r6118	e2層	DR49	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。焼成やや軟質。灰白色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	37
145	R63140	r6170	e2層	DU49	須恵器	坏	全形	外面磨滅、回転ナデか、内面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石まばらに含む。	37
146	R62224	r6105	e2層	DR46	須恵器	坏	全形	内外面回転ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	37
147	R62081	r6088	e2層	DQ48	須恵器	坏	全形	外面磨滅、内面回転ナデ。焼成は瓦質に近い。浅黄橙色。口縁部内外面暗灰色。微細な石英・長石わずかに含む。	37
148	R62924	r6152	e2層	DT49	須恵器	坏	全形	内外面回転ナデ、外底面ヘラ切り離し痕。灰白色。石英・長石の砂粒と炭化物まばらに含む。	37
149	R62976	r6157	e2層	DU46	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。焼成やや軟質で瓦質に近い。外面灰色、内面灰白色。微細な石英・長石わずかに含む。	37
150	R63410	r6188	e2層	DV50	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。外面灰オリーブ色（自然釉）、内面灰白色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	37
151	R63446	r6195	e2層	DW47	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石わずかに含む。	37
152	R63562	r6209	e2層	DX48	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	37
153	R63325	r6185	e2層	DV49	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	37
154	R62544	r6129	e2層	DS47	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	37
155	R63302	r6184	e2層	DV49	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	37
156	R63303	r6184	e2層	DV49	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石わずかに含む。	37
157	R62835	r6146	e2層	DT48	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石わずかに含む。	37
158	R63247	r6180	e2層	DV47	須恵器	坏	全形	体部内外面回転ナデ、内底面ナデ。灰白色。口縁部の一部暗灰黄色。微細な石英・長石わずかに含む。	37
159	R63188	r6172	e2層	DU50	須恵器	坏	全形	内外面磨滅、回転ナデか？焼成やや軟質。灰白色。微細な石英・長石わずかに含む。	37
160	R63553	r6208	e2層	DX47	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。内外面灰白色、口縁部外面灰色（重ね焼き痕か）。内面火襷。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	37
161	R63659	r6225	e2層	DY49	須恵器	坏	口縁部	全面磨滅、回転ナデか。内外面灰白色、内面一部黄灰色。微細な石英・長石わずかに含む。	37
162	R62541	r6129	e2層	DS47	須恵器	坏	全形	内外面回転ナデ、内底面ナデ、外底面ヘラ切り離し痕。灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	37
163	R62542	r6129	e2層	DS47	須恵器	坏	全形	内外面回転ナデ、外底面ヘラ切り離し痕。灰白色。石英・長石の砂粒～細礫わずかに含む。	37
164	R62376	r6118	e2層	DR49	須恵器	坏	全形	全面磨滅、一部回転ナデ残存。灰色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	37
165	R62983	r6158	e2層	DU46	須恵器	坏	口縁部	外面磨滅、内面回転ナデ。焼成やや軟質で灰白色。微細な石英・長石わずかに含む。	37
166	R62770	r6144	e2層	DT48	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。内外面灰色、断面灰黄褐色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	37
167	R62398	r6121	e2層	DR50	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	37
168	R62984	r6158	e2層	DU46	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石わずかに含む。	37
169	R62034	r6085	e2層	DQ47	須恵器	坏	全形	内外面磨滅、回転ナデか。焼成瓦質に近い。灰白色、外底面一部灰色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	37
170	R63157	r6171	e2層	DU50	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	37
171	R63388	r6187	e2層	DV50	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石わずかに含む。	37
172	R63639	r6218	e2層	DX50	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。焼成やや軟質。外面灰色、内面灰白色。微細な石英・長石わずかに含む。	37
173	R62273	r6109	e2層	DR47	須恵器	坏	口縁部	内外面磨滅、回転ナデか。焼成軟質で灰白色。石英・長石わずかに含む。	37

遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
174	R62355	r6117	e2層	DR49	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	37
175	R62177	r6101	e2層	DQ50東畔	須恵器	坏	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石まばらに含む。	37
176	R63088	r6167	e2層	DU49	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ、外底面ヘラ切り離し痕。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	38
177	R63185	r6172	e2層	DU50	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。外底面ヘラ切り離し痕。灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	38
178	R62396	r6121	e2層	DR50	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面暗灰色、外底面灰色、断面にぶい赤褐色。微細な石英・長石多く含む。	38
179	R62167	r6099	e2層	DQ50	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ、外底面ヘラ切り離し痕。灰白色。微細な石英・長石、炭化物まばらに含む。	38
180	R63511	r6202	e2層	DW49	須恵器	坏	底部	外面磨滅、内面回転ナデ。焼成やや軟質で瓦質に近い。外面灰色、内面灰白色。微細な石英・長石、炭化物まばらに含む。	38
181	R62504	r6128	e2層	DS47	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ、外底面ヘラ切り離し痕。内外面灰色、断面灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	38
182	R62242	r6106	e2層	DR47	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。内面火襷痕。灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	38
183	R62558	r6129	e2層	DS47	土師器	坏	底部	内外面回転ナデ。外底面ヘラ切り離し痕。内外面灰黄色、断面浅黄橙色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	38
184	R63355	r6186	e2層	DV49	須恵器	坏	底部	体部内外面回転ナデ、内底面ナデ・外底面回転ヘラ切り離し。灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。内外面に火襷。	38
185	R62545	r6129	e2層	DS47	須恵器	坏	底部	全面磨滅、内外面回転ナデか、外底面ヘラ切り離し痕。焼成軟質。内外面浅黄色、内面一部灰色。	38
186	R62400	r6121	e2層	DR50	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	38
187	R62108	r6091	e2層	DQ49	須恵器	坏	底部	外面磨滅、内面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石多く含む。	38
188	R62926	r6152	e2層	DT49	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。外底面ヘラ切り離し痕。灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	38
189	R63191	r6172	e2層	DU50	須恵器	坏	底部	内外面磨滅、回転ナデか。焼成やや軟質。灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	38
190	R63056	r6164	e2層	DU48	須恵器	坏	底部	外面磨滅、内面回転ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	38
191	R63290	r6183	e2層	DV48	須恵器	坏	底部	全面磨滅。外面暗黄灰色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫わずかに含む。	38
192	R62281	r6110	e2層	DR47	須恵器	坏	底部	外面磨滅、内面回転ナデ。焼成軟質。灰白色。石英・長石・の砂粒、砂粒まばらに含む。	38
193	R62658	r6135	e2層	DS49	須恵器	坏	底部	体部内外面回転ナデ。内底面ナデ、外底面ヘラ切り離し痕。焼成やや軟質。外面灰白色、内面一部灰色。石英・長石・チャートの砂粒、赤色粒まばらに含む。	38
194	R62178	r6101	e2層	DQ50東畔	須恵器	坏	底部	内外面磨滅、回転ナデか。灰白色。石英・長石の砂粒、炭化物多く含む。	38
195	R62403	r6121	e2層	DR50	須恵器	坏	底部	内外面磨滅、回転ナデか。焼成やや軟質で瓦質に近い。内外面灰色、断面灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	38
196	R62168	r6099	e2層	DQ50	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ、外底面ヘラ切り離し痕。外面灰白色、内面灰色。石英・長石の砂粒、炭化物わずかに含む。	38
197	R63412	r6188	e2層	DV50	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。外底面回転ヘラ切り離し痕。灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	38
198	R62772	r6144	e2層	DT48	須恵器	坏	底部	全面磨滅。焼成やや軟質で瓦質に近い。内外面黄灰色、断面・一部外面淡黄色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	38
199	R63192	r6172	e2層	DU50	須恵器	坏	底部	全面磨滅。焼成やや軟質。灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	38
200	R63414	r6188	e2層	DV50	須恵器	坏	底部	全面磨滅。灰白色、外面口縁部付近灰色。微細な石英・長石わずかに含む。	38
201	R62603	r6132	e2層	DS48	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	39
202	R63607	r6216	e2層	DX50畔	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデのち内底面不定方向ナデ。灰白色。微細な石英・長石、炭化物まばらに含む。	39
203	R62225	r6105	e2層	DR46	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ、内底面ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒わずかに含む。内面に軸痕？あり。高台貼り付け時の爪痕は時計回り。	39
204	R62449	r6126	e2層	DS46	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ、外底面ヘラ切り離し痕。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	39
205	R63159	r6171	e2層	DU50	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石・チャートまばらに含む。	39
206	R63681	r6230	e2層	DY50畔	須恵器	坏	全形	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石ごくわずかに含む。	39
207	R62709	r6139	e2層	DS50	須恵器	坏	全形	外面磨滅、内面回転ナデ。焼成やや軟質で瓦質に近い。外面暗灰色、内面灰色、断面淡黄色。微細な石英・長石多く含む。	39
208	R62604	r6132	e2層	DS48	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。焼成やや軟質。灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	39
209	R63564	r6209	e2層	DX48	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石わずかに含む。	39
210	R63606	r6216	e2層	DX50畔	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデのち底部内面不定方向ナデ。内外面やや青みがかった灰色。微細な石英・長石、炭化物まばらに含む。	39
211	R62893	r6151	e2層	DT49	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒～細礫やや多く含む。	39
212	R62289	r6111	e2層	DR48	須恵器	坏	全形	内外面回転ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒と炭化物まばらに含む。	39
213	R62546	r6129	e2層	DS47	須恵器	坏	全形	内外面回転ナデ。焼成やや軟質。外面・内面一部黒褐色（煤付着）、内面灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	39
214	R62169	r6099	e2層	DQ50	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰色、断面灰褐色。石英・長石の砂粒多く、赤色粒わずかに含む。内面にパッチ状の薄い剥落が認められるため、二次的に被熱した可能性あり。	39
215	R63034	r6162	e2層	DU47	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ、底部内面ナデ。外底面ヘラ切り離し痕。灰白色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	39
216	R63039	r6163	e2層	DU48	須恵器	坏	底部	内面ナデ、高台部回転ナデ、外底面ヘラ切り離し痕。外面灰白色、内面灰色、断面灰褐色。微細な石英・長石まばらに含む。	39
217	R63092	r6167	e2層	DU49	須恵器	坏	底部	内外面磨滅、回転ナデか。灰白色。石英・長石の砂粒やや多く、赤色粒・炭化物わずかに含む。	39
218	R63195	r6172	e2層	DU50	須恵器	坏	底部	内外面磨滅。高台部横ナデか。外底部に高台貼り付けに伴う爪痕。内外面灰白色、底部灰色。微細な石英・長石・炭化物まばらに含む。	39
219	R63248	r6180	e2層	DV47	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	39
220	R63069	r6166	e2層	DU49	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	39
221	R62699	r6138	e2層	DS50	須恵器	坏	底部	全面磨滅。外面灰色、内面灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	39
222	R62894	r6151	e2層	DT49	須恵器	坏	底部	内外面磨滅。内外面回転ナデか、外底面ヘラ切り離し痕か？外面暗灰黄色、内面淡黄色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	39
223	R63575	r6210	e2層	DX48	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ、外底面ヘラ切り離し痕。内外面色、断面明赤褐色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	39
224	R63193	r6172	e2層	DU50	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。外底面ヘラ切り離し痕。灰白色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	39
225	R63091	r6167	e2層	DU49	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰色。微細な石英・長石、炭化物まばらに含む。外面に高台貼り付けに伴う爪痕。	39
226	R63512	r6202	e2層	DW49	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	39
227	R63703	r6235	e2層	北東部	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石、炭化物まばらに含む。	39
228	R62097	r6090	e2層	DQ49	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。内外面灰色、断面灰褐色。微細な石英・長石、赤色粒まばらに含む。	39
229	R62809	r6145	e2層	DT48	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。焼成やや軟質。灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	39
230	R63415	r6188	e2層	DV50	須恵器	坏	底部	外面磨滅、内面回転ナデ。外底面回転ヘラ切り離し痕。灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	39
231	R62054	r6087	e2層	DQ48	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石と炭化物わずかに含む。	39
232	R62602	r6132	e2層	DS48	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	39
233	R62150	r6098	e2層	DQ50	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰黄色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	39

遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
234	R62890	r6151	e2層	DT49	須恵器	坏	全形	全面磨滅、回転ナデか。焼成やや軟質。内外面灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	39
235	R63386	r6187	e2層	DV50	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。内底面ナデ。外底面に高台貼り付けに伴う爪痕。外面灰色、内面灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	39
236	R62447	r6126	e2層	DS46	須恵器	坏	底部	体部内外面回転ナデ、内底面ナデ、外底面ヘラ切り離し痕。灰色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	39
237	R63624	r6217	e2層	DX50畔	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石と炭化物わずかに含む。	39
238	R62404	r6121	e2層	DR50	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ、内底面ナデ。外底面高台貼り付けに伴う爪痕残る。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	39
239	R63196	r6172	e2層	DU50	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。内底面ナデ。外底面ヘラ切り離し痕。灰白色。微細な石英・長石・炭化物わずかに含む。	39
240	R62659	r6135	e2層	DS49	須恵器	坏	底部	体部内外面回転ナデ。内底面ナデ、外底面ヘラ切り離し痕。灰色。石英・長石の砂粒～細礫まばらに含む。	39
241	R63291	r6183	e2層	DV48	須恵器	坏	底部	内外面ナデ。灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	39
242	R63384	r6187	e2層	DV50	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。内底面ナデ。外面オリーブ黒色（自然釉）、内面灰白色。微細な石英・長石・炭化物わずかに含む。	39
243	R62575	r6131	e2層	DS48	須恵器	坏	底部	内外面回転ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	39
244	R62660	r6135	e2層	DS49	須恵器	坏	底部	全面磨滅。焼成やや軟質。淡黄色。微細な石英・長石・赤色粒わずかに含む。	39
245	R62854	r6149	e2層	DT49	須恵器	坏	底部	外面磨滅、内面回転ナデ、内底面ナデ。焼成やや軟質。外面灰白色、内面灰黄色。微細な石英・長石、炭化物まばらに含む。	39
246	R62784	r6139	e2層	DS50	須恵器	皿	口縁部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	40
247	R62056	r6087	e2層	DQ48	須恵器	皿	全形	口縁部内面に段。内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	40
248	R63535	r6204	e2層	DW50	須恵器	皿	全形	口縁部端面凹線。内外面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石・炭化物まばらに含む。	40
249	R62548	r6129	e2層	DS47	須恵器	皿	全形	内外面回転ナデ、外底面ヘラ切り離し後ナデ。灰白色。微細な石英・長石と炭化物わずかに含む。	40
250	R63383	r6187	e2層	DV50	須恵器	皿	全形	内外面回転ナデ。外底面ナデか。灰白色。微細な石英・長石わずかに含む。	40
251	R62321	r6114	e2層	DR48	須恵器	皿	全形	全面磨滅、内外面回転ナデか。焼成瓦質に近い。外面灰色、内面灰白色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	40
252	R63356	r6186	e2層	DV49	須恵器	皿	底部	全面磨滅。外面淡黄色、一部黄灰色。内面にぶい橙色。微細な石英・長石、赤色粒まばらに含む。	40
253	R63521	r6203	e2層	DW50畔	須恵器	皿	底部	体部内外面回転ナデ、底部内外面ナデ。内外面灰白色、断面にぶい橙色。焼成良好だが、やや赤焼け。微細な石英・長石まばらに含み、５㎜大もごくわずかに含む。	40
254	R63189	r6172	e2層	DU50	須恵器	盤	全形	外面磨滅、内面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	40
255	R62679	r6136	e2層	DS49	須恵器	盤	口縁部	内外面回転ナデ。焼成やや軟質で瓦質に近い。外面黄灰色、内面灰黄色。石英・長石の砂粒をわずかに含む。	40
256	R62547	r6129	e2層	DS47	須恵器	盤	全形	内外面回転ナデ。内外面灰色、断面灰白色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	40
257	R63627	r6217	e2層	DX50畔	須恵器	盤	底部	全面磨滅。焼成やや軟質で瓦質に近い。外面灰色、内面・断面灰白色。石英・長石の砂粒～細礫まばらに含む。	40
258	R62711	r6139	e2層	DS50	須恵器	埦	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石多く含む。	40
259	R63668	r6228	e2層	DY49畔	須恵器	埦	口縁部	内外面回転ナデ。オリーブ灰色。微細な石英・長石、炭化物まばらに含む。	40
260	R62100	r6090	e2層	DQ49	須恵器	埦	体部	外面凹線２条、磨滅。断面灰白色。外面一部、内面灰オリーブ色（自然釉）。石英・長石の砂粒わずかに含む。	40
261	R63136	r6169	e2層	DU49	須恵器	埦	底部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	40
262	R62443	r6126	e2層	DS46	須恵器	埦	底部	内外面回転ナデ、外底面ヘラ切り離し痕。灰色。微細な石英・長石、炭化物わずかに含む。	40
263	R62634	r6133	e2層	DS48	須恵器	埦	底部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	40
264	R63382	r6187	e2層	DV50	須恵器	埦	底部	内外面回転ナデ。外底面ヘラ切り離し痕か。外面灰白色、内面黄灰色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	40
265	R62406	r6121	e2層	DR50	須恵器	台付埦	埦部	埦部外面上半回転ナデ、下半回転ヘラケズリ。埦部内面回転ナデ。接合部外面横ナデ。内外面灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	40
266	R63292	r6183	e2層	DV48	須恵器	埦	底部	外面磨滅、内面回転ナデ。焼成やや軟質で瓦質に近い。外面灰色、内面灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	40
267	R62138	r6093	e2層	DQ49	須恵器	埦	体部	内外面磨滅。外面灰白色、一部オリーブ褐色（自然釉）。内面黄灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	40
268	R62810	r6145	e2層	DT48	須恵器	台付埦	接合部	内外面回転ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒～細礫やや多く含む。	40
269	R63276	r6182	e2層	DV48	須恵器	台付埦？	脚台部	内外面横ナデ。灰色。微細な石英・長石まばらに含む。	40
270	R62124	r6092	e2層	DQ49	須恵器	台付埦？	脚台部	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面灰黄色。微細な石英・長石わずかに含む。	40
271	R63593	r6215	e2層	DX50畔	須恵器	鉢	口縁部	外面凹線１条。内外面回転ナデ。外面暗灰黄色（自然釉）、内面灰色。微細な石英・長石まばらに含む。	40
272	R63272	r6182	e2層	DV48	須恵器	鉢	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	40
273	R63640	r6218	e2層	DX50	須恵器	高盤？	口縁部	外面磨滅、内面横方向ミガキか。焼成やや軟質。灰白色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	40
274	R63416	r6188	e2層	DV50	須恵器	高坏	坏部	口縁部外面回転ナデ、体部外面回転ヘラケズリ。内面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	40
275	R62836	r6146	e2層	DT48	須恵器	高坏	坏部	３方向透か。外面回転ナデ。内外面に粘土塊付着。外面灰白色、内面オリーブ灰色（自然釉）。微細な石英・長石・炭化物わずかに含む。	40
276	R62550	r6129	e2層	DS47	須恵器	高坏	坏部	全面磨滅。焼成やや軟質で瓦質に近い。内外面灰色、断面灰白色。石英・長石の砂粒多く含む。	40
277	R62331	r6116	e2層	DR49	須恵器	高坏	脚柱部	内外面回転ナデ、脚部内面上半ヘラケズリ。灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	40
278	R62356	r6117	e2層	DR49	須恵器	高坏	脚柱部	脚部内外面回転ナデ、坏部内面ナデ。外面灰色、内面灰白色。微細な石英・長石、炭化物まばらに含む。	40
279	R62640	r6134	e2層	DS49	須恵器	高坏	脚裾部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	40
280	R63094	r6167	e2層	DU49	須恵器	高坏	脚裾部	長方形透か。内外面磨滅。外面灰白色、内面灰色。外面一部暗灰色（自然釉残存）。石英・長石の砂粒まばらに含む。	40
281	R63022	r6161	e2層	DU47	須恵器	高坏	脚裾部	推定４方向長方形透。外面カキ目、内面回転ナデ。端部内外面回転ナデ。内外面灰色、断面灰褐色。石英・長石の砂粒、赤色粒わずかに含む。	40
282	R62553	r6129	e2層	DS47	須恵器	高坏	脚裾部	内外面回転ナデ。焼成やや軟質で瓦質に近い。内外面灰白色、一部灰色。石英・長石の砂粒、炭化物わずかに含む。	40
283	R62552	r6129	e2層	DS47	須恵器	高坏	脚裾部	内外面回転ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	40
284	R63594	r6215	e2層	DX50畔	須恵器	高坏	脚裾部	内外面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石まばらに含む。	40
285	R63698	r6233	e2層	北西部	須恵器	高坏	脚裾部	全面磨滅。焼成やや軟質で瓦質に近い。外面灰色、内面灰白色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	40
286	R62425	r6125	e2層	DS45	須恵器	高坏	脚裾部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石ごくわずかに含む。	40
287	R62087	r6089	e2層	DQ49	須恵器	高坏	脚裾部	内外面回転ナデ。内外面にぶい黄褐色、断面灰色。微細な石英・長石まばらに含む。	40
288	R63419	r6188	e2層	DV50	須恵器	高坏形器台	坏部	市場系。外面タタキのち一部カキ目、内面青海波文あて具痕。外面灰色。内面灰白色、一部にぶい黄色（自然釉）。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	40

遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
289	R62607	r6132	e2層	DS48	須恵器	鉢	口縁部	外面波状文。内外面回転ナデ。内外面灰黄色（自然釉）。石英・長石の砂粒多く含む。	41
290	R63125	r6168	e2層	DU49	須恵器	鉢	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石・炭化物まばらに含む。	41
291	R63549	r6207	e2層	DX47	須恵器	鉢	体部	小破片のため孔は確認できない。口頸部外面上半波状文。口頸部内外面回転ナデ、胴部外面カキ目、内面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒～細礫をまばらに含む。	41
292	R62082	r6088	e2層	DQ48	須恵器	鉢	体部	小破片のため孔は確認できない。体部下半ヘラ記号か。外面カキ目、内面横ナデ。外面暗灰色、内面灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	41
293	R62963	r6155	e2層	DT50	須恵器	提瓶	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。微細な石英・長石まばらに含む。	41
294	R62412	r6121	e2層	DR50	須恵器	提or平瓶	口縁部	内外面回転ナデ。内外面灰色、断面灰白色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	41
295	R63417	r6188	e2層	DV50	須恵器	提or平瓶	口縁部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	41
296	R63097	r6167	e2層	DU49	須恵器	提瓶	肩部	把手部剥離痕あり。口縁部内面横ナデ、指オサエ。体部外面カキ目、体部内面ナデ。内外面灰白色。内面一部灰色（自然釉）。断面赤灰色。微細な石英・長石と赤色粒まばらに含む。	41
297	R62568	r6130	e2層	DS47	須恵器	提瓶	体部	外面カキ目、内面青海波文あて具痕・指オサエ。外面灰色、内面灰白色。石英・長石の砂粒～細礫まばらに含む。	41
298	R62172	r6099	e2層	DQ50	須恵器	提瓶	体部	天地・傾き任意。外面カキ目、内面指オサエ・回転ナデ。内外面灰色、断面赤灰色。石英・長石の砂粒～細礫わずかに含む。	41
299	R62407	r6121	e2層	DR50	須恵器	平瓶	口頸部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石わずかに含む。	41
300	R62358	r6117	e2層	DR49	須恵器	平瓶	口頸部	口頸部内外面回転ナデ、肩部内面指オサエ。灰色。石英・長石の砂粒多く含む。	41
301	R62057	r6087	e2層	DQ48	須恵器	平瓶	口頸部	外形・断面は残存部分から想定復元。口頸部内外面横ナデ。肩部外面カキ目、内面ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒～細礫わずかに含む。口頸部に４㎜大赤色頁岩粒。	41
302	R62044	r6086	e2層	DQ47	須恵器	平瓶	肩部	耳部付。内面回転ナデ、耳部指オサエ・ナデ成形。肩部外面灰オリーブ（自然釉）、体部外面灰色、内面灰色。微細な石英・長石わずかに含む。	41
303	R62608	r6132	e2層	DS48	須恵器	平瓶or壺	体部	内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	41
304	R62360	r6117	e2層	DR49	須恵器	広口壺	口縁部	全面磨滅。灰色。石英・長石の砂粒、炭化物多く含む。	41
305	R63428	r6192	e2層	DW46	須恵器	広口壺	口縁部	内外面回転ナデ。内外面灰色（自然釉）。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	41
306	R62308	r6113	e2層	DR48	須恵器	直口壺	口縁部	外面横ナデ、内面磨滅。灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	41
307	R62551	r6129	e2層	DS47	須恵器	長頸壺	口頸部	内外面回転ナデ。内外面灰白色。外面一部、内面上半オリーブ黒色（自然釉）。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	41
	R62255	r6108	e2層	DR47					
308	R63682	r6230	e2層	DY50畔	須恵器	長頸壺	口頸部	内外面回転ナデ、内面下半シボリ痕、指オサエ・ナデ。内外面灰白色、外面・内面上半自然釉（黄褐色・緑色）。石英・長石の砂粒まばらに含む。	41
309	R62330	r6116	e2層	DR49	須恵器	長頸壺	口頸部	内面横ナデ。外面オリーブ黒色（自然釉）、内面灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	41
310	R62228	r6105	e2層	DR46	須恵器	長頸壺	頸部	内外面回転ナデ。内外面灰色、断面にぶい赤褐色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	41
311	R62713	r6139	e2層	DS50	須恵器	長頸壺	頸部	内外面横ナデ。外面にぶい黄色（自然釉）、内面灰白色。石英・長石の砂粒、炭化物わずかに含む。	41
312	R62956	r6154	e2層	DT50	須恵器	長頸壺	頸部	外面凹線２条。外面磨滅、横ナデか。内面横ナデ、絞り痕。内外面灰色、断面灰褐色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	41
313	R62774	r6144	e2層	DT48	須恵器	壺蓋	つまみ	内外面回転ナデ。内外面灰色。つまみ付け根部分オリーブ黒色（自然釉残存）石英・長石の砂粒やや多く含む。	41
314	R63294	r6183	e2層	DV48	須恵器	壺蓋	口縁部	内外面回転ナデ。外面灰オリーブ色（自然釉）、内面灰色、断面暗紫灰色。石英・長石の砂粒～細礫ごくわずかに含む。	41
315	R63626	r6217	e2層	DX50畔	須恵器	壺蓋	天井部	内外面回転ナデのち内底面不定方向ナデ。灰白色。微細な石英・長石わずかに含む。	41
316	R62859	r6150	e2層	DT49	須恵器	短頸壺	口縁部	内外面回転ナデ。内外面黄褐色（自然釉）。断面灰白色。石英・長石の砂粒と炭化物まばらに含む。	41
317	R62729	r6141	e2層	DT46	須恵器	短頸壺	上半部	内外面回転ナデ、胴部外面磨滅。外面灰色、内面灰白色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	41
318	R62712	r6139	e2層	DS50	須恵器	短頸壺	上半部	口縁部内外面横ナデ、胴部外面格子タタキ、内面縦ナデのち一部横ナデ。内外面灰色、断面灰褐色。石英・長石の砂粒、炭化物わずかに含む。	41
319	R63095	r6167	e2層	DU49	須恵器	壺	肩部	内外面回転ナデ。体部外面カキ目一部ナデ消し。灰色。石英・長石の砂粒～細礫、炭化物やや多く含む。	41
320	R63513	r6202	e2層	DW49	須恵器	壺	肩部	外面、沈線下方にヘラ状工具による連続刻目文。外面磨滅、内面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	41
321	R62714	r6139	e2層	DS50	須恵器	壺	体部	外面上半カキ目、下半磨滅。内面ナデ。外面暗灰黄色（薄く全体にかかる自然釉）・緑色（厚く部分的に斜めにかかる自然釉）。内面灰白色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	41
322	R62701	r6138	e2層	DS50	須恵器	壺	肩部	傾き・天地任意。内外面ナデか。外面暗オリーブ灰色（自然釉）、内面灰色、断面にぶい赤褐色。石英・長石の砂粒多く含む。	41
323	R62147	r6097	e2層	DQ49東畔	須恵器	壺	体部	耳部残存。耳部指ナデ・指オサエ、体部内面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。外面一部暗オリーブ灰色（自然釉）。微細な石英・長石わずかに含む。	41
324	R63418	r6188	e2層	DV50	須恵器	壺	体部	丸底。内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	41
325	R62958	r6154	e2層	DT50	須恵器	壺	底部	平底。内外面回転ナデ。体部下半ケズリ。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	41
326	R62929	r6152	e2層	DT49	須恵器	壺	底部	丸底。体部内外面回転ナデ。外底面ヘラ切り離し痕、内面指頭痕。外面灰白色、内面灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	41
327	R62409	r6121	e2層	DR50	須恵器	広口or短頸壺	肩部	内外面回転ナデ。内外面灰褐色、断面灰白色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	42
328	R62023	r6084	e2層	DQ47	須恵器	広口or短頸壺	肩部	内外面回転ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	42
329	R62680	r6136	e2層	DS49	須恵器	長頸壺	肩部	肩部２条凹線間に連続刻目文。外面磨滅、内面回転ナデのち屈曲部内面縦ナデ。内外面灰白色、断面褐灰色。外面一部灰オリーブ色（自然釉）。微細な石英・長石わずかに含む。	42
330	R62811	r6145	e2層	DT48	須恵器	長頸壺	肩部	内外面回転ナデ。内外面灰色、断面灰褐色。石英・長石の砂粒～細礫、赤色粒まばらに含む。	42
331	R63357	r6186	e2層	DV49	須恵器	壺	肩部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石やや多く含む。	42
332	R62037	r6085	e2層	DQ47	須恵器	壺	肩部	内外面回転ナデ。内外面灰色。肩部外面、暗オリーブ灰色（自然釉）。石英・長石の砂粒まばらに含む。	42
333	R62145	r6095	e2層	DQ49東畔	須恵器	壺	肩部	内外面回転ナデ。体部外面一部タタキ痕か。内外面灰白色。肩部外面灰黄色（自然釉）。微細な石英・長石、炭化物非常に多く含む。	42
334	R63641	r6218	e2層	DX50	須恵器	壺	肩部	内外面回転ナデ。灰白色、内面一部灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	42
335	R63390	r6187	e2層	DV50	須恵器	壺	肩部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石多く含む。	42
336	R62449	r6126	e2層	DS46	須恵器	壺	肩部	肩部境に凹線状の凹みが巡る。内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒多く含む。	42
337	R62243	r6106	e2層	DR47	須恵器	壺	肩部	外面磨滅、内面回転ナデ。内外面灰白色、外面一部灰オリーブ色（自然釉）。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む	42
338	R62111	r6091	e2層	DQ49	須恵器	壺	体部	内外面回転ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	42
339	R63274	r6182	e2層	DV48	須恵器	壺	体部	肩部境に凹線。内外面回転ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	42
340	R62719	r6140	e2層	DT45畔	須恵器	壺	体部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	42
341	R63391	r6187	e2層	DV50	須恵器	壺	体部	内外面回転ナデ。内外面灰色、肩部外面オリーブ黒色（自然釉）。石英・長石の砂粒、炭化物やや多く含む。	42

遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
342	R62785	r6139	e2層	DS50	須恵器	壺	体部	外面上半ナデ、下半ケズリ。内面回転ナデ。灰色。4㎜以下の石英・長石の砂粒～細礫、炭化物まばらに含む。	42
343	R63293	r6183	e2層	DV48	須恵器	壺	底部	内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	43
344	R63326	r6185	e2層	DV49	須恵器	壺	底部	体部内外面回転ナデ、高台部横ナデ、底部外面回転ヘラケズリ。灰白色。石英･長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	43
345	R62611	r6132	e2層	DS48	須恵器	壺	底部	胴部外面ヘラケズリ、内面回転ナデ、高台部ナデ。灰色。石英・長石の砂粒、赤色粒・炭化物まばらに含む。	43
346	R62123	r6092	e2層	DQ49	須恵器	壺	底部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石わずかに含む。	43
347	R62053	r6087	e2層	DQ48	須恵器	壺	底部	内面ナデ。外面にぶい黄色（自然釉）、内面灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	43
348	R63194	r6172	e2層	DU50	須恵器	壺	底部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	43
349	R63021	r6161	e2層	DU47	須恵器	壺	底部	体部外面上半ナデか、下半ケズリ。体部内面回転ナデ。内底面･高台周辺ナデ。灰色。石英･長石の砂粒～細礫を非常に多く含み、炭化物まばらに含む。	43
350	R63522	r6203	e2層	DW50畔	須恵器	壺	底部	全面磨滅。焼成やや軟質で灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	43
351	R62474	r6127	e2層	DS46	須恵器	壺	底部	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面灰色。石英・長石の砂粒多く含む。	43
352	R62451	r6126	e2層	DS46	須恵器	壺	底部	内外面回転ナデ。外面黄灰色、内面灰白色。石英・長石の砂粒、赤色粒わずかに含む。	43
353	R62083	r6088	e2層	DQ48	須恵器	壺	底部	内外面回転ナデ。灰白色。内面に自然釉。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	43
354	R63588	r6213	e2層	DX49	須恵器	壺	底部	内外面回転ナデ。底部内面指オサエ。内外面灰白色、一部灰色（自然釉）。微細な石英・長石わずかに含む。	43
355	R62146	r6095	e2層	DQ49東畔	須恵器	壺	底部	体部内外面回転ナデ、底部内外面横ナデ。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	43
356	R63197	r6172	e2層	DU50	須恵器	壺	体部	内外面回転ナデ。灰黄色。石英・長石の砂粒わずかに含む。内面に焼膨れ・自然釉。	43
357	R63429	r6192	e2層	DW46	須恵器	壺	底部	内外面回転ナデ、体部下半回転ヘラケズリ。灰白色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	43
358	R63628	r6217	e2層	DX50畔	須恵器	台付壺？	脚台部	内外面回転ナデ。外面灰色､内面暗灰色（自然釉）。石英･長石の砂粒､炭化物まばらに含む。	43
359	R63126	r6168	e2層	DU49	須恵器	台付壺？	脚台部	内外面磨滅。内外面灰白色。外面一部暗灰色（自然釉残存）。石英・長石の砂粒まばらに、炭化物わずかに含む。	43
360	R62932	r6152	e2層	DT49	須恵器	台付壺？	脚台部	内外面回転ナデ。外面灰白色、内面灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	43
361	R63576	r6210	e2層	DX48	須恵器	甕	口縁部	大型品。外面に突帯・波状文。内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	44
362	R62195	r6102	e2層	DR45	須恵器	甕	口縁部	大型品。外面に波状文・列点文・突帯。内外面回転ナデ。内外面灰色、断面灰黄色。微細な石英・長石まばらに含む。	44
363	R62554	r6129	e2層	DS47	須恵器	甕	口縁部	大型品。外面にヘラ記号(×)。内外面回転ナデ。灰色。石英･長石の砂粒～細礫わずかに含む。	44
364	R62934	r6152	e2層	DT49	須恵器	甕	口縁部	大型品。内外面回転ナデ、口縁部外面カキ目。外面褐灰色、内面にぶい黄褐色。石英・長石の砂粒を多く含み、赤色粒まばらに含む。	44
365	R62933	r6152	e2層	DT49	須恵器	甕	口縁部	中型品。口縁部内外面回転ナデ。体部外面磨滅、平行タタキか。体部内面青海波文あて具痕か。外面灰色、内面灰白色。石英・長石の砂粒～細礫をわずかに含む。	44
366	R62661	r6135	e2層	DS49	須恵器	甕	口縁部	大型品。内外面回転ナデ。外面オリーブ黒色（自然釉）、内面灰色（自然釉）。石英・長石の砂粒まばらに含む。	44
367	R62309	r6113	e2層	DR48	須恵器	甕	口縁部	大型品。内外面回転ナデ。外面灰色（自然釉）、内面灰色。石英･長石の砂粒まばらに含む。	44
368	R62288	r6111	e2層	DR48	須恵器	甕	口縁部	内外面回転ナデ。外面灰黄色（自然釉）、内面灰オリーブ色（自然釉）。石英・長石の砂粒まばらに含む。	44
369	R62357	r6117	e2層	DR49	須恵器	甕	口縁部	全面磨滅。焼成やや軟質で瓦質に近い。外面灰色､内面灰白色。微細な石英･長石わずかに含む。	44
370	R62088	r6089	e2層	DQ49	須恵器	甕	口縁部	中型品。内外面回転ナデ。外面～内面上半暗灰色（自然釉）、内面下半灰白色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	44
371	R62935	r6152	e2層	DT49	須恵器	甕	口縁部	小型品。口縁部内外面回転ナデ。胴部外面格子タタキのちナデ消し、胴部内面青海波文あて具痕。灰色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	44
372	R62140	r6093	e2層	DQ49	須恵器	甕	口縁部	外面回転ナデ、内面磨滅。外面灰色、内面灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	44
373	R63392	r6187	e2層	DV50	須恵器	甕	口縁部	大型品。外面沈線・波状文。口頸部外面カキ目後下方横ナデ。肩部外面横方向タタキか。口頸部ナデ・オサエ。肩部内面青海波文あて具痕。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	44
374	R62731	r6141	e2層	DT46	須恵器	甕	口縁部	大型品。内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石、炭化物わずかに含む。	44
375	R63609	r6216	e2層	DX50畔	須恵器	甕	口縁部	大型品。口縁部内外面回転ナデ。肩部外面タタキのちカキ目､内面青海波文あて具痕。灰色。石英・長石の砂粒～細礫まばらに含む。	44
376	R62411	r6121	e2層	DR50	須恵器	甕	口縁部	大型品。内外面回転ナデ。外面灰色、内面灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	44
377	R63692	r6232	e2層	DY50西畔	須恵器	甕	頸部	大型品。内外面回転ナデ。灰色。石英・長石の砂粒～中礫、炭化物まばらに含む。	45
378	R62257	r6108	e2層	DR47	須恵器	甕	頸部	大型品。外面沈線･波状文。内外面横ナデ。灰白色。石英･長石の砂粒､炭化物まばらに含む。	45
379	R62682	r6136	e2層	DS49	須恵器	甕	頸部	大型品。内外面回転ナデ､屈曲部内面指オサエ。外面灰色､頸部内面にぶい黄橙色(自然釉)、肩部内面灰白色。石英・長石の砂粒～細礫わずかに含む。	45
380	R62508	r6128	e2層	DS47	須恵器	甕	頸部	小型品。頸部内外面回転ナデ、肩部内面青海波文あて具痕。内外面青灰色、断面灰褐色。石英・長石の砂粒～細礫まばらに含む。	45
381	R63358	r6186	e2層	DV49	須恵器	甕	頸部	小型品。内外面回転ナデ。外面灰白色、内面淡黄色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	45
382	R62612	r6132	e2層	DS48	須恵器	甕	肩部	大型品。口縁部内外面回転ナデ。胴部外面平行タタキ後ナデ、内面磨滅。褐灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	45
383	R62847	r6147	e2層	DT48	須恵器	甕	肩部	大型品。口縁部内面回転ナデ、胴部内面青海波文あて具痕。外面オリーブ黒色（自然釉）、内面灰色。石英・長石の砂粒、赤色粒、炭化物まばらに含む。	45
384	R63334	r6185	e2層	DV49	須恵器	甕	肩部	大型品。全面磨滅。外面カキメ、内面青海波文あて具痕。灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	45
385	R62613	r6132	e2層	DS48	須恵器	甕	肩部	大型品。口頸部内外面回転ナデ。胴部外面磨滅、内面青海波文あて具痕。外面灰白色、内面青灰色。石英・長石の砂粒～細礫まばらに含む。	45
386	R62662	r6135	e2層	DS49	須恵器	甕	肩部	大型品。頸部外面磨滅、内面横ナデ。胴部外面平行タタキ、内面青海波文あて具痕。外面褐灰色、内面灰色。石英・長石の砂粒多く含む。	45
387	R62256	r6108	e2層	DR47	須恵器	甕	肩部	小型品。外面カキ目、内面青海波文あて具痕、横ナデ。灰色。石英・長石の砂粒～細礫まばらに含む。	45
388	R62045	r6086	e2層	DQ47	須恵器	甕	肩部	大型品。口縁部内外面回転ナデ。胴部外面、縦方向平行タタキ後カキ目。胴部内面青海波文あて具痕。外面灰白色、内面灰黄色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	45
389	R62036	r6085	e2層	DQ47	須恵器	甕	肩部	大型品。外面カキ目、内面青海波文あて具痕。外面灰色、内面灰白色。外面一部、暗オリーブ灰色（自然釉）。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	45
390	R62413	r6121	e2層	DR50	須恵器	甕	肩部	大型品。頸部内外面回転ナデ。胴部外面平行タタキ後カキ目、胴部内面輪花文状当て具痕。外面灰色、内面灰白色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	45
391	R63525	r6203	e2層	DW50畔	須恵器	甕	体部	大型品。底部付近の破片か。外面不定方向タタキ、内面車輪文状あて具痕。外面灰白色、内面にぶい黄橙色。微細な石英・長石まばらに含む。	45
392	R63328	r6185	e2層	DV49	須恵器	円面硯	上半部	陸部磨滅、ナデか。海部横ナデ。脚部内外面横ナデ。灰白色、断面灰褐色。微細な石英・長石・赤色粒やや多く含む。	45

遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
393	R62666	r6135	e2層	DS49	瓦	平瓦	胴部	凹面側端部面取り。凸面縄目タタキ、凹面布目痕。灰色。石英・長石の砂粒～細礫非常に多く含む。	46
394	R63364	r6186	e2層	DV49	瓦	平瓦	胴部	両面端部面取り。凸面平行タタキ、凹面布目痕。灰色。微細な石英･長石･炭化物多く含む。	46
395	R62127	r6092	e2層	DQ49	瓦	平瓦	胴部	凸面縄目タタキ、凹面布目痕。灰色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	46
396	R62113	r6091	e2層	DQ49	瓦	平瓦	胴部	凹面側端部面取り。凸面縄目タタキ、凹面布目痕。灰色。微細な石英・長石多く含む。	46
397	R63566	r6209	e2層	DX48	瓦	平瓦	胴部	凸面縄目タタキのち一部格子タタキ。凹面布目痕一部ナデ消し。灰白色。微細な石英･長石･チャートの細礫わずかに含む。	46
398	R62102	r6090	e2層	DQ49	瓦	平瓦	胴部	凹面端部面取り。凸面格子タタキ、凹面磨滅、わずかに布目痕。焼成軟質で淡黄色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	46
399	R62580	r6131	e2層	DS48	瓦	平瓦	胴部	凸面格子タタキ、凹面布目痕。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒多く含む。	46
400	R62245	r6106	e2層	DR47	瓦	平瓦	胴部	全面磨滅、凸面格子タタキ、凹面布目痕。灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	46
401	R62716	r6139	e2層	DS50	瓦	平瓦	胴部	凹面側端部面取り。凸面ナデ、凹面布目痕。灰色。断面縁部灰赤色、中心部灰白色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	46
402	R62622	r6132	e2層	DS48	瓦	平瓦	胴部	凹面側端部面取り。凸面ナデ、凹面布目痕。灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	46
403	R62041	r6085	e2層	DQ47	瓦	平瓦	胴部	端部両面面取り。両面ナデ。凸面炭素吸着か。灰色。石英・長石・チャートの砂粒まばらに含む。白色土器塊も含む。	46
404	R62971	r6156	e2層	DU45畔	瓦	平瓦	胴部	凹面側端部面取り。両面ナデ。内外面灰白色、断面にぶい橙色。石英･長石の砂粒、赤色粒、炭化物わずかに含む。	46
405	R63550	r6207	e2層	DX47	瓦	丸瓦	玉縁接合部	外面磨滅、内面布目痕。灰色、断面灰白色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	46
406	R63577	r6210	e2層	DX48	瓦	丸瓦	玉縁接合部	玉縁部への移行は緩やか。全面磨滅、凹面布目痕。灰色、断面灰白色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	46
407	R62292	r6111	e2層	DR48	瓦	丸瓦	胴部	凸面ナデか、凹面布目痕。灰白色。石英・長石の砂粒、炭化物まばらに含む。	46
408	R63070	r6166	e2層	DU49	瓦	丸瓦	胴部	凸面・凹面端部面取り。凹面布目痕。灰色。微細な石英・長石、灰色土器粒まばらに含む。	46
409	R62960	r6154	e2層	DT50	土師器	坏	全形	底部外面に×印のヘラ記号。外面上半回転ナデ、下半ケズリ。内面回転ナデ。内外面にぶい黄橙色。外面一部赤褐色。石英･長石の砂粒～細礫非常に多く、赤色粒、雲母まばらに含む。	47
410	R63307	r6184	e2層	DV49	土師器	高坏	坏部	全面磨滅。脚部内面絞り痕。橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	47
411	R63622	r6217	e2層	DX50畔	土師器	高坏	坏部	全面磨滅。にぶい橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒やや多く含む。	47
412	R63394	r6187	e2層	DV50	土師器	高坏	脚部	内外面磨滅。外面縦方向ハケ目か、内面絞り痕。にぶい黄橙色。微細な石英・長石・雲母、赤色粒わずかに含む。	47
413	R62752	r6142	e2層	DT47	土師器	高坏	脚部	全面磨滅、内面上半絞り痕、下半指オサエ。橙色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	47
414	R63279	r6182	e2層	DV48	土師器	高坏	脚部	全面磨滅。内面に輪積み痕・絞り痕。黄橙色。微細な石英・長石わずかに含む。	47
415	R63254	r6180	e2層	DV47	土師器	高坏	脚部	全面磨滅、内面上半絞り痕。にぶい橙色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	47
416	R62941	r6152	e2層	DT49	土師器	甕	口縁部	布留式。内外面磨滅。口縁部内外面横ナデ、胴部外面縦ハケ目、胴部内面ナデか。外面浅黄色、磨滅により部分的に黒褐色。内面橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒多く含む。	48
		r6037	e1層	DT49					
417	R62756	r6142	e2層	DT47	土師器	甕	口縁部	布留式。全面磨滅。にぶい黄橙色。石英･長石の砂粒～細礫多く､雲母･赤色粒まばらに含む。	48
418	R62942	r6152	e2層	DT49	土師器	甕	口縁部	布留式。全面磨滅。口縁部内外面横ナデか。胴部内面ケズリ後屈曲部指オサエ。橙色。石英･長石の砂粒～細礫、赤色粒多く含む。	48
		r6153	e2層	DT49					
419	R62905	r6151	e2層	DT49	土師器	甕	胴部	布留式。頸部内外面横ナデ。胴部外面縦ハケ目後一部横ハケ目。胴部上半内面右上がりケズリ、胴部下半内面左上がりケズリ。内外面浅黄橙色。黒斑あり。石英・長石の砂粒多く、雲母・赤色粒まばらに含む。	48
420	R62282	r6110	e2層	DR47	土師器	甕	口縁部	布留系。口縁部内外面横ナデ、体部外面横ハケ目、体部内面ナデ・オサエ。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫非常に多く含む。	48
421	R62361	r6117	e2層	DR49	土師器	甕	口縁部	内外面横ナデ、肩部内面指オサエ。内外面にぶい橙色。石英･長石･チャートの砂粒、雲母、赤色粒多く含む。	48
422	R62476	r6127	e2層	DS46	土師器	甕	口縁部	外面横ナデ、内面口縁部磨滅、肩部指ナデ。にぶい橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒、雲母まばらに含む。	48
423	R62579	r6131	e2層	DS48	土師器	甕	口縁部	口縁部外面横ナデ、内面横ハケ目。胴部外面横ハケ目、内面磨滅。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒、雲母まばらに含む。	48
424	R62840	r6146	e2層	DT48	土師器	壺	口縁部	口縁端部付近横ナデ。外面縦方向ハケ目、内面は口縁部横方向ハケ目。屈曲部横ナデ、胴部ケズリ。外面にぶい黄橙色、内面橙色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	48
425	R62755	r6142	e2層	DT47	土師器	壺	底部	焼成前穿孔。全面磨滅。内面指頭痕、底端部内面ナデ。明赤褐色。微細な石英・長石わずかに含む。	48
426	R62906	r6151	e2層	DT49	土師器	甕 or 甑	把手	指ナデ・オサエ調整。にぶい橙色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	48
427	R63027	r6161	e2層	DU47	土師器	甕 or 甑	把手	指ナデ・オサエ調整。橙色。石英・長石の砂粒を多く含み、雲母、赤色粒まばらに含む。	48
428	R63662	r6225	e2層	DY49	土師器	甕 or 甑	把手	指ナデ・オサエ調整。橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	48
429	R62258	r6108	e2層	DR47	土師器	竈？	庵部	移動式竈。羽釜鍔部の可能性も。指ナデ・オサエ調整。にぶい橙色。石英・長石の砂粒～細礫非常に多く、赤色粒まばらに含む。	48
430	R62624	r6133	e2層	DS48	弥生土器	壺	口縁部	大型品。全面磨滅。外面橙色、内面明赤褐色。石英･長石･チャート･砂岩？の砂粒～細礫、赤色粒非常に多く含む。	49
431	R63105	r6168	e2層	DU49	弥生土器	壺	口縁部	大型品。口縁端部沈線、口頸部境に段・連続押圧文。内外面磨滅。明黄褐色。４㎜以下の石英・長石の砂粒～細礫、雲母、赤色粒やや多く含む。	49
432	R62483	r6128	e2層	DS47	弥生土器	壺	肩部	有段。外面横方向ミガキ､内面オサエ後ハケ目後ミガキ。外面浅黄橙色､内面灰白色。石英･長石・雲母の砂粒含む。	49
433	R62432	r6126	e2層	DS46	弥生土器	壺	肩部	有段。内外面磨滅、外面横方向ミガキか。外面にぶい黄橙色、内面灰白色。石英・長石・雲母・チャート？の砂粒やや多く含む。	49
434	R63064	r6165	e2層	DU48	弥生土器	壺	胴部	外面ハケ目後横ミガキ、内面ハケ目後ナデ。内外面にぶい黄橙色。石英・長石・角閃石の砂粒～細礫、赤色粒まばらに含む。	49
435	R62991	r6159	e2層	DU46	弥生土器	壺	肩部	外面ヘラ描き直線文。外面磨滅､内面ナデ。外面にぶい黄橙色､内面灰黄色、断面暗灰黄色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫多く、微細な角閃石と赤色粒まばらに含む。	49
436	R63465	r6198	e2層	DW47	弥生土器	壺	胴部	外面沈線文。内外面磨滅。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	49
437	R62463	r6127	e2層	DS46	弥生土器	壺	胴部	外面ヘラ描沈線文。外面横ミガキ。内面下半ナデ、上半オサエ。外面黄橙色～明黄褐色。内面灰黄褐色。石英・長石・雲母の砂粒と赤色粒やや多く含む。	49
438	R63555	r6209	e2層	DX48	弥生土器	壺	肩部	外面磨滅。内面ナデ、胴部下半板オサエ。灰黄褐色。外面に黒斑。石英・長石の砂粒～細礫非常に多く、雲母まばらに含む。	49
439	R62275	r6110	e2層	DR47	弥生土器	壺蓋	下半部	頂部欠損。全面磨滅。外面オサエ後ナデ。内面ハケ目。内外面浅黄橙色、一部赤色赤彩残存か。石英・長石・雲母の砂粒まばらに含む。胎土はきめ細かい。	49
440	R62287	r6111	e2層	DR48	弥生土器	壺蓋？	裾部	内外面磨滅。外面指頭圧痕残る。内外面橙色。石英・長石の砂粒、微細な雲母、赤色粒やや多く含む。	49

遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
441	R62721	r6141	e2層	DT46	弥生土器	壺	口縁部	455と同一個体の可能性あり。口唇部刻目、頸部境にヘラ描直線文・刺突文。口縁部外面ナデ、内面ミガキ。胴部外面磨滅、内面ナデ。外面明褐色、内面灰黄褐色。石英・長石の砂粒～中礫非常に多く、雲母の砂粒まばらに含む。	49
442	R62297	r6113	e2層	DR48	弥生土器	壺	口縁部	頸部外面連続刺突文・ヘラ描沈線文。内外面磨滅。外面にぶい橙色、内面にぶい褐色。石英・長石の砂粒～細礫少量、微細な雲母多く含む。	49
443	R62207	r6105	e2層	DR46	弥生土器	壺	口縁部	口縁端面ヘラ描沈線。内外面ミガキ。内外面淡黄色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫多く含む。頸部境にヘラ描き沈線の可能性あり。ただし、ミガキの可能性も残る。	49
444	R63211	r6176	e2層	DV46	弥生土器	壺	口縁部	内外面磨滅。外面灰白色、内面黄灰色。石英・長石の砂粒～細礫非常に多く含む。	49
445	R62211	r6105	e2層	DR46	弥生土器	甕	口縁部	口縁端部刻目。内外面ナデ。外面橙色、内面黒色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	49
446	R63515	r6203	e2層	DW50畔	弥生土器	壺	口縁部	外面沈線、内面竹管文。内外面磨滅、ナデか。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫やや多く、雲母わずかに含む。	49
447	R62907	r6152	e2層	DT49	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部にヘラ描文。内外面横ナデ。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫、赤色粒やや多く含む。	49
443	R62007	r6079	e2層	DQ46	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部に無軸綾杉文。内外面磨滅。口縁端部黒褐色、内面橙色。石英・長石の砂粒～細礫、赤色粒多く含む。	49
449	R63557	r6209	e2層	DX48	弥生土器	壺	口縁部	内面に貼付粘土帯。内外面磨滅。明赤褐色。石英・長石・チャートの砂粒多く含む。	49
450	R62066	r6088	e2層	DQ48	弥生土器	壺	頸部	内面に貼付粘土帯。注口状部付近か。内外面磨滅。内外面明赤褐色。石英・長石の砂粒、赤色粒やや多く含む。	49
451	R63616	r6217	e2層	DX50畔	弥生土器	壺	頸部	頸部外面ヘラ描き沈線。外面ナデ、内面磨滅。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫、雲母多く含む。	49
452	R63615	r6217	e2層	DX50畔	弥生土器	壺	頸部	頸部外面ヘラ描沈線。全面磨滅。内面指オサエ。にぶい黄橙色。石英・長石・チャートの砂粒～細礫、雲母、赤色粒やや多く含む。	49
453	R62484	r6128	e2層	DS47	弥生土器	壺	胴部	淡橙色～灰白色。石英・長石・雲母の砂粒やや多く含む。	49
454	R63475	r6199	e2層	DW48	弥生土器	壺	頸部	外面微隆起突帯。内外面ナデ。にぶい黄橙色。石英・長石・角閃石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	49
455	R62209	r6105	e2層	DR46	弥生土器	壺	肩部	441と同一個体の可能性あり。内外面磨滅。外面横ミガキか、内面ナデ。外面明赤褐色（赤彩？）、内面浅黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫やや多く含む。	49
456	R62156	r6099	e2層	DQ50	弥生土器	壺	胴部	２条の浅いヘラ描沈線の間に楕円形の連続刺突文２列。明赤褐色。石英・長石の砂粒含む。	49
457	R62214	r6105	e2層	DR46	弥生土器	壺	胴部	内外面磨滅。外面褐灰色、内面淡黄色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	49
458	R62201	r6104	e2層	DR46	弥生土器	壺	胴部	全面磨滅。内面は剥落の可能性が高い。２条の押圧突帯の間にヘラ描き沈線文２条。外面浅黄色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	49
459	R63029	r6162	e2層	DU47	弥生土器	壺	胴部	外面に竹管文＋櫛描文か。内外面ナデ。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く、角閃石の砂粒、微細な赤色粒わずかに含む。	49
460	R63345	r6186	e2層	DV49	弥生土器	無頸壺	頸部	傾き・天地任意。甕胴部の可能性も残る。外面沈線文・山形文。内外面磨滅、ナデか。外面黒色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒多く、赤色粒まばらに含む。	49
461	R62118	r6092	e2層	DQ49	弥生土器	壺	胴部	ヘラ描直線文。内外面磨滅。内面オサエ、上半はやや丁寧。明黄褐色。石英・長石・雲母・チャートの砂粒～細礫やや多く含む。	49
462	R62418	r6125	e2層	DS45	弥生土器	壺	口縁部	口唇部刻目。内外面磨滅。外面浅黄橙色、内面黒褐色。石英・長石の砂粒～細礫やや多く含む。	50
463	R63110	r6168	e2層	DU49	弥生土器	壺	口縁部	内外面磨滅。外面指頭圧痕、内面ナデか。外面にぶい黄橙色、内面灰黄色。石英・長石の砂粒多く含む。	50
464	R62337	r6117	e2層	DR49	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部下方に拡張。全面磨滅。口縁端部は横方向ナデによりわずかに凹む。内外面赤橙色。石英・長石の砂粒やや多く含む。５㎜大の火山岩礫？も含む。	50
465	R62277	r6110	e2層	DR47	弥生土器	壺	口縁部	全面磨滅。橙色。石英・長石の砂粒～細礫、微細な雲母、赤色粒やや多く含む。	50
466	R62184	r6102	e2層	DR45	弥生土器	壺	口縁部	外面横方向ナデ。擦過痕明瞭に残る。内面横ミガキ。黒褐色～褐灰色。石英・長石の砂粒～細礫、微細な雲母まばらに含む。	50
467	R62371	r6118	e2層	DR49	弥生土器	壺	口縁部	口縁端面に擬凹線。下端に刻目。内外面磨滅、横方向のナデか。内外面褐色。石英・長石の砂粒わずかに含む。	50
468	R62149	r6098	e2層	DQ50	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部連続刻目（２条単位？）の後横方向のヘラ描き沈線。頸部境貼付押圧突帯。内外面磨滅。外面明赤褐色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫、微細な雲母と赤色粒やや多く含む。	50
469	R63032	r6162	e2層	DU47	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部を上方に拡張、ヘラ状工具により格子文が刻まれる。右から左。内外面磨滅。ナデか。石英・長石の砂粒～小礫多く含み、チャートの砂粒、微細な赤色粒わずかに含む。	50
470	R63706	r6238	e2層	南西部	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部に小枝？による山形文。内外面横ナデ。明赤褐色。石英・長石の砂粒、赤色粒多く含む。	50
471	R62824	r6146	e2層	DT48	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部ヘラ描き文。口縁部内外面横ナデ、口縁部外面下半は左上がりナデ。外面灰黄褐色、内面黒褐色。石英・長石の砂粒～細礫、赤色粒やや多く含む。	50
472	R62069	r6088	e2層	DQ48	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部上方へ拡張。端面に３条１単位の櫛描山形文。全面磨滅。外面橙色、内面浅黄橙色、断面黒色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	50
473	R63400	r6188	e2層	DV50	弥生土器	壺	口縁部	頸部境に突帯。内外面磨滅。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～中礫やや多く含む。	50
474	R62739	r6142	e2層	DT47	弥生土器	壺	肩部	頸部境に貼付突帯。全面磨滅。橙色。石英・長石の砂粒非常に多く含む。	50
475	R62792	r6145	e2層	DT48	弥生土器	壺	頸部	頸部境に指で連続押捺を施した突帯。内外面磨滅。外面橙色、内面黒褐色。石英・長石の砂粒と赤色粒多く含む。口縁部外面に焼成時剥離痕か。	50
476	R63004	r6161	e2層	DU47	弥生土器	壺	頸部	外面多条突帯。内外面磨滅。明赤褐色。石英・長石の砂粒多く含む。	50
477	R62161	r6099	e2層	DQ50	弥生土器	壺	頸部	頸部多条突帯。内外面磨滅。内面絞り痕わずかに残る。内外面明赤褐色。石英・長石の砂粒～細礫やや多く含む。	50
478	R62696	r6138	e2層	DS50	弥生土器	壺	頸部	貼付突帯。外面横ナデ、内面板ナデ。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	50
479	R62218	r6105	e2層	DR46	弥生土器	無頸壺	口縁部	無頸壺。内外面磨滅。橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒やや多く含む。	50
480	R62846	r6147	e2層	DT48	弥生土器	無頸壺	口縁部	外面上部に沈線。口縁部内外面横ナデ、胴部内外面ナデ。明赤褐色。石英・長石の砂粒～細礫多く、赤色粒まばらに含む。	50
481	R63399	r6188	e2層	DV50	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部凹線文。内外面磨滅、横ナデか。橙色。石英・長石の砂粒～細礫やや多く、赤色粒わずかに含む。	51
482	R62315	r6114	e2層	DR48	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部上下に拡張。端面に擬凹線。内外面磨滅。外面縦ミガキ。内面頸部に絞り痕。にぶい橙色。石英・長石の砂粒、微細な雲母・赤色粒わずかに含む。	51
483	R62182	r6102	e2層	DR45	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部上下に拡張。端面に凹線文。内外面磨滅。橙色。微細な石英・長石・雲母・赤色粒わずかに含む。	51
484	R62419	r6125	e2層	DS45	弥生土器	壺	口縁部	全面磨滅。口縁端部凹線文か。外面にぶい黄橙色、内面黒褐色。石英・長石の砂粒～細礫、微細な雲母と赤色粒まばらに含む。	51
485	R63030	r6162	e2層	DU47	弥生土器	壺	口縁部	拡張した口縁端部に凹線状の沈線３条。外面にぶい橙色、内面にぶい黄橙色。内外面横ナデ。石英・長石の砂粒、赤色粒多く含む。	51
486	R63235	r6180	e2層	DV47	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部凹線文。内外面ナデ。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒、雲母、赤色粒まばらに含む。	51
487	R62158	r6099	e2層	DQ50	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部上下に拡張。端面に凹線文。内外面磨滅、外面横ナデか。外面灰白色、内面にぶい橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒やや多く含む。	51
488	R62571	r6131	e2層	DS48	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部凹線文。内外面磨滅、外面端部付近は凹線文施文と同時の横ナデ。内外面灰黄褐色。石英・長石の砂粒と赤色粒やや多く含む。	51

遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
489	R62980	r6158	e2層	DU46	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部に凹線文３条。内外面ナデ。内外面にぶい橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	51
490	R62247	r6108	e2層	DR47	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部上下に拡張。端面に擬凹線か。内外面磨滅、内面横方向ナデか。浅黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒少量含む。	51
491	R62142	r6095	e2層	DQ49東畔	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部上下に拡張。端面に比較的鋭い凹線文。外面にぶい橙色、内面浅黄橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒やや多く含む。赤色粒は３㎜以下と大きく混入量も多い。	51
492	R63473	r6199	e2層	DW48	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部凹線文。内外面磨滅。にぶい赤褐色。石英・長石の砂粒～細礫、雲母多く含む。	51
493	R63175	r6172	e2層	DU50	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部に凹線文。外面横ナデ、内面やや乾いた状態でナデ。外面明赤褐色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	51
494	R62825	r6146	e2層	DT48	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部凹線文。内外面磨滅。橙色。微細な石英・長石・赤色粒まばらに含む。	51
495	R63673	r6230	e2層	DY50畔	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部凹線文。全面磨滅、内外面横ナデか。橙色。石英・長石の砂粒まばらに、赤色粒わずかに含む。	51
496	R62131	r6093	e2層	DQ49	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部上下に拡張。端面に凹線文。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫と雲母やや多く含む。	51
497	R63556	r6209	e2層	DX48	弥生土器	壺	口縁部	拡張した口縁端部に凹線文。口縁部横ナデ、頸部外面縦ナデのち横ナデ、頸部内面横方向ハケ目。明赤褐色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	51
498	R62298	r6113	e2層	DR48	弥生土器	壺	口縁部	大型品。口縁端部上下に拡張。端面に擬凹線？のち棒状浮文貼付。浮文には横方向の刻目が施される。内外面磨滅。外面橙色、内面浅黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒～中礫、赤色粒多く含む。	51
499	R63485	r6200	e2層	DW48	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部に凹線文→刻目→円形浮文。内外面磨滅。外面にぶい黄褐色、内面黒褐色。石英・長石の砂粒～細礫多く、赤色粒わずかに含む。	51
500	R62979	r6158	e2層	DU46	弥生土器	壺	口縁部	大型壺。上方に摘み上げられた口縁端部に５条の凹線状沈線を下から１条ずつ施す。外面縦ハケ目、内面横方向ナデ。外面にぶい黄橙色、内面橙色。石英・長石の砂粒～細礫、赤色粒やや多く含む。	51
501	R62435	r6126 r6105 r6241	e2層 e2層 e2層	DS46 DR46 南東部	弥生土器	壺	胴部	外面磨滅、ハケ目か。内面ナデ、絞り痕残る。外面灰色、内面褐灰色。石英・長石の砂粒～細礫、微細な雲母まばらに含む。	51
502	R63147	r6171	e2層	DU50	弥生土器	壺	胴部	算盤玉形の胴部。壺とも考えられたが、上部の立ち上がり位置から鉢と判断。肩部との境にヘラ状工具による連続刺突文。外面磨滅。胴部内面ハケ目後ナデ・オサエ、肩部内面ナデ・オサエ。外面にぶい黄橙色、内面橙色。石英・長石の砂粒～細礫、赤色粒やや多く含む。	51
503	R62487	r6128	e2層	DS47	弥生土器	壺	口縁部	全面磨滅。外面橙色、内面浅黄橙色。石英・長石・チャートの砂粒～細礫まばらに含む。	52
504	R63257	r6181	e2層	DV47	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部擬凹線。内外面磨滅、外面指オサエ。橙色。石英・長石の砂粒～細礫、赤色粒やや多く含む。	52
505	R62159	r6099	e2層	DQ50	弥生土器	壺	口縁部	口縁端面に擬凹線。内外面磨滅。橙色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫やや多く含む。	52
506	R62385	r6121	e2層	DR50	弥生土器	壺	口縁部	大型品。全面磨滅。口縁端面に凹線文。内外面黄橙色。凹線凹部は明赤褐色（赤彩？）。石英・長石の砂粒～細礫やや多く含む。	52
507	R63484	r6200	e2層	DW48	弥生土器	壺	口縁部	頸部外面板状工具の小口による押圧文。内外面磨滅、横ナデか。にぶい橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	52
508	R62485	r6128	e2層	DS47	弥生土器	壺	口縁部	全面磨滅。外面にぶい橙色、内面灰白色。石英・長石・雲母の砂粒、赤色粒やや多く含む。	52
509	R63234	r6180	e2層	DV47	弥生土器	壺	口縁部	全面磨滅。橙色。石英・長石の砂粒多く含む。	52
510	R62952	r6154	e2層	DT50	弥生土器	壺	口縁部	内外面磨滅。外面縦方向ハケ目か。内面口縁部横ナデ、頸部ナデ、胴部ケズリ。外面にぶい黄褐色、内面灰黄褐色、断面橙色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	52
511	R62486	r6128	e2層	DS47	弥生土器	壺	口縁部	内外面磨滅、ナデか。橙色。石英・長石の砂粒～細礫と赤色粒をやや多く含む。	52
512	R62276	r6110	e2層	DR47	弥生土器	壺	肩部	全面磨滅。内外面橙色。石英・長石の砂粒～中礫、微細な雲母・赤色粒非常に多く含む。頸部境に突帯を貼り付けていた可能性あり。胎土は前期的。	52
513	R63205	r6174	e2層	DV45畔	弥生土器	壺	口縁部	直口壺。内外面磨滅。外面は特に荒れが著しく、わずかに多条突帯が残る。内面下半に指頭痕明瞭、口縁端部付近は横ナデよる丁寧に仕上げ。外面橙色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～中礫、雲母やや多く含む。	52
514	R63584	r6213	e2層	DX49	弥生土器	壺	口縁部	内面・口縁部外面横ナデ、頸部外面ハケ目後ミガキ。橙色。石英・長石の砂粒～細礫、雲母まばらに含む。	52
515	R63532	r6204	e2層	DW50	弥生土器	甕	口縁部	吉備系。口縁部擬凹線。内外面磨滅。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	52
516	R62338	r6117	e2層	DR49	弥生土器	壺	口縁部	大型直立口縁。全面磨滅。橙色。微細な石英・長石・雲母・黒色粒やや多く含む。	52
517	R62192	r6102	e2層	DR45	弥生土器	壺 or 鉢	口縁部	凹線文か。内外面磨滅。外面明黄褐色、内面浅黄色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫やや多く含む。	52
518	R62317	r6114	e2層	DR48	弥生土器	壺	口縁部	複合口縁壺。一次口縁と二次口縁の境およびその上面にクシ描波状文。内外面磨滅。接合面内面に横ハケ目残。石英・長石の砂粒～中礫、微細な雲母・赤色粒やや多く含む。	52
519	R62028	r6085	e2層	DQ47	弥生土器	壺	口縁部	複合口縁か。波状文＋竹管文。にぶい橙色。石英・長石・雲母の砂粒やや多く含む。	52
520	R62870	r6151	e2層	DT49	弥生土器	壺	口縁部	口縁端部も波状文。外面磨滅、内面ナデ。外面橙色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫まばらに含む。	52
521	R62335	r6117	e2層	DR49	弥生土器？	壺	口縁部	口縁部外面クシ描波状文。外面ミガキ、内面ハケ目。浅黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒、赤色粒わずかに含む。	52
522	R63370	r6187	e2層	DV50	弥生土器	壺	口縁部	二重口縁壺。内外面磨滅、横ナデか。褐色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	52
523	R63401	r6188	e2層	DV50	弥生土器	壺	口縁部	二重口縁。内外面磨滅。明赤褐色。石英・長石の砂粒、雲母、赤色粒やや多く含む。	52
524	R63313	r6185	e2層	DV49	弥生土器	壺	底部	外面板ナデ、内面ナデ・オサエ。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	56
525	R62340	r6117	e2層	DR49	弥生土器	壺	底部	全面磨滅。淡黄色。石英・長石の砂粒～細礫やや多く含む。	56
526	R63506	r6202	e2層	DW49	弥生土器	壺	底部	外面磨滅、内面ナデ。外面にぶい褐色、内面灰黄色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	56
527	R62143	r6095	e2層	DQ49東畔	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。外面明赤褐色、内面にぶい黄褐色。石英・長石の砂粒～細礫、微細な雲母・赤色粒多く含む。	56
528	R63455	r6196	e2層	DW47	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。外面にぶい黄橙色、内面灰白色。石英・長石の砂粒～細礫多く、雲母、赤色粒まばらに含む。	56
529	R62187	r6102	e2層	DR45	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。外面にぶい黄橙色、内面灰白色。石英・長石の砂粒～細礫を多く、赤色粒わずかに含む。細礫が多い。	56
530	R63078	r6167	e2層	DU49	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。外面橙色、内面黄灰色。石英・長石・火成岩の砂粒～細礫多く含む。	56
531	R62318	r6114	e2層	DR48	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。にぶい橙色～明褐灰色。石英・長石の砂粒～中礫、微細な雲母・赤色粒やや多く含む。	56
532	R62468	r6127	e2層	DS46	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。灰白色。石英・長石・雲母の砂粒と赤色粒多く含む。	56
533	R62388	r6121	e2層	DR50	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅、内面板状工具によるナデか。にぶい橙色。石英・長石・雲母の砂粒・赤色粒やや多く含む。	56
534	R62029	r6085	e2層	DQ47	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。外面灰白色、内面橙色。外面下半～外底面黒褐色。石英・長石の砂粒～細礫多く、微細な角閃石ごくわずかに含む。	56
535	R63079	r6167	e2層	DU49	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。外面明赤褐色、内面黄灰色。石英・長石の砂粒～細礫、雲母・赤色粒やや多く含む。	56

遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
536	R63478	r6199	e2層	DW48	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。黒色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	56
537	R63619	r6217	e2層	DX50畔	弥生土器	壺	底部	全面磨滅。外面ナデ、内面ナデ・オサエか。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫やや多く含む。	56
538	R62495	r6128	e2層	DS47	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅、内面ナデ。外面橙色・灰黄褐色、内面褐色・黒褐色。石英・長石の砂粒～細礫やや多く含む。	57
		r6129	e2層	DS47					
539	R63476	r6199	e2層	DW48	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～中礫多く含む。	57
540	R62742	r6142	e2層	DT47	弥生土器	壺	底部	全面磨滅。外面橙色、内面にぶい黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫非常に多く含む。	57
541	R63112	r6168	e2層	DU49	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。外面にぶい黄橙色、内面橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く、赤色粒わずかに含む。	57
542	R62237	r6106	e2層	DR47	弥生土器	壺	底部	外面磨滅、内面剥落。外面にぶい黄橙色、内面灰白色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫、赤色粒多く含む。	57
543	R62438	r6126	e2層	DS46	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。外面灰白色、内面にぶい橙色。石英・長石の砂粒と赤色粒多く含む。	57
544	R62163	r6099	e2層	DQ50	弥生土器	壺	底部	外面縦方向ナデ、内面板状工具によるナデ後散発的なミガキ。外面明赤褐色、内面明黄褐色。石英・長石・チャートの砂粒、赤色粒やや多く含む。	57
545	R62439	r6126	e2層	DS46	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。外面ミガキか。内面指ナデ・オサエ。外面にぶい黄橙色、内面灰白色。石英・長石・雲母・火山岩の砂粒と赤色粒やや多く含む。	57
546	R62293	r6112	e2層	DR48	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。橙色。石英・長石・雲母・チャートの砂粒～細礫と赤色粒多く含む。微細な粘板岩片？ごくわずかに含む。	57
547	R62009	r6079	e2層	DQ46	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。浅黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	57
548	R63441	r6195	e2層	DW47	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅、内面ナデか。外面にぶい橙色、内面黒褐色。石英・長石の砂粒～中礫やや多く、赤色粒まばらに含む。	57
549	R63347	r6186	e2層	DV49	弥生土器	壺	底部	外面磨滅、ナデか。内面ナデ・オサエ。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	57
550	R62301	r6113	e2層	DR48	弥生土器	壺	底部	外面磨滅。内面横方向のピッチの短いミガキ調整。橙色。石英・長石の砂粒・赤色粒まばらに含む。	58
		r6030	e1層	DS49					
551	R62440	r6126	e2層	DS46	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。外面黄橙色、内面浅黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫やや多く含む。	58
552	R63433	r6193	e2層	DW46	弥生土器	壺	底部	外面磨滅、内面ナデ。外面明赤褐色、内面橙色。石英・長石・チャートの砂粒～細礫多く含む。	58
		r6209	e2層	DX48					
553	R63266	r6182	e2層	DV48	弥生土器	壺	底部	外面磨滅、内面板ナデ・指オサエ。外面黒色、内面明赤褐色。石英・長石の砂粒～細礫、雲母、赤色粒まばらに含む。	58
554	R62525	r6129	e2層	DS47	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。外面灰白色、内面にぶい黄橙色。微細な石英・長石・雲母・赤色粒まばらに含む。	58
555	R63534	r6204	e2層	DW50	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。浅黄橙色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	58
556	R63008	r6161	e2層	DU47	弥生土器	壺	底部	薄手。内外面磨滅、ナデか。外面灰黄色、内面浅黄橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒やや多く含む。	58
557	R62269	r6109	e2層	DR47	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。外面黄橙色、内面にぶい橙色。石英・長石の砂粒～細礫と赤色粒まばらに含む。	58
558	R63516	r6203	e2層	DW50畔	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅、内底面ナデ。淡黄色。石英・長石の砂粒～中礫、赤色粒やや多く含む。	58
559	R62437	r6126	e2層	DS46	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。外面縦方向ミガキ、内面指ナデ・オサエ。外面にぶい黄橙色、内面明黄褐色。石英・長石の砂粒、微細な雲母・赤色粒まばらに含む。	58
		r6129	e2層	DS47					
560	R62236	r6106	e2層	DR47	弥生土器	壺	底部	外面磨滅、縦方向ミガキか。内面板ナデ。外面浅黄橙色、内面褐灰色。石英・長石の砂粒～細礫、微細な雲母・赤色粒やや多く含む。	59
561	R63569	r6210	e2層	DX48	弥生土器	壺	底部	全面磨滅、内面ナデ・オサエ。外面橙色、内面黄灰色。石英・長石の砂粒～細礫多く、赤色粒わずかに含む。	59
562	R63551	r6208	e2層	DX47	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。内底面ナデ。外面灰白色、内面浅黄橙色。外面に黒斑。石英・長石の砂粒、赤色粒多く含む。	59
563	R62186	r6102	e2層	DR45	弥生土器	壺	底部	外面磨滅。内面オサエ・縦方向ナデ。外面明赤褐色、内面黒褐色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫、赤色粒多く含む。	59
564	R62343	r6117	e2層	DR49	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。外面橙色、内面灰黄褐色。石英・長石・雲母の砂粒～中礫、赤色粒多く含む。	59
565	R62795	r6145	e2層	DT48	弥生土器	壺	底部	内外面ナデ。内面指頭痕、板状工具の小口痕残。外面にぶい橙色、内面にぶい黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒、赤色粒多く含む。	59
566	R62829	r6146	e2層	DT48	弥生土器	壺	底部	外面磨滅、内面ナデ・縦ハケ目。内底面指オサエ。褐色。石英・長石の砂粒～中礫、赤色粒多く含む。	59
567	R63077	r6167	e2層	DU49	弥生土器	壺	底部	外面磨滅、内面ハケ目。外面灰黄褐色、内面にぶい橙色。石英・長石の砂粒～細礫、雲母・赤色粒やや多く含む。	59
568	R62993	r6159	e2層	DU46	弥生土器	壺	底部	内外面ナデ。内底面指頭圧痕残。外面にぶい赤褐色、にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	59
569	R63637	r6218	e2層	DX50	弥生土器	壺	底部	全面磨滅。橙色。石英・長石の砂粒、雲母、赤色粒やや多く含む。	59
570	R62494	r6128	e2層	DS47	弥生土器	壺	底部	外面磨滅、内面ナデ・オサエ。にぶい橙色。石英・長石の砂粒、微細な雲母やや多く含む。	59
571	R63215	r6176	e2層	DV46	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅、内面指オサエ。橙色。石英・長石の砂粒～細礫、雲母、赤色粒まばらに含む。	59
572	R62493	r6128	e2層	DS47	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。外面明赤褐色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～中礫多く含む。	59
573	R62164	r6099	e2層	DQ50	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。明赤褐色。石英・長石・雲母の砂粒やや多く含む。	59
574	R63492	r6200	e2層	DW48	弥生土器	壺	底部	外面磨滅。内面ハケ目・オサエ。灰黄色。石英・長石の砂粒～中礫やや多く含む。	59
575	R62644	r6135	e2層	DS49	弥生土器	甕	口縁部	突帯文系。波状口縁か。突帯には刻目。全面磨滅。外面にぶい赤褐色、内面黒色。焼成やや軟質。石英・長石の砂粒を非常に多く含む。	62
576	R62022	r6084	e2層	DQ47	弥生土器	甕	口縁部	突帯文系。内外面磨滅。外面浅黄橙色、内面にぶい黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒やや多く含む。	62
577	R62093	r6090	e2層	DQ49	弥生土器	甕	口縁部	突帯文系。幅広の貼付突帯。突帯には左上がりの刻目。全面磨滅。明赤褐色。石英・長石・雲母の砂粒やや多く含む。	62
578	R62760	r6144	e2層	DT48	弥生土器	甕	胴部	突帯文系。突帯に刻目。にぶい褐色。石英・長石の砂粒、赤色粒非常に多く含む。	62
579	R62515	r6129	e2層	DS47	弥生土器	甕	胴部	突帯文系。やや高く突出する突帯もつが、突帯端部は欠損。内外面暗褐色、断面にぶい褐色。石英・長石の砂粒～細礫非常に多く含む。	62
580	R62518	r6129	e2層	DS47	弥生土器	甕	上半部	如意形口縁。口唇部連続刻目、頸部ヘラ描き沈線文。内外面磨滅、口縁部横ナデか。外面浅黄橙色、下半は煤のため灰黄褐色。内面にぶい黄橙色。石英・長石・雲母・チャートの砂粒、赤色粒多く含む。	62
		r6035	e1層	DT47					
581	R63210	r6176	e2層	DV46	弥生土器	甕	口縁部	如意形口縁。口縁端部刻目。内外面ナデ。にぶい橙色。石英・長石の砂粒多く、微細な角閃石わずかに含む。	62
582	R62327	r6116	e2層	DR49	弥生土器	甕	口縁部	口縁端部刻目。内外面磨滅。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	62
583	R63708	r6241	e2層	南東部	弥生土器	甕	口縁部	口縁端部に連続刻目文。間隔は不均一。全面磨滅。外面にぶい黄橙色、口縁部付近のみ黒褐色。内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒非常に多く、雲母、赤色粒、炭化物わずかに含む。	62
584	R63351	r6186	e2層	DV49	弥生土器	甕	口縁部	口縁端部刻目。内外面磨滅、横ナデか。にぶい橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	62
585	R62464	r6127	e2層	DS46	弥生土器	甕	胴部	ヘラ描沈線文。外面横方向ナデ、内面ナデ。外面下半に煤付着。明赤褐色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫多く含む。	62

遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
586	R63072	r6167	e2層	DU49	弥生土器	甕	口縁部	口縁部に断面三角形状の貼付突帯。内外面磨滅、内面ナデか。外面にぶい黄橙色、内面にぶい橙色。石英・長石の砂粒～細礫まばらに、赤色粒・炭化物わずかに含む。	62
587	R63310	r6185	e2層	DV49	弥生土器	甕	口縁部	瀬戸内型。口縁部貼付。体部外面沈線文・刺突文。外面橙色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒多く、雲母わずかに、赤色粒まばらに含む。	62
588	R62049	r6087	e2層	DQ48	弥生土器	甕	胴部	ヘラ描沈線文下に連続刺突文。にぶい黄橙色。石英･長石･雲母の砂粒～細礫、赤色粒含む。	62
589	R63203	r6174	e2層	DV45畔	弥生土器	甕	口縁部	口縁部刻目、胴部外面多条沈線。外面にぶい橙色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒多く、微細な角閃石、赤色粒わずかに含む。	62
590	R62314	r6114	e2層	DR48	弥生土器	甕	口縁部	折り曲げ口縁。ヘラ描き沈線文。内外面磨滅。浅黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫やや多く含む。	62
591	R63065	r6166	e2層	DU49	弥生土器	甕	胴部	外面多条沈線。内外面磨滅。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒多く含む。	62
592	R62043	r6086	e2層	DQ47	弥生土器	甕	胴部	ヘラ描沈線文。内外面磨滅。浅黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫やや多く含む。	62
593	R63583	r6213	e2層	DX49	弥生土器	甕	胴部	外面沈線文・刺突文。内面ナデ。浅黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫、雲母やや多く含む。	62
594	R62148	r6098	e2層	DQ50	弥生土器	甕	胴部	多条ヘラ描沈線下に連続刺突文。内外面磨滅。浅黄橙色。石英･長石･雲母の砂粒やや多く含む。	62
595	R62520	r6129	e2層	DS47	弥生土器	甕	口縁部	瀬戸内型甕。口縁端部外面貼付突帯。クシ描文。内外面磨滅、ナデか。橙色。石英・長石の砂粒～細礫と赤色粒やや多く含む。	62
596	R62208	r6105	e2層	DR46	弥生土器	甕	口縁部	折り曲げ口縁。クシ描直線文帯下に連続刺突文。内外面磨滅、内面指頭痕。外面黒色、内面浅黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒やや多く含む。	62
597	R62738	r6142	e2層	DT47	弥生土器	甕	口縁部	外面クシ描文。内外面磨滅。外面黒褐色、内面橙色。石英・長石の砂粒多く、赤色粒まばらに含む。	62
598	R62144	r6095	e2層	DQ49東畔	弥生土器	甕	胴部	クシ描直線文・連続刺突文。内外面磨滅、ナデか。橙色。石英・長石・雲母の砂粒含む。	62
599	R62982	r6158	e2層	DU46	弥生土器	甕	胴部	胴上部外面連続刺突文。外面縦ハケ目調整、内面ナデ。外面橙色、内面にぶい黄橙色。外面下半は煤付着のため暗褐色。石英・長石の砂粒～細礫やや多く含む。	62
600	R63679	r6230	e2層	DY50畔	弥生土器	甕蓋	下半部	天井部欠損。外面指オサエ･板オサエ、一部横ナデ。内面ヘラケズリ･ヘラナデ。明赤褐色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	62
601	R62798	r6145	e2層	DT48	弥生土器	甕	口縁部	連続押圧突帯。内外面ナデ。口縁端部付近内面オサエ。明赤褐色。石英・長石・雲母多く、赤色粒まばらに含む。	63
602	R63222	r6177	e2層	DV46	弥生土器	甕	口縁部	口縁部内外面ナデ、胴部外面ナデ、胴部内面指オサエ。内外面橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	63
603	R62048	r6087	e2層	DQ48	弥生土器	甕	上半部	内外面磨滅。口縁部内外面横方向ナデ、内面は指頭痕残。胴部下半はケズリ後ナデか。外面にぶい褐色、黒斑あり。内面にぶい黄褐色。石英・長石・雲母の砂粒多く含む。	63
604	R62915	r6152	e2層	DT49	弥生土器	甕	口縁部	口縁部外面オサエ、内面横ナデ。胴部外面左上がりハケ目調整、内面ナデ・オサエ。外面にぶい橙色、内面にぶい黄橙色、断面灰色。石英・長石・雲母の砂粒やや多く含む。	63
605	R63571	r6210	e2層	DX48	弥生土器	甕	口縁部	全面磨滅。内面オサエ・ナデのち下半ケズリ？にぶい橙色。石英・長石の砂粒～中礫多く、赤色粒わずかに含む。	63
606	R62877	r6151	e2層	DT49	弥生土器	甕	口縁部	内外面磨滅。口縁部内外面横ナデ。にぶい橙色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	63
607	R63547	r6207	e2層	DX47	弥生土器	甕	口縁部	布目押圧突帯。全面磨滅。外面黄橙色、内面橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く、赤色粒わずかに含む。	63
608	R63133	r6169	e2層	DU49	弥生土器	甕	口縁部	口縁部内外面横ナデ。胴部外面磨滅、内面ナデ。外面にぶい橙色、内面にぶい黄橙色。石英･長石の砂粒まばらに含む。	63
609	R63546	r6207	e2層	DX47	弥生土器	甕	口縁部	押圧突帯。内外面磨滅。にぶい橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	63
610	R62876	r6151	e2層	DT49	弥生土器	甕	口縁部	口縁部境に指頭により連続押捺する貼付突帯。内外面磨滅、横ナデか。外面橙色、内面浅黄橙色。石英・長石の砂粒多く、赤色頁岩の細礫、砂岩粒わずかに含む。	63
611	R63443	r6195	e2層	DW47	弥生土器	甕	口縁部	口頸部境連続刻目の貼付突帯。内外面磨滅、ナデか。暗灰黄色。石英・長石の砂粒～細礫、雲母まばらに含む。	63
612	R62797	r6145	e2層	DT48	弥生土器	甕	上半部	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面磨滅、内面上半に指頭痕。にぶい橙色。微細な石英･長石･赤色粒まばらに含む。	63
613	R62744	r6142	e2層	DT47	弥生土器	甕	口縁部	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面磨滅。橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒多く含む。	63
614	R62189	r6102	e2層	DR45	弥生土器	甕	口縁部	口縁端部凹線１条。内外面横ナデ。明褐色。石英・長石・雲母の砂粒、赤色粒少量含むが、胎土は精良。	63
615	R62391	r6121	e2層	DR50	弥生土器	甕	口縁部	口縁端部凹線１条。内外面横ナデ。外面にぶい橙色、内面明褐灰色。微細な石英・長石・雲母やや多く含む。	63
616	R63645	r6219	e2層	DY47	弥生土器	甕	上半部	胴部外面刻目文。一部煤付着。口縁部内外面横ナデ、胴部内外面縦ハケ目。にぶい橙色。石英・長石の砂粒、雲母、赤色粒わずかに含む。	63
617	R62473	r6127	e2層	DS46	弥生土器	甕	口縁部	跳上口縁。押圧突帯。外面にぶい橙色、内面にぶい黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒、赤色粒やや多く含む。	63
618	R62320	r6114	e2層	DR48	弥生土器	甕	口縁部	押圧突帯。内外面磨滅。端部付近横ナデ。橙色。石英･長石･雲母の砂粒､赤色粒やや多く含む。	63
619	R63350	r6186	e2層	DV49	弥生土器	甕	上半部	口縁端部擬凹線。外面磨滅、内面縦ハケ目･ナデ。にぶい黄橙色。石英･長石の砂粒～細礫、赤色粒まばらに含む。	63
620	R62344	r6117	e2層	DR49	弥生土器	甕	口縁部	布目押圧突帯。口縁端部擬凹線２条。内外面磨滅、横ナデか。にぶい黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫やや多く含む。	63
621	R62284	r6111	e2層	DR48	弥生土器	甕	上半部	口縁端部および口縁部内面に横ナデによる凹線状の凹み。内外面磨滅。内面やや強いナデ。灰白色～浅黄色。石英・長石・チャートの細礫まばらに含む。	64
622	R62389	r6121	e2層	DR50	弥生土器	甕	口縁部	内外面磨滅、横ナデ。口縁端部は横ナデにより凹線状の凹み。外面にぶい橙色、内面浅黄橙色。石英・長石の砂粒、微細な雲母、赤色粒わずかに含む。	64
623	R63456	r6196	e2層	DW47	弥生土器	甕	口縁部	内外面磨滅、体部外面オサエ、体部内面板ナデか。外面明赤褐色、内面にぶい橙色。石英・長石の砂粒～中礫、赤色粒やや多く含む。	64
624	R62166	r6099	e2層	DQ50	弥生土器	甕	口縁部	口縁端部は上方に摘み上げ、横方向のナデにより端部に凹み。全面磨滅。浅黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒少量含む。	64
625	R62183	r6102	e2層	DR45	弥生土器	甕	口縁部	内外面磨滅。外面横方向ナデ、内面横ミガキ。黒褐色。石英・長石の砂粒～細礫、微細な雲母、赤色粒わずかに含む。	64
626	R62914	r6152	e2層	DT49	弥生土器	甕	口縁部	口縁部内外面横ナデ。胴部外面左上がりハケ目調整、内面ナデ。にぶい黄橙色。石英･長石･雲母の砂粒～細礫やや多く含む。	64
627	R63108	r6168	e2層	DU49	弥生土器	壺	口縁部	内外面磨滅、ナデか。にぶい黄橙色。石英･長石の砂粒～中礫、雲母、赤色粒まばらに含む。	64
628	R62074	r6088	e2層	DQ48	弥生土器	甕	口縁部	口縁端部を下方にわずかに摘み出す。外面横ナデ、内面磨滅。外面橙色、内面灰白色。石英･長石の砂粒～細礫少量含む。	64
629	R62075	r6088	e2層	DQ48	弥生土器	甕	口縁部	口縁端部は上下に摘み出す。全面磨滅。外面にぶい褐色、内面明褐色。微細な石英・長石・雲母、角閃石まばらに含むが、胎土はきめ細かい。	64
630	R62073	r6088	e2層	DQ48	弥生土器	甕	口縁部	外面磨滅、内面横方向指ナデ。明赤褐色。石英・長石の砂粒～細礫やや多く含む。	64
631	R62336	r6117	e2層	DR49	弥生土器	甕	口縁部	内外面磨滅。口縁部内面横ハケ目後ナデ。外面にぶい黄橙色、内面明黄褐色。石英・長石の砂粒、微細な雲母、赤色粒まばらに含む。	64
632	R62992	r6159	e2層	DU46	弥生土器	甕	口縁部	内外面磨滅。外面縦ハケ目後ナデか。内外面橙色。断面にぶい黄色だが、一部分橙色。二次的に被熱した可能性あり。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	64
633	R62249	r6108	e2層	DR47	弥生土器	壺	口縁部	内外面磨滅。内外面橙色。石英・長石の砂粒～細礫、微細な雲母まばらに含む。	64

遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
634	R62472	r6127	e2層	DS46	弥生土器	甕	上半部	外面タタキ、内面ハケ目。口縁端部付近横ナデ。外面煤付着、一部二次被熱による赤変。外面にぶい黄橙色、内面浅黄橙色。石英・長の砂粒～細礫、微細な雲母まばらに含む。	64
		r6105	e2層	DR46					
635	R62248	r6108	e2層	DR47	弥生土器	甕	口縁部	外面タタキ調整、内面磨滅。浅黄橙色。石英・長石やや多く含む。	64
636	R62692	r6138	e2層	DS50	弥生土器	壺	口縁部	内外面磨滅。浅黄橙色。石英・長石の砂粒と微細な雲母やや多く含む。	64
637	R62875	r6151	e2層	DT49	弥生土器	甕	口縁部	内外面ナデ。橙色。石英・長石の砂粒～細礫まばらに含む。	64
638	R63044	r6164	e2層	DU48	弥生土器？	壺	口縁部	二重口縁壺の二次口縁部か。内外面磨滅。橙色。石英・長石の砂粒～細礫、雲母やや多く含む。	64
639	R62191	r6102	e2層	DR45	弥生土器	甕	胴部	外面タタキのち縦ハケ目調整。内面ケズリ。外面にぶい橙色、内面にぶい黄橙色。内外面に煤付着。石英・長石・雲母の砂粒含む。	64
640	R62213	r6105	e2層	DR46	弥生土器	甕	底部	内外面磨滅、ナデ・オサエ。外面にぶい橙色、内面淡黄色。石英・長石の砂粒～細礫、赤色粒多く含む。	66
641	R62497	r6128	e2層	DS47	弥生土器	甕	底部	内外面磨滅。外面明赤褐色、内面黒褐色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	66
642	R63348	r6186	e2層	DV49	弥生土器	甕	底部	内外面磨滅、ナデか。にぶい黄橙色。石英･長石の砂粒～細礫を多く、赤色粒わずかに含む。	66
643	R62076	r6088	e2層	DQ48	弥生土器	甕	底部	内外面磨滅。外面にぶい橙色、内面灰黄褐色。石英･長石･チャートの砂粒～細礫多く含む。	66
644	R63442	r6195	e2層	DW47	弥生土器	甕	底部	内外面磨滅、内面指オサエ。外面橙色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く、雲母わずかに含む。	66
645	R63509	r6202	e2層	DW49	弥生土器	壺	底部	内外面磨滅。内外面にぶい黄橙色、外面一部橙色。石英・長石の砂粒～中礫多く含む。	66
646	R63477	r6199	e2層	DW48	弥生土器	壺	底部	外面磨滅、内面ナデ。外面橙色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	66
647	R63289	r6183	e2層	DV48	弥生土器	甕	底部	外面から内面に向けての焼成後穿孔。内外面磨滅。外面にぶい橙色、黄灰色。内面にぶい褐色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	66
648	R63243	r6180	e2層	DV47	弥生土器	甕	底部	平底。外面灰色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～中礫非常に多く含む。	66
649	R63214	r6176	e2層	DV46	弥生土器	壺	底部	外面ナデ､内面ケズリ。外面褐色､内面にぶい橙色。石英･長石の砂粒～細礫非常に多く含む。	66
650	R62726	r6141	e2層	DT46	弥生土器	甕	底部	内外面磨滅。外面明褐色、内面黒褐色。石英・長石の砂粒～細礫非常に多く含む。	66
651	R62593	r6132	e2層	DS48	弥生土器	甕	底部	全面磨滅。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	66
652	R63081	r6167	e2層	DU49	弥生土器	甕	底部	内外面ナデ。外面明赤褐色。内面にぶい赤褐色。石英・長石の砂粒～中礫、雲母多く含む。	66
653	R62238	r6106	e2層	DR47	弥生土器	甕	底部	外面縦ミガキ、内面指ナデ・オサエ。外面灰白色、内面にぶい黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒わずかに含む。	66
654	R62328	r6116	e2層	DR49	弥生土器	甕	底部	内外面磨滅、外面縦ミガキか。外面にぶい黄橙色、内面灰白色。石英・長石・雲母の砂粒まばらに含む。	66
655	R63319	r6185	e2層	DV49	弥生土器	甕	底部	内外面磨滅。外面灰黄色、内面浅黄橙色。石英・長石の砂粒～中礫やや多く、赤色粒まばらに含む。	66
656	R62329	r6116	e2層	DR49	弥生土器	甕	底部	内外面磨滅。外面にぶい赤褐色、内面灰褐色。微細な石英・長石・雲母やや多く含む。	66
657	R62392	r6121	e2層	DR50	弥生土器	甕	底部	外面縦ミガキ、内面磨滅。外面にぶい赤褐色、内面橙色。石英・長石の砂粒、微細な雲母まばらに含む。	66
658	R62134	r6093	e2層	DQ49	弥生土器	甕	底部	内外面磨滅。外面明赤褐色、内面褐灰色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫多く含む。	66
659	R62190	r6102	e2層	DR45	弥生土器	甕	底部	内外面磨滅。明褐色。石英・長石・雲母の砂粒と赤色粒まばらに含む。	66
660	R63599	r6216	e2層	DX50畔	弥生土器	甕	底部	内外面磨滅。外面ナデ、一部ハケ目。内面ナデ・オサエ。外面赤褐色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～中礫やや多く、雲母わずかに含む。	66
661	R63667	r6228	e2層	DY49畔	弥生土器	甕	底部	内外面粗いナデ。外底面螺旋状の底部起こし痕跡か。外面明赤褐色、内面黄灰色。石英・長石の砂粒～細礫非常に多く、雲母わずかに含む。	66
662	R62078	r6088	e2層	DQ48	弥生土器	甕	底部	内外面ナデ・オサエ。明赤褐色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫やや多く含む。	66
663	R62268	r6109	e2層	DR47	弥生土器	甕	下半部	ナデ・オサエ調整。明赤褐色、外底面および内底面は黒褐色。石英・長石・雲母の砂粒やや多く含む。	66
664	R62003	r6076	e2層	DQ45	弥生土器	甕	底部	外面オサエ、内面縦ナデ。灰白色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	67
665	R63559	r6209	e2層	DX48	弥生土器	甕	底部	上げ底状。外面ナデ、内面磨滅。外面にぶい黄褐色、内面黒褐色。石英・長石の砂粒～細礫を多く、チャート・サヌカイト？・赤色粒わずかに含む。	67
666	R63507	r6202	e2層	DW49	弥生土器	甕	底部	外面ナデ･オサエ､内面磨滅。外面にぶい褐色､内面赤褐色。石英･長石の砂粒やや多く含む。	67
667	R63225	r6177	e2層	DV46	弥生土器	甕	底部	上げ底状。内外面ナデ。明赤褐色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	67
668	R62922	r6152	e2層	DT49	弥生土器	甕	底部	上げ底状。内外面磨滅。外面灰黄褐色、内面黒色。石英・長石の砂粒多く含む。	67
669	R63261	r6181	e2層	DV47	弥生土器	甕	底部	上げ底状。外面磨滅、内面指ナデ、オサエ。外面明赤褐色、内面橙色。石英・長石の砂粒～細礫、雲母、赤色粒わずかに含む。	67
670	R62882	r6151	e2層	DT49	弥生土器	甕	底部	上げ底状。内外面磨滅､内面ナデ。外面橙色､内面浅黄色。石英･長石の砂粒～細礫多く含む。	67
671	R62050	r6087	e2層	DQ48	弥生土器	甕	底部	内外面ナデ。外面赤褐色､内面･外底面黒褐色。石英･長石･雲母の砂粒～細礫やや多く含む。	67
672	R63480	r6199	e2層	DW48	弥生土器	甕	底部	内外面磨滅。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～中礫多く含む。	67
673	R62342	r6117	e2層	DR49	弥生土器	甕	底部	内外面磨滅。外底面ナデ。内外面褐灰色。煤付着か。石英・長石の砂粒、微細な雲母やや多く含む。	67
674	R62632	r6133	e2層	DS48	弥生土器	甕	底部	全面磨滅。にぶい橙色。石英・長石の砂粒と赤色粒まばらに含む。	67
675	R62881	r6151	e2層	DT49	弥生土器	甕	底部	外面ナデ、内･外底面ナデ･オサエ。接地面は荒れている。外面にぶい褐色、内面明赤褐色。外面一部煤のため黒褐色。石英・長石の砂粒～細礫、赤色粒やや多く含む。	67
676	R63244	r6180	e2層	DV47	弥生土器	甕	底部	上げ底状。外面指オサエ･ナデ。内面磨滅、ナデか。外面にぶい黄橙色、内面黄褐色。石英･長石の砂粒～細礫やや多く、雲母わずかに含む。	67
677	R62031	r6085	e2層	DQ47	弥生土器	甕	底部	内外面ナデ･オサエ。外面にぶい黄橙色、内面にぶい橙色。石英･長石･雲母の砂粒～細礫、炭化物やや多く含む。	67
678	R62030	r6085	e2層	DQ47	弥生土器	甕	底部	内外面磨滅、ナデ・オサエ。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫、赤色粒やや多く、微細な角閃石ごくわずかに含む。	67
679	R63269	r6182	e2層	DV48	弥生土器	甕	底部	上げ底状。焼成後穿孔。内外面ナデ。外面明赤褐色、内面黒褐色。石英・長石の砂粒～中礫多く、雲母、赤色粒まばらに含む。	67
680	R62001	r6076	e2層	DQ45	弥生土器	甕	底部	外面ハケ目、内面棒状工具？による凹凸。外面橙色～にぶい橙色。内面･断面黒褐色。石英･長石・雲母の砂粒～細礫多く含む。	67
681	R63657	r6225	e2層	DY49	弥生土器	甕	底部	内外面指オサエ・ナデ。外面にぶい褐色、内面黒色。石英・長石の砂粒～細礫非常に多く、砂岩礫、赤色粒わずかに含む。	67
682	R62955	r6154	e2層	DT50	弥生土器	高坏	口縁部	口縁端部上面凹線１条。内外面磨滅、口縁部外面横ナデ。内外面赤色、断面黒色。石英・長石・花崗岩・砂岩の砂粒～細礫多く含む。	69
683	R63016	r6161	e2層	DU47	弥生土器	高坏	脚裾部	外面ヘラ状工具によるオサエ、内面ナデ・オサエ、脚裾部付近は横ナデ。外面にぶい橙色・明赤褐色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く、花崗岩の細礫・赤色粒わずかに含む。	69
684	R62280	r6110	e2層	DR47	弥生土器	高坏	坏部	凹線文？直下に反時計回りにめぐる爪形文。内外面磨滅。内面横ミガキか。外面にぶい黄橙色、内面黄褐色。石英・長石・雲母の砂粒含む。	69
685	R62633	r6133	e2層	DS48	弥生土器	高坏	坏部	口縁部外面５条の沈線文の直下に時計回りに連続爪形文。外面明赤褐色､内面暗褐色。石英･長石の砂粒～細礫多く、微細な角閃石と赤色粒わずかに含む。	69
686	R62566	r6130	e2層	DS47	弥生土器	高坏	坏部	口縁部外面凹線文。内外面磨滅。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	69

遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
687	R63600	r6216	e2層	DX50畔	弥生土器	高坏	坏部	口縁部外面凹線文。全面磨滅。外面橙色、内面明赤褐色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	69
688	R62051	r6087	e2層	DQ48	弥生土器	高坏	下半部	未貫通矢羽根透孔７方向・脚柱部８条ヘラ描沈線・脚裾部２条凹線。脚端部内面わずかに凹む。内外面磨滅、内面絞り痕残る。薄い円盤充填。内外面橙色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫、赤色粒やや多く含む。	69
689	R62533	r6129	e2層	DS47	弥生土器	高坏	坏部	円盤充填。外面磨滅、内面ミガキ。橙色。石英・長石の砂粒～細礫まばらに含む。	69
690	R62220	r6105	e2層	DR46	弥生土器	高坏	接合部	矢羽根透孔。貫通すると推定。内外面磨滅、内面絞り痕残る。円盤充填と推定。坏部内外面浅黄色、脚部橙色。石英・長石・雲母の砂粒やや多く含む。	69
691	R62962	r6155	e2層	DT50	弥生土器	高坏	接合部	未貫通の矢羽根透孔か。外面磨滅。脚部内面絞り痕、坏部内面ナデ。明赤褐色。石英・長石の砂粒多く、赤色粒わずかに含む。	69
692	R63445	r6195	e2層	DW47	弥生土器	高坏	脚柱部	未貫通矢羽根透孔。多条沈線。内外面磨滅、内面絞り痕。橙色。石英・長石の砂粒やや多く、赤色粒わずかに含む。	69
693	R62221	r6105	e2層	DR46	弥生土器	高坏	脚裾部	未貫通矢羽根透孔。脚裾部凹線文３条、脚端部１条。内外面磨滅、内面指オサエ後、脚裾部横ナデ。外面橙色、内面にぶい橙色。石英・長石・雲母の砂粒、赤色粒含む。	69
694	R62193	r6102	e2層	DR45	弥生土器	高坏	脚裾部	未貫通矢羽根透孔。脚裾部凹線文２条・脚端部１条。内外面磨滅、脚裾部内面横ナデ。外面明赤褐色、内面橙色。石英・長石・雲母の砂粒、赤色粒やや多く含む。	69
695	R62535	r6129	e2層	DS47	弥生土器	高坏	脚裾部	未貫通矢羽根透孔。裾部凹線文。内外面磨滅。橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	69
696	R63014	r6161	e2層	DU47	弥生土器	高坏	脚裾部	凹線文を裾部外面３条、裾端部１条。外面橙色、内面と外面の一部黒色。内外面磨滅、内面指頭圧痕残る。石英・長石・チャートの砂粒やや多く含む。	69
697	R62270	r6109	e2層	DR47	弥生土器	高坏	下半部	ヘラ描沈線８条の直下にヘラ描きの山形文。磨滅と剥落のため判別し難いが、脚裾部凹線文２条・脚端部１条か。外面灰黄褐色、内面にぶい橙色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫多く含む。	69
698	R63117	r6168	e2層	DU49	弥生土器	高坏	接合部	円盤充填。内外面縦ナデ。外面明褐色、内面明赤褐色。石英・長石の砂粒多く含む。	69
699	R62239	r6106	e2層	DR47	弥生土器	高坏	接合部	円盤充填。外面縦ナデ、内面横ケズリ。浅黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒やや多く含む。	69
700	R63084	r6167	e2層	DU49	弥生土器	高坏	接合部	外面磨滅、ハケ目残存。内面ナデ。外面明赤褐色、内面にぶい橙色。石英・長石の砂粒～細礫、赤色粒やや多く含む。	69
701	R62253	r6108	e2層	DR47	弥生土器	高坏	接合部	内外面磨滅。外面にぶい橙色、内面明褐灰色。石英・長石・雲母の砂粒、赤色粒やや多く含む。	69
702	R62655	r6135	e2層	DS49	弥生土器	高坏	接合部	外面ナデ・オサエ。にぶい橙色。石英・長石の砂粒、微細な雲母、赤色粒やや多く含む。	69
703	R62500	r6128	e2層	DS47	弥生土器	高坏	脚柱部	円形透。内外面磨滅。橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	69
704	R62254	r6108	e2層	DR47	弥生土器	高坏	接合部	内外面磨滅。坏部外面縦ミガキ。脚部外面左上がりハケ目調整。脚部内面絞り痕残る。４方向円形透。円盤充填。内外面褐灰色、断面にぶい橙色。微細な石英・長石・雲母やや多く含む。	69
705	R62347	r6117	e2層	DR49	弥生土器	高坏	脚柱部	エンタシス状。外面磨滅、内面ナデ。橙色。石英・長石・雲母の砂粒、赤色粒やや多く含む。	69
706	R63015	r6161	e2層	DU47	弥生土器	高坏	脚柱部	外面ナデか、内面横ケズリ後縦ナデ。絞り痕残る。鈍い黄橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒をやや多く含む。	69
707	R62348	r6117	e2層	DR49	弥生土器	高坏	脚柱部	裾部近く円形透。外面磨滅、ミガキか。内面ナデ。橙色。石英・長石・雲母の砂粒、赤色粒含む。	69
708	R63179	r6172	e2層	DU50	弥生土器	高坏	脚裾部	裾部円形透。内外面磨滅。橙色。石英・長石の砂粒多く、微細な角閃石、赤色粒わずかに含む。	69
709	R62012	r6079	e2層	DQ46	弥生土器	高坏	脚裾部	外面縦ハケ目、内面やや粗い横ハケ目。脚端部付近横ナデ。外面橙色～にぶい橙色。内面浅黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒、赤色粒少量含む。	69
710	R63552	r6208	e2層	DX47	弥生土器	鉢	口縁部	内外面ナデ。にぶい橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	70
711	R63135	r6169	e2層	DU49	弥生土器	鉢	口縁部	内外面磨滅、ナデか。浅黄橙色。石英・長石の砂粒、雲母やや多く含む。	70
712	R62219	r6105	e2層	DR46	弥生土器	鉢	口縁部	全面磨滅。内外面浅黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫少量含む。	70
713	R62803	r6145	e2層	DT48	弥生土器	鉢	上半部	外面磨滅、内面横ナデ。にぶい橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く、チャートの砂粒わずかに含む。	70
714	R62441	r6126	e2層	DS46	弥生土器	鉢	胴部	内外面磨滅。にぶい黄橙色。石英・長石・雲母の砂粒と赤色粒まばらに含む。	70
715	R62217	r6105	e2層	DR46	弥生土器	台付鉢	口縁部	外面に板状工具の小口を押捺した連続斜線文を施し、中ほどを横ナデ調整して、円形浮文貼付、口縁端部付近に沈線。内面ナデ・オサエ。橙色。石英・長石の砂粒～細礫やや多く含む。	70
716	R63181	r6172	e2層	DU50	弥生土器	台付鉢	口縁部	外面突帯・鋸歯文。内外面磨滅。にぶい黄橙色。石英・長石・角閃石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	70
717	R62888	r6151	e2層	DT49	弥生土器	台付鉢	脚台部	外面ヘラ状工具による多条沈線文帯の間に鋸歯文・小円孔。全面磨滅、内面ヘラ状工具による横ナデか。橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらの含む、きめの細かい胎土。	70
718	R62386	r6121	e2層	DR50	弥生土器	器台？	口縁部	大型品。内外面磨滅。口縁端面は擬凹線のち円形浮文貼付。浮文には小さい円形刺突規則的に施す。にぶい橙色。石英・長石・雲母の砂粒まばらに含むが、胎土は精良。	70
719	R63585	r6213	e2層	DX49	弥生土器	ジョッキ形	把手部	ナデ・オサエ調整。側面に指頭痕が明瞭。にぶい赤褐色、黒斑あり。石英・長石の砂粒、赤色粒やや多く含む。	70
720	R63323	r6185	e2層	DV49	弥生土器	ジョッキ形	把手部	全面磨滅。にぶい橙色。石英・長石の砂粒～細礫まばらに含む。	70
721	R63570	r6210	e2層	DX48	弥生土器	ジョッキ形	底部	全面磨滅、内外面ナデか。外面明赤褐色、内面黒褐色。石英・長石の砂粒～細礫多く、チャート、砂岩礫、赤色粒まばらに含む。	70
722	R62267	r6109	e2層	DR47	弥生土器	鉢	底部	外面磨滅、内面ナデ・オサエ。内外面橙色。石英・長石の砂粒～細礫を多く、微細な雲母・赤色粒わずかに含む。	70
723	R63320	r6185	e2層	DV49	弥生土器	鉢	底部	内外面磨滅、外面指オサエ。外面明赤褐色、内面にぶい橙色。石英・長石の砂粒やや多く、赤色粒わずかに含む。	70
724	R62010	r6079	e2層	DQ46	弥生土器	鉢	底部	内外面磨滅、外面底部付近指オサエ。内外面にぶい黄橙色、底部に有黒斑。石英・長石の砂粒含む。	70
725	R63405	r6188	e2層	DV50	弥生土器	鉢	底部	外面指オサエ、内面ナデ。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫やや多く含む。	70
726	R62393	r6121	e2層	DR50	弥生土器	鉢	底部	外面ナデ・オサエ、内面磨滅。外面橙色、内面黒褐色。石英・長石の砂粒～細礫やや多く含む。	70
727	R63051	r6164	e2層	DU48	弥生土器	鉢	底部	外面ナデ、内面磨滅。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒、雲母をやや多く含む。	70
728	R62538	r6129	e2層	DS47	弥生土器	支脚	脚部	二股に分かれる指部をもつと推定。脚部は中空。外面粗い目のタタキ、内面オサエ・ナデ。外面浅黄橙色、内面にぶい橙色。石英・長石の砂粒～細礫、赤色粒やや多く含む。６×12㎜大の礫も上部中実部分に含む。	71
729	R63054	r6164	e2層	DU48	弥生土器	支脚	脚部	二股に分かれる指部をもつと推定。脚部は中空。外面指ナデ・オサエ。内面絞り痕。外面にぶい橙色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～中礫、赤色粒まばらに含む。	71
730	R62271	r6109	e2層	DR47	弥生土器	支脚	摘部？	上端は両側を摘み出し、小さい鰭状。下端はやや平坦。内外面にぶい黄橙色、断面褐灰色。石英・長石・雲母の砂粒、赤色粒やや多く含む。	71
731	R63270	r6182	e2層	DV48	弥生土器	支脚	脚部	外面板ナデ・指オサエ。内外面にぶい黄褐色。石英・長石の砂粒～中礫、雲母多く含む。	71
732	R62052	r6087	e2層	DQ48	弥生土器	支脚	脚部	全面磨滅。外面指オサエのちナデ。内面ナデ、絞り痕残る。内外面橙色。石英・長石・雲母の砂粒、赤色粒やや多く含む。	71
733	R63510	r6202	e2層	DW49	弥生土器	支脚	脚部	ナデ・オサエ調整。にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	71
734	R62223	r6105	e2層	DR46	弥生土器	手捏小型鉢	完形	手捏ね成形。にぶい橙色。石英・長石・雲母の砂粒と赤色粒まばらに含む。	71
735	R62240	r6106	e2層	DR47	弥生土器	ミニチュア鉢	完形	底面～胴部下半に黒斑有り。橙色。石英・長石・雲母の砂粒～細礫、赤色粒やや多く含む。	71
736	R62537	r6129	e2層	DS47	弥生土器	ミニチュア甕	上半部	内外面ナデ・オサエ。外面橙色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒、赤色粒まばらに含む。	71

遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
737	R62180	r6102	e2層	DR45	縄文土器	深鉢	体部	隆帯上連続爪形文２帯。内面ナデ。外面黒褐色､内面灰黄褐色。石英･長石･雲母の細粒含む。	72
738	R63100	r6168	e2層	DU49	縄文土器	深鉢	体部	貼付突帯に連弧状文。内外面磨滅。内外面にぶい黄褐色。３㎜以下の石英・長石含む。	72
739	R62856	r6150	e2層	DT49	縄文土器	深鉢	底部	外面Ｒ縄文（幅６㎜）。内外面灰黄色。５㎜以下の石英・長石多く含む。	72
740	R62428	r6126	e2層	DS46	縄文土器	深鉢	口縁部	波状口縁。内外面巻貝条痕。内画面にぶい黄橙色。３㎜以下の石英・長石雲母含む。	72
741	R63707	r6240	e2層	南東部	縄文土器	深鉢	口縁部	波状口縁。内外面磨滅。外面にぶい黄橙色､内面浅黄色。３㎜以下の石英･長石やや多く含む。	72
742	R63469	r6199	e2層	DW48	縄文土器	深鉢	口縁部	外面沈線２条。内外面磨滅。内外面灰白色。３㎜以下の石英･長石･雲母･黒色粒を多く含む。	72
743	R62021	r6084	e2層	DQ47	縄文土器	深鉢	口縁部	磨消縄文（RL）による J 字文。内面ナデ。外面にぶい橙色、内面黒褐色。３㎜以下の石英･長石含む。	72
744	R62179	r6102	e2層	DR45	縄文土器	深鉢	上半部	波状口縁。口縁部外面縄文（RL）と太い沈線文帯、波頂部間口縁下に太い沈線文。内外面巻貝条痕。外面にぶい黄橙色、内面黒褐色。３㎜以下の石英・長石・雲母含む。	72
745	R63139	r6170	e2層	DU49	縄文土器	壺	口縁部	双耳壺の波状突起部。沈線間 RL 縄文。内面粘土紐痕跡明瞭。内外面灰黄褐色。３㎜以下の石英・長石含む。	72
746	R62786	r6145	e2層	DT48	縄文土器	深鉢	口縁部	口縁部外面肥厚、段部に刺突文。内外面磨滅。内外面にぶい黄褐色。２㎜以下の石英・長石やや多く含む。	72
747	R62263	r6109	e2層	DR47	縄文土器	深鉢	口縁部	沈線１条と刺突文。内外面磨滅。内外面にぶい黄褐色。３㎜以下の石英・長石含む。	72
748	R62429	r6126	e2層	DS46	縄文土器	深鉢	口縁部	口縁部外面肥厚。外面巻貝条痕、内面ナデ。内外面にぶい黄橙色。５㎜以下の石英・長石・雲母含む。	72
749	R62456	r6127	e2層	DS46	縄文土器	深鉢	口縁部	口縁部外面肥厚。外面巻貝条痕、内面磨滅。外面灰黄褐色、内面橙色。３㎜以下の石英・長石多く含む。	72
	R62457	r6127	e2層	DS46					
750	R63528	r6204	e2層	DW50	縄文土器	深鉢	口縁部	口縁端部刻み。内外面ナデ。内外面にぶい橙色。３㎜以下の石英・長石含む。	72
751	R62943	r6154	e2層	DT50	縄文土器	深鉢	口縁部	口縁端部刻み。内外面磨滅。内外面にぶい黄褐色。３㎜以下の石英・長石含む。	72
752	R62454	r6127	e2層	DS46	縄文土器	深鉢	口縁部	内面・口縁部黒色炭化物付着。外面巻貝条痕。外面にぶい褐色～灰褐色。３㎜以下の石英・長石含む。	72
753	R63452	r6196	e2層	DW47	縄文土器	深鉢	口縁部	内外面磨滅。外面浅黄色、内面オリーブ黒色。３㎜以下の石英・長石・雲母含む。	72
754	R62103	r6091	e2層	DQ49	縄文土器	深鉢	口縁部	内外面ナデ。内外面にぶい橙色。３㎜以下の石英・長石多く含む。	73
755	R63000	r6161	e2層	DU47	縄文土器	深鉢	口縁部	内外面磨滅。内外面黒褐色。３㎜以下の石英・長石含む。	73
756	R62204	r6105	e2層	DR46	縄文土器	深鉢	口縁部	内外面ナデ。外面にぶい橙色、内面にぶい黄橙色。３㎜以下の石英・長石多く含む。	73
757	R63613	r6217	e2層	DX50畔	縄文土器	深鉢	口縁部	内外面磨滅。外面にぶい黄橙色、内面黄灰色。３㎜以下の石英・長石含む。	73
758	R63343	r6186	e2層	DV49	縄文土器	深鉢	口縁部	内外面磨滅。内外面浅黄色。３㎜以下の石英・長石含む。	73
759	R62820	r6146	e2層	DT48	縄文土器	深鉢	口縁部	内外面磨滅。内外面黒褐色。３㎜以下の石英・長石やや多く含む。	73
760	R62380	r6121	e2層	DR50	縄文土器	深鉢	口縁部	内外面磨滅。内外面にぶい黄橙色。３㎜以下の石英・長石・雲母含む。	73
761	R62972	r6157	e2層	DU46	縄文土器	深鉢	体部	外面巻貝条痕、内面ナデ。内外面にぶい黄橙色。２㎜以下の石英・長石・雲母含む。	73
762	R63282	r6183	e2層	DV48	縄文土器	深鉢	体部	外面巻貝条痕、内面ナデ。内外面にぶい黄褐色。２㎜以下の石英・長石・雲母含む。	73
763	R62455	r6127	e2層	DS46	縄文土器	浅鉢	口縁部	外面ナデ、内面巻貝条痕。内外面にぶい黄褐色。３㎜以下の石英・長石・雲母含む。	73
764	R62013	r6080	e2層	DQ46	縄文土器	浅鉢	口縁部	口縁部段状に肥厚。内外面ナデ。外面にぶい黄褐色､内面黒褐色。３㎜以下の石英･長石含む。	73
765	R62129	r6093	e2層	DQ49	縄文土器	浅鉢	口縁部	外面条痕、内面ナデ。内外面にぶい橙色。３㎜以下の石英・長石含む。	73
766	R63451	r6196	e2層	DW47	縄文土器	浅鉢	口縁部	内外面ナデ。外面灰黄褐色～にぶい橙色、内面灰黄褐色～にぶい黄橙色。３㎜以下の石英・長石多く含む。	73
767	R63431	r6193	e2層	DW46	縄文土器	浅鉢	体部	外面無節縄文。内面ナデ。外面浅黄色､内面にぶい黄橙色。１㎜以下の石英･長石･雲母含む。	73
768	R63028	r6162	e2層	DU47	縄文土器	深鉢	体部	外面上半ナデ・下半ケズリ、内面ナデ。外面橙色～にぶい橙色、内面黒褐色。２㎜以下の石英・長石・雲母含む。	73
769	R62987	r6159	e2層	DU46	縄文土器	深鉢	体部	外面上半丁寧なナデ・下半ケズリ、内面ナデ。外面黒褐色・煤付着、内面暗灰黄色。１㎜以下の石英・長石・雲母含む。	73
770	R62006	r6079	e2層	DQ46	縄文土器	深鉢	体部	頸部４条の山形文。頸部外面･内面ナデ、体部外面ケズリ。内外面黄灰色。２㎜以下の石英･長石やや多く含む。	73
771	R63650	r6222	e2層	DY48	縄文土器	深鉢	体部	外面ヘラ描き山形文。内面磨滅。外面にぶい黄橙色、内面灰黄褐色。１㎜以下の石英･長石･雲母含む。	73
772	R62154	r6099	e2層	DQ50	縄文土器	深鉢	口縁部	口縁端部と直下の突帯に刻み。頸部３条の垂下ヘラ描き沈線と細いヘラ描き沈線による施文。内外面ナデ。内外面黒褐色、外面煤付着。３㎜以下の石英・長石・雲母含む。	73
773	R63172	r6172	e2層	DU50	縄文土器	浅鉢	口縁部	内外面横方向の擦過痕。内外面黄褐色。１㎜以下の石英・長石含む。	73
774	R62155	r6099	e2層	DQ50	縄文土器	深鉢	底部	内外面ナデ。内外面明赤褐色。１㎜以下の石英・長石含む。	73
775	R62047	r6087	e2層	DQ48	縄文土器	深鉢	底部	内外面磨滅。外面にぶい橙色。３㎜以下の石英・長石含む。	73
776	R63309	r6185	e2層	DV49	縄文土器	深鉢	底部	内外面磨滅。外面にぶい橙色、内面にぶい黄橙色。２㎜以下の石英・長石・雲母含む。	73
777	R62020	r6083	e2層	DQ46東畔	縄文土器	深鉢	底部	内面ナデ。内外面明褐色。２㎜以下の石英・長石やや多く含む。	73
778	R62582	r6132	e2層	DS48	縄文土器	深鉢	底部	外面磨滅、内面ナデ。外面にぶい黄褐色、内面黒褐色。３㎜以下の石英･長石やや多く含む。	73
779	R63219	r6177	e2層	DV46	縄文土器	深鉢	底部	高台底。内外面磨滅。内外面橙色。３㎜以下の石英・長石・雲母やや多く含む。	73
780	R62026	r6085	e2層	DQ47	縄文土器	深鉢	底部	内外面磨滅。外面灰黄色、内面にぶい黄橙色。３㎜以下の石英・長石多く含む。	73
781	R63494	r6200	e2層	DW48	土製品	土錘	半切	管状土錘。半分欠損。全面磨滅。浅黄橙色、部分的に橙色。微細な石英・長石、赤色粒まばらに含む。	71
782	R62395	r6121	e2層	DR50	土製品	円盤状	全形	円盤状。やや凸型。磨滅著しく、浅黄橙色。凹面側の一部に明褐色の赤彩？残存。石英・長石の砂粒～細礫多く含む。	71
783	R62805	r6145	e2層	DT48	土製品	円盤状	全形	円盤状。やや凸型。磨滅著しく、浅黄色。石英・長石の砂粒やや多く含む。	71
784	R63634	r6217	e2層	DX50畔	石器	刃器		サヌカイト製。重量32.8g。平面形は三角形。掻器または削器と推定される。	76
	R63663	r6225	e2層	DY49					
785	R63426	r6191	e2層	DW46	石器	刃器？		サヌカイト製。重量17.6g。	76
786	R62781	r6144	e2層	DT48	石器	刃器？		サヌカイト。重量10.4g。片側に調整剥離。刃部整形か？	76
787	R63308	r6184	e2層	DV49	石器	剥片		サヌカイト。重量5.1g。	76
788	R62479	r6127	e2層	DS46	石器	剥片		サヌカイト。重量8.7g。	76
789	R63450	r6195	e2層	DW47	石器	剥片		サヌカイト。重量6.8g。	76
790	R63342	r6185	e2層	DV49	石器	剥片		防府産？安山岩。重量32.7g。	76
791	R62153	r6098	e2層	DQ50	石器	剥片		赤色頁岩。重量4.2g。細かい調整剥離を加えており、石鏃の未製品の可能性あり。	76
792	R63037	r6162	e2層	DU47	石器	石核		白濁色の玉随。重量21.4g。打撃は上方から行う面と下方から行う面がある。	76
793	R62004	r6076	e2層	DQ45	石器	石庖丁		結晶片岩製。破損後、縁辺部を再研磨。再利用の後、半分が欠損したと推定される。現重量18.2ｇ。	76
794	R62115	r6091	e2層	DQ49	石器	素材		結晶片岩。重量31.8g。	76
795	R62065	r6087	e2層	DQ48	石器	素材		結晶片岩。重量17.3g。	76
796	R63671	r6228	e2層	DY49畔	石器	磨石		砂岩製。楕円形、一部欠損。現重量66.2ｇ。先端にわずかに敲打痕が認められる。	76
797	R62199	r6102	e2層	DR45	石器	磨石		防府産安山岩製か？棒状で上部欠損。現重量59.5g。敲打痕は認められない。	76

遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
798	R63685	r6230	e2層	DY50畔	石器	磨石		砂岩製。楕円形、半分欠損。現重量15.4g。平らな面に磨痕。	76
799	R62998	r6159	e2層	DU46	石器	敲石		砂岩製。大部分が欠損。現重量132.9g。	76
800	R62478	r6127	e2層	DS46	石器	砥石		火山岩製。手持ちの砥石。重量184.7g。４面とも使用。研磨痕残る。	76
801	R62325	r6114	e2層	DR48	石器	砥石		防府産？安山岩製。大部分が欠損。現重量27.4g。磨痕は観察できないが、平滑な作業面あり。	76
802	R62565	r6129	e2層	DS47	石器	砥石		砂岩製。現重量1975g。長辺は砥面に使用。短辺にはわずかに敲打痕が認められるが、集中的な使用痕はない。	76
803	R62231	r6105	e2層	DR46	石器	台石		砂岩製。大部分が欠損。現重量344.6g。敲打痕がわずかに認められる。	76
804	R62363	r6117	e2層	DR49	石器	台石		砂岩製。大部分が欠損。現重量151.5g。敲打痕が集中する箇所がある。	76
805	R62019	r6082	e2層	DQ46畔	石器	台石		砂岩製。大部分が欠損。現重量104.3g。敲打痕がわずかに認められる。	76
806	R62128	r6092	e2層	DQ49	石器	台石		砂岩製。大部分が欠損。現重量125.6g。敲打痕が集中する箇所がある。	76
807	R63527	r6203	e2層	DW50畔	石器	台石		閃緑岩製。大部分が欠損。現重量449g。敲打後磨り痕。	76
808	R63131	r6168	e2層	DU49	鉄器	不明		現重量36.1g。断面方形で厚みがあり、端部へ向かってすぼまっていくが、片方の端部は扁平になると推定。	77
809	R63138	r6169	e2層	DU49	鉄器	鉄鏃		現重量4.1g。刃部が一部欠損。平根式で頸部を持つと推定され、鏃身関の形状は不明であるが三角形式と推定。	77
810	R63544	r6204	e2層	DW50	鉄器	鉄滓		現重量9.5g。ほとんど鉄分はない。	77

表13　SR-301-④層出土遺物観察表

図127　SR-301-④層出土遺物									
遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
1	R64002	r6245	e3層	DX46	土師器	皿	底部	内外面回転ナデ。外底面ヘラ切り離し痕。外面浅黄橙色、一部橙色。内面にぶい黄褐色、一部黒色（煤付着）。胎土精良。	78
2	R64012	r6250	e3層	DY47	須恵器	長頸壺	肩部	内外面回転ナデ。外面褐灰色（一部自然釉）、内面灰色。石英・長石の砂粒まばらに含む。	78
3	R64003	r6246	e3層	DY45	弥生土器	甕	口縁部	内外面横ナデ。外面黒色、内面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒多く含む。	78
4	R64007	r6247	e3層	DY46	弥生土器	高坏	口縁部	口縁部外面凹線文。内外面横ナデ。内外面橙色、断面浅黄橙色（黒化層）。石英・長石の砂粒多く含む。	78
5	R64004	r6246	e3層	DY45	弥生土器	高坏	脚部	破片上半に凹線文３条。内外面ナデ。にぶい橙色。石英・長石多く、赤色粒まばらに含む。	78
6	R64008	r6248	e3層	DY46	縄文土器	深鉢	口縁部	外面、口縁端部やや下に凹線状の凹み。内外面ナデ。内外面にぶい橙色、断面暗灰黄色（黒化層）。石英・長石の砂粒～細礫多く、赤色粒わずかに含む。	78
7	R64009	r6248	e3層	DY46	縄文土器	鉢	口縁部	口縁部外面～内面横ナデ。胴部外面ミガキ。外面黒色、内面黒褐色。石英・長石の砂粒多く含む。	78
8	R64010	r6250	e3層	DY47	縄文土器	深鉢	胴部	傾き・天地任意。外面磨消縄文、内面ナデ。灰黄褐色。石英・長石の砂粒と雲母多く含む。	78
9	R64006	r6247	e3層	DY46	縄文土器	深鉢	胴部	傾き・天地任意。外面不定方向ナデ（草本類の束？）、内面ナデ。石英、長石の砂粒～細礫多く、雲母わずかに含む。	78

６～９は縄文土器。６・７は深鉢の内湾する口縁部で、６の口縁端部は面をなし、外面には横方向の太い沈線１条がみられる。７の口縁部は先細りになり、端部を丸く収める。外面にはミガキを施す。８・９は胴部片で、８には磨消縄文が認められる。後期。

(3)　小結

SR-301各層出土遺物について、以下のようにまとめることができる。

SR-301-①層からは、黒色土器椀が一定量出土し、高台端部を丸く収めるものがみられる（図61－41～44）。そして、回転糸切り痕を残す土師器坏底部はみられないことから、12世紀以前に遡り、およそ11世紀中頃から後半までにSR-301-①層は堆積したと考えられる。

SR-301-②層では、高台をもつ土師器椀はみられず、SR-301-①層に比べて、古墳時代以前の遺物が増える。黒色土器が数点存在するが、口縁端部が外反する椀や、高台をもたない平底の坏底部、「く」の字状に短く開き端部を尖り気味に収める口縁部の甕は、いずれも９世紀後半に遡る可能性が高い（図70－15～17）。なお、調査区北東部でⅡ-２-⑥層に紛れこんだ可能性のある遺物にも、この時期以降のものはみられない。

SR-301-③層出土遺物は縄文～古代に及び、弥生土器と古代の土器が多い。また古代でも、赤彩土師器など、８世紀代の土師器・須恵器が多く、黒色土器はみられない。８世紀後半から９世紀前半の幅を想定しておきたい。

以上から、SR-301は８世紀から９世紀前半頃まで、砂礫層・砂層の堆積を促した洪水性の流水を伴う自然流路であったのが、９世紀後半頃に流水が停止し、10・11世紀の間は、シルト層の堆積が進行する窪地状態であり、これが以後の開田の条件となったと推測できる。

11　その他の出土遺物

これまで報告してきた以外に、Ⅰ層あるいは攪乱層として、重機掘削段階に採集した遺物や、塹壕などの手作業による掘り下げ時に出土した遺物がある。またに、SR-301-②層あるいは③層の掘り下げ時には、少なからぬ出土遺物が見過ごされ、廃土から改めて採集した遺物も少なくない。これらには、縄文土器から近現代の遺物があり、中世陶磁器や鉄器、さらには旧練兵場関係遺物を中心に、特徴的な遺物を報告する。

提示した遺物は38点（図128・129）。２・４が調査区南壁（畔）掘り下げ時にｅ層（SR-301-②～④層）出土として取り上げた遺物で、５・７～９が廃土から採集し直した遺物で、SR-301-②～④層出土の可能性が高い。他は、Ⅰ層あるいは攪乱層出土として取り上げたものである。

１は、左上に先細りの突出部を端部に貼り付け、端面に不規則な連続爪形文を施す。縄文土器深鉢とみられるが、土製品の可能性もある。

２～６は弥生土器。２は壺の口縁部で端部をやや肥厚させ、右上がりの刻み目を施した後、中央に太い沈線を１条施す。前期末葉。３は、端部が水平で自重によるつぶれが認められ、脚台部の可能性もあるが、傾きと屈曲方向から短頸直口の壺口縁部とした。４は甕口縁部で、端部外面はやや丸みをもち、水平方向にのびる。中期中葉から後葉。５は縄文土器とも考えたが、焼き上がりや調整から弥生土器と判断した。外面に微隆起突帯を平行して３条以上貼り付け、かすかながら刻みを施す。西南四国型甕の胴部である可能性が高い。６は焼成前穿孔の甕底部。

７は土師器小型鉢の上半部。丸みのある体部に短い口縁部がつく。

８～10は須恵器。８は扁平な擬宝珠状の蓋つまみ部。９は高台付坏。焼成は瓦質に近い。10は小さいが外に踏ん張る断面方形状の貼付高台を有する埦底部。器壁が薄く丁寧な作り。

11は須恵質陶器で、貼付高台をもつ碗底部。高台の貼り付けや仕上げは粗い。

12は瓦器碗。やや大型である。

13～16は磁器。13・14は青磁。13は屈曲する口縁部の青磁皿。釉調は薄緑色で、体部下半露胎。14は削り出し高台の底部。内外面ににぶい緑色釉を厚く施すが、高台内側は露胎。15は削り出し高台の白磁碗底部で、釉調はわずかに緑がかる。16は青白磁小壺の体部とみられ、外面は浮き彫りの文様が施されている。内面は露胎のまま。

17は備前焼擂鉢の口縁部。拡張した口縁端部に２条の沈線をもち、内面に鋭利な工具で11本１単位の擂り目を刻む。

18は小振りの軒丸瓦の破片。巴文と推定されるが、珠文は認められない。

19は刻印をもつ土管片。刻印上段は、斜めの井桁の中に上の字を入れた記号を「衣山」の字で挟み、下段には「細工人元吉作」とある。松山市衣山周辺では、現在も窯業関係商店があり、そこでの聞き取り調査から、釉薬を掛けていない素焼きの土管は大正以前のものであることと、連隊の置かれた松山城三ノ丸の土を持ち込んで練兵場を造成した際に紛れ込んだものではいかとの教示をいただいた。

20は砂岩製の台石。集中的な敲打は認められないが、散発的な敲打の後、磨面として使用したとみられ、側面は砥面として３箇所を使用している。

21は用途不明の石製品、蝋石製か。研磨によって整形された直方体で、一部面取りも行われている。その中の１面に「上」の字が刻まれ、その左側面に未貫通の穿孔が認められる。

22～29は鉄器。22は上下を破損するが、残存部中ほどで屈曲する。断面扁平。23は直角近くに曲がる断面方形の鉄器。24～29は断面方形の鉄釘。24～27には、折り曲げによる頭部が残る。28には横方向の木目をもつ木質が付着している。30は鉄滓。28.6ｇを測る。

31・32は青銅製品。31はボタンで、表面に文様等は認められない。32は銃弾薬莢。33は径14㎜弱の鉛製の球体で、孔は認められない。現重量14ｇ。34は柄部分を欠損する匙。真鍮製か。35は青色のガラス瓶。口縁部が不均等で、吹きガラスであることがよくわかる。

31・32・34・35は、19の土管片とともに、練兵場時代の遺物とみられる。

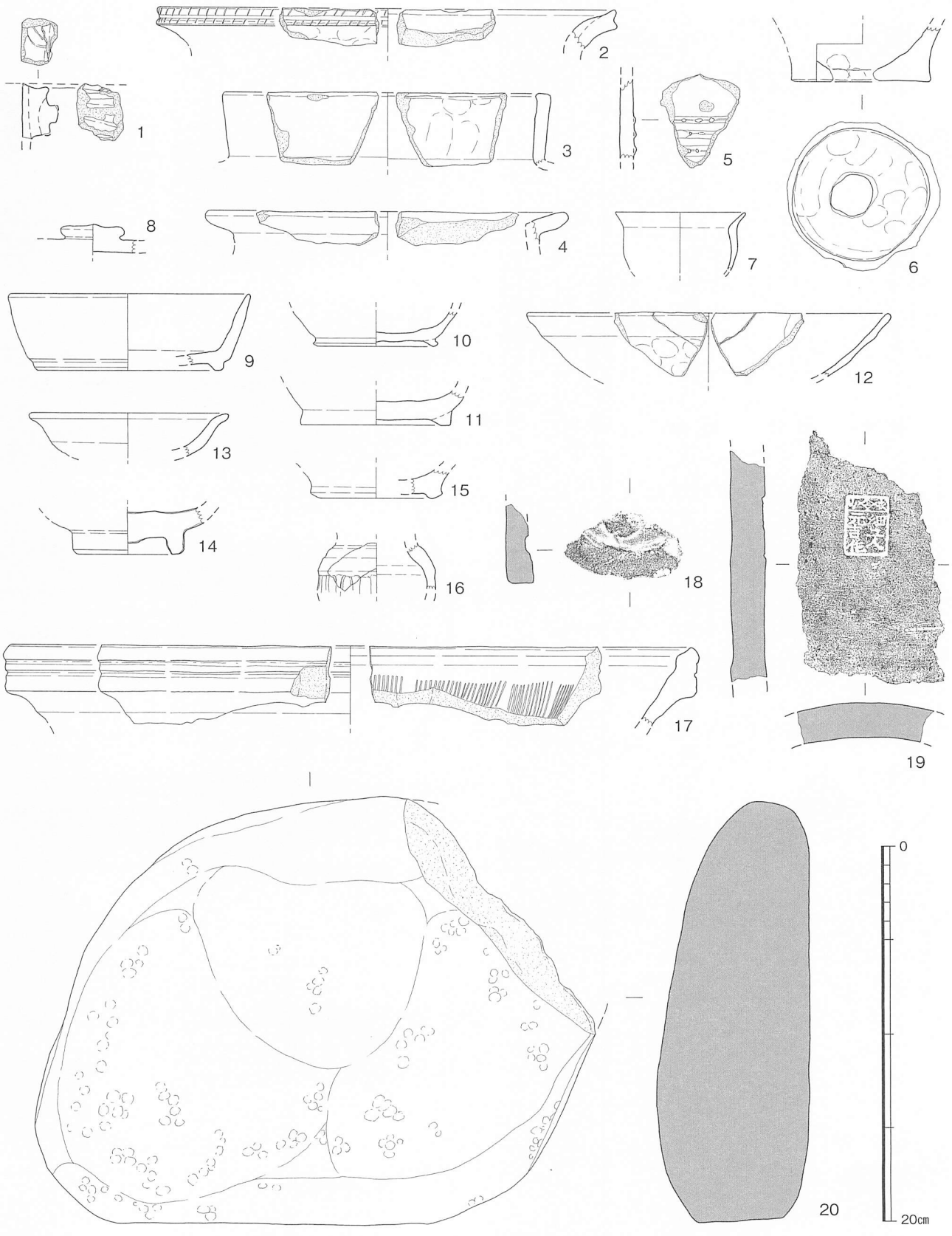

図 128　その他の出土遺物（1）（縮尺 1/3）

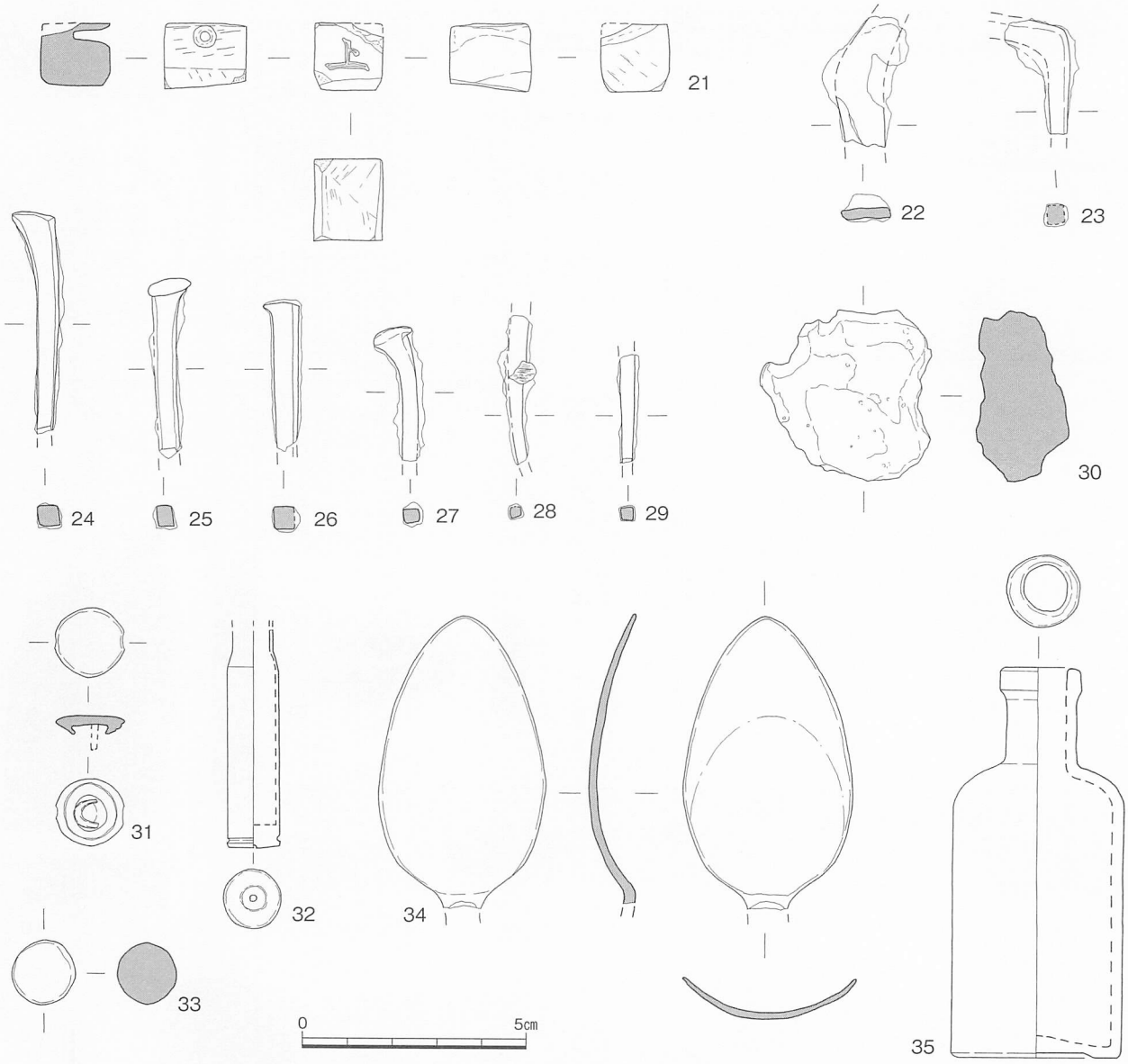

図129　その他の出土遺物（2）（縮尺2/3）

表14　その他の出土遺物観察表

図128・129　その他の出土遺物

遺物番号			出土位置		遺物内容			文様・調整・色調・胎土などの特徴	収納番号
挿図	実測	取上	層位	遺構・地区	種別	器種	部位		
1	R11058	r1076	Ⅰ層	南西部	縄文土器？	不明	口縁部	左上に先細りの突出部を端部に貼り付け、上下端横方向のナデ。端面不規則な連続爪形文。にぶい橙色。石英・長石の砂粒～細礫、雲母非常に多く含み、混和材均一でなく、繊維痕あり。土製品の可能性あり。	79
2	R65002	r6003	e層	DT45畔	弥生土器	甕	口縁部	口縁端部連続刻目のち沈線。外面ナデ・オサエ、内面横ナデ。橙色。石英・長石の砂粒多く含む。	79
3	R11044	r1064	Ⅰ層	北西部	弥生土器	壺	口縁部	直線的に上方にのびる口縁。端部は水平。外面磨滅、内面ナデ。内外面灰黄色、断面は黒化層が残る。石英・長石の砂粒多く、微細な雲母・赤色粒わずかに含む。	79
4	R65004	r6004	e層	DU45畔	弥生土器	甕	口縁部	内外面横ナデ。内外面にぶい黄橙色。石英・長石の砂粒～細礫、微細な赤色粒多く含む。	79
5	R65041	r6278	推定e層	不明	弥生土器	甕？	体部	外面貼付突帯３条。内外面ナデ。外面にぶい黄橙色、内面浅黄橙色。石英・長石の砂粒～中礫非常に多く含む。	79
6	R11037	r1056	撹乱	西端	弥生土器	甕	底部	焼成前穿孔。外面ナデ、内面磨滅。外面にぶい黄橙色、内面にぶい黄褐色。石英・長石の砂粒～細礫多く、雲母わずかに含む。	79
7	R65044	r6278	推定e層	不明	土師器	壺？	口縁部	全面磨滅。外面にぶい黄橙色、内面にぶい橙色。微細な石英・長石・赤色頁岩粒わずかに含む。	79
8	R65037	r6269	推定e層	不明	須恵器	蓋	つまみ	内外面磨滅、横ナデか。灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	79
9	R65042	r6278	推定e層	不明	須恵器	坏	底部	全面磨滅。焼成は軟質で瓦質に近い。外面灰色、内面灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	79
10	R11068	r1083	Ⅰ層	東部	須恵器	埦	底部	高台内面に重ね焼きの痕跡。外面磨滅、内面不定方向ナデ。内外面灰白色、高台外面一部にオリーブ灰色の自然釉残存。胎土は精良で、微細な石英・長石、炭化物わずかに含む。	79
11	R11024	r1043	撹乱	南西部	須恵質陶器	碗	底部	内外面回転ナデ。灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	79
12	R11065	r1081	Ⅰ層	北西部	青磁	皿	口縁部	内外面にぶくてやや暗い緑色釉を施す。外面下半は露胎。磁胎は灰白色で、やや粗めだが空隙はない。	79
13	R11062	r1079	Ⅰ層	北西部	瓦器	碗	口縁部	口縁部横ナデ、内面磨滅、外面オサエ。内外面灰色。瓦質精良。	79
14	R11004	r1012	撹乱	南東部	青磁	碗	底部	削り出し高台。底面の縁辺部のみ釉を掻き取る。見込みには浅い沈線。内外面に暗い緑色釉、磁胎にぶい黄橙色。微細な黒色粒・白色粒わずかに含む。緻密だが、５㎜大の空隙あり。	79
15	R11051	r1067	Ⅰ層	中央部	白磁	碗	底部	内面に灰白色の釉を施す。外面露胎。磁胎は灰白色で、微細な空隙や黒色粒の混じりあり。	79
16	R11025	r1043	撹乱	南西部	青白磁	小壺	体部	外面に蓮弁文か？薄く緑がかった白色釉、内面露胎。微細な黒色粒・白色粒まばらに含む。１㎜以下の空隙がわずかにあるが、磁胎は緻密。	79
17	R11056	r1074	Ⅰ層	中央北部	備前焼	すり鉢	口縁部	口縁部肥厚、外面に２条の沈線。内外面横ナデ。体部内面に11本１組の擂り目。灰色。微細な石英・長石わずかに含む。	79
18	R11069	r1083	Ⅰ層	東部	瓦	丸瓦	瓦当	巴文か。内外面ナデ。内外面暗灰色、断面灰白色。微細な石英・長石まばらに含む。	79
19	R11012	r1026	撹乱	北東部	陶器	土管		内外面横ナデ。橙色。石英・長石の砂粒～細礫を多く含む。2.4×3.3cmの刻印あり。線で区切られた上方には「井上」のマークと「衣山」の文字、下方には「細工人元吉作」。	79
20	R11043	r1063	Ⅰ層	北東部	石器	台石		砂岩製。一部破損。	80
21	R11026	r1043	撹乱	南西部	石製品	不明		滑石製か。研磨によって整形された四面体。１面に「上」の文字が刻まれており、その左側面には未貫通の穿孔。	79
22	R11073	r1088	Ⅰ層	南部	鉄器	不明		断面扁平。残存部中ほどで屈曲。現重量4.2g。	81
23	R11027	r1043	撹乱	南西部	鉄器	釘？	？	上下破損。断面方形。直角に近い角度に屈曲している。現重量2.7g。	81
24	R11071	r1086	Ⅰ層	西部	鉄器	釘	上半部	先端部欠損。断面方形。現重量4.5g。	81
25	R11046	r1064	Ⅰ層	北西部	鉄器	釘	上半部	先端部欠損。断面方形。現重量3.4g。赤色塗料付着か。	81
26	R11067	r1082	Ⅰ層	北西部	鉄器	釘	上半部	先端部欠損。断面方形。現重量3.0g。	81
27	R11059	r1076	Ⅰ層	南西部	鉄器	釘	上半部	先端部欠損。やや曲がっている。断面方形。現重量2.2g。	81
28	R11039	r1056	撹乱	西端	鉄器	釘	下半部	上下破損。断面形ははっきりしない。横方向の木目のある木質付着。現重量１.4g。	81
29	R11006	r1013	撹乱	南東部	鉄器	釘	下半部	上下破損。断面方形。現重量1.2g。	81
30	R11070	r1083	Ⅰ層	東部	鉄器	鉄滓		重量28.6g。	81
31	R11009	r1016	撹乱	北東部	青銅	ボタン	全形	径１.５ｇ。重量1.5g。	81
32	R11020	r1034	撹乱	南西部	青銅	薬莢	全形	上端破損。上方一部つぶれ。現重量8.2g。	81
33	R11049	r1066	Ⅰ層	中央部	鉛	鉛玉	全形	重量14.0g。	81
34	R11029	r1044	撹乱	北西部	真鍮？	匙	匙部	柄部分は破損。現重量5.7g。	81
35	R11028	r1044	撹乱	北西部	ガラス	瓶	全形	吹きガラス。青色。重量47.4g。	81

Ⅲ　調査のまとめ

25次調査では、隣接する18次調査と同じく水田遺構が出土し、下部の自然流路からは大量の遺物が出土した。そこで、まとめとして、水田遺構の変遷を18次調査成果とあわせて提示する。ただし、遺構の時期については、25次調査知見を加えることにより、若干の修整を行う必要が生じている。

また、自然流路出土の、縄文時代から古代に及ぶ大量の遺物からは、自然流路埋没の時期だけでなく、上流域を中心とした周辺の遺跡動向を窺うことができ、周辺既往調査成果との対応を確認する。とりわけ、特徴的な古代前半の遺物については、道後城北遺跡群における遺跡動向の中で、現時点での位置づけを行う。

1　遺構の変遷

まず、18次調査出土遺構と25次調査出土遺構の対応関係の確認から始める。

自然流路は、平面的にも土層の対応からも、18次調査SR-400と25次調査SR-301が一連の流路である。河道内の中洲堆積である18次調査SR-400-③層と25次調査SR-301-③層、中洲堆積を覆う砂層を主体とした18次調査SR-400-②層と25次調査SR-301-②層、そして恒常的な流水が停止した後のシルト質土である18次調査SR-400-①層と25次調査SR-301-①層が、それぞれ対応する。25次調査SR-301-①層は、SR-301が深い調査区南部では安定してみられたが、SR-301-②・③層が盛り上がる調査区北部では、Ⅱ-2-⑥層と区別し難く、存在しない場所もあった。それもあり、調査区北壁・東壁の土層記録では、SR-301-①層とⅡ-2-⑥層を一括表記している。ただし、実際に面的に掘り下げを行った際には、調査区西部を中心に、攪拌を受けたと判断した上部10cm前後をⅡ-2-⑥層として、SR-301-①層と区別した。

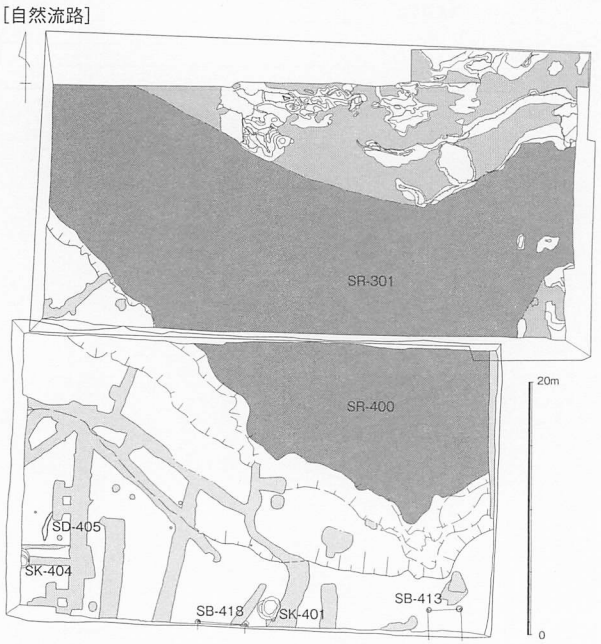

図130　18次調査・25次調査区の遺構の変遷（1）
（縮尺1/600）

自然流路埋没後に水田が開かれるが、水田面と覆土である砂礫層を確実に追えたのは、中層水田である。水田面を覆うⅡ-2-③層は、壁面土層で上部Ⅱ-2-②層と一括しているが、平面的広がりは安定し、水田畦畔検出前と検出後の上下の区分を明確にして掘り下げた。その下で出土した中層水田は、一部畦畔に不連続があるものの、18次調査中層水田と平面でも土層でも連続し、両調査区全面への広がりを確認できる。

ところが、中層水田下の下層水田と中－下層水田間では、25次調査と18次調査の出土遺構が明確に対応すると確定できない状況がある。25次調査では、18次調査下層水田と連続する水田面を南から追跡し、調査区全域において下層水田が広がるとした。しかし、旧流路SR-301が深い調査区南部については、18次調査下層水田面を連続して追えたものの、SR-301-②・③層が盛り上がる調査区北部では疑問が残る。それは、下層水田面を覆うⅡ-2-⑤層が安定せず、Ⅱ-2-⑥層も広がらない範囲が存在するからである。調査時には、しまりのある下部砂質土の盛り上がりを畦畔とみなし水田としたが、報告でSX-207・209・210と改めた範囲である。Ⅱ-2-⑥層が安定せず砂質が強い状

況は、写真にも表れている（巻頭図版２）。さらに、18次調査SD-307から北流する25次調査SD-211は25次調査区中央部で最低となり、北端はむしろ底面が浅くなる（図56）。以上から、25次調査下層水田の北部については、18次調査下層水田と一連の水田とするのに疑問を残す範囲を含む。なお、その範囲のⅡ-２-⑤・⑥層取り上げ遺物には、SR-301-②層出土遺物が紛れ込んでいる可能性がある。

一方、18・25次調査とも中－下層水田間では、中層水田耕作による削平で残った遺構として、水路の一部が出土している。いずれも下層水田の並びに平行し、18次調査SD-208・209には切り合い関係がある。これらに対応する、中－下層水田間に存在した水田面の一部、あるいはそれを反映した遺構が、25次調査北部の下層水田に含まれる可能性が考えられる。

以上から、25次調査において下層水田と中－下層水田間で確認した遺構は、18次調査下層水田と中－下層水田間の遺構と、自然流路埋没後中層水田以前という

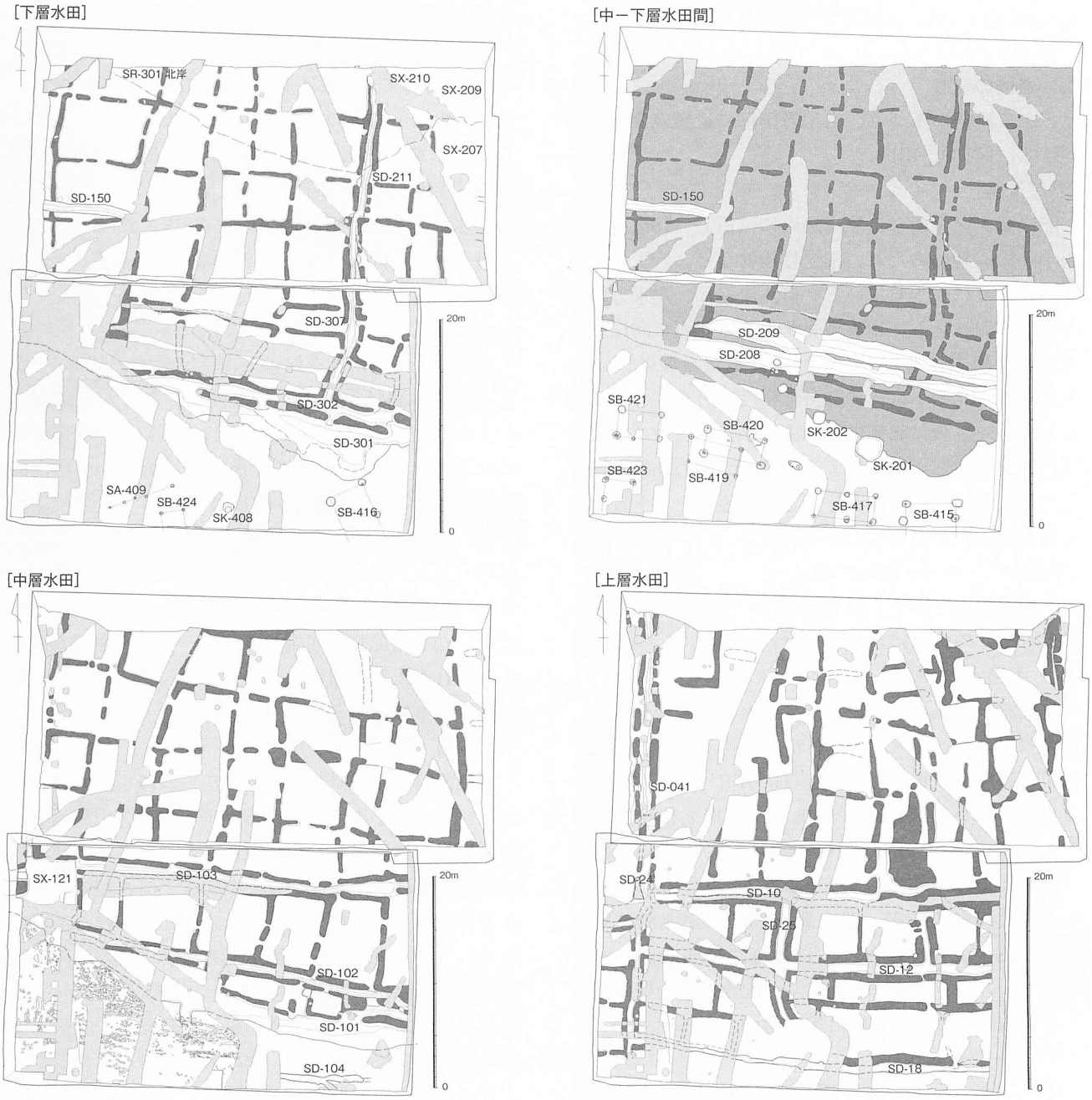

図131　18次調査・25次調査区の遺構の変遷(2)（縮尺1/600）

時間幅は共有するものの、明確な対応関係は確定できないとしなければならない。

一方、中層水田上の上層水田は、土層断面が連続して両調査区全面に広がるが、検出畦畔に不連続が多く、25次調査区の南部と東辺において、18次調査側より水田検出標高の高い範囲がある（図26）。25次調査では、Ⅱ-1層による攪乱判別が難しく、Ⅱ-2-①層の残存厚が一定でなく安定せず、Ⅱ-1層あるいはⅡ-2-①層を残したまま、上層水田検出に及んだとみられる。そのため、Ⅱ-2-②層取り上げ遺物に、Ⅱ-1層・Ⅱ-2-①層出土遺物が含まれている。

(1) 遺構の変遷

以上の確認に基づき、出土層序毎に遺構の変遷を整理する（図130・131）。

[自然流路]

25次調査区全面が自然流路内に位置し、18次調査区南半が微高地にあたり、掘立柱建物など、若干の遺構が微高地上に出土している。自然流路は、北東方向から南西に流れ込み、18次調査北東部で北西方向に転じる。最深部未掘ながら、南側微高地から深さ1.5m以上を測る。北側へは、約50mで一度Ⅳ層が高まり北岸をなすが、さらに北側に深い流路が控え、より幅広の流路帯を呈する。流水による砂礫・砂層の堆積が進行した後、恒常的な流水が停止した窪地にシルト質土の堆積が進み、開田条件が整う。

[下層水田～中－下層水田間]

下層水田から中－下層水田については、可能な範囲でそれぞれの状況に言及しておく。

ⅰ） 下層水田

自然流路が埋没した窪地に下層水田が開かれるが、北東側にはSR-301-②・③層の高まりが残って開田されず、25次調査北部には、さらに水田外の範囲が広がる可能性がある。南側微高地上には掘立柱建物が存在し、水田域への落ち際に幹線水路である18次調査SD-301と支線水路18次調査SD-302が平行して設けられ、18次調査SD-307・25次調査SD-211が北側に分岐する。18次調査SD-301は、自然流路の屈曲部を幅広の水溜状とし、旧地形を利用した配水施設の構築が窺え、水田面も真北より旧自然流路の方向に傾く。

ⅱ） 中－下層水田間

中－下層水田間では、微高地の落ち際に位置し基幹水路にあたる18次調査SD-208・209と、25次調査SD-150が、約10mの間隔でほぼ平行して出土している。そして、25次調査北部で下層水田とした一部に、本来この層序に対応するものが含まれる可能性を指摘した。すると、少なくともこの段階からは、25次調査区全面に水田が展開し、出土した水路がいずれも下層水田にほぼ平行することから、想定される水田配列は下層水田と大きく異なるものでなかったと推測できる。その中で、18次調査SD-208・209は切り合い関係があり、微高地上には掘立柱建物群が展開する。

[中層水田]

開田域が若干南に広がり、水田面は真北から若干傾いて並ぶ。一方、微高地上には、犂による耕作痕跡と小溝群、そして水路の不在から、畠の存在が指摘され、低位の水田・高位の畠という景観が復元できる。水田の基幹水路は18次調査SD-101で、間隔を開けて18次調査SD-102・103が併設される。そして、これらの西側に水溜遺構SX-121を設ける。25次調査区では水路が出土せず、低位の水田間では隣接する水田との水口を通した配水となる。

[上層水田]

18次調査区の南端を除いて、ほぼ全域が水田域となる。幹線水路は南側のより高位に存在したと推測されるが、支線水路の18次調査SD-10・12がほぼ東西方向に走り、これらと連なる南北方向の溝が、18次調査SD-24から25次調査SD-041へと連続する。25次調査では、整然とした水田配列を認識できなかったが、SD-041とともに、南北方向の畦畔が真北方向にほぼ一致し、18次調査区から25次調査区の全域に、真北方位に沿った水田配列が想定できる。一方で、中層水田までみられた水溜状遺構は認められず、より安定した配水体系の整備が窺える。

[まとめ]

自然流路埋没以降、水田の開田・埋没を繰り返しながら、水田域が南へと広がる。下層水田・中層水田では、旧自然流路の微地形に規制された、あるいは利用した水田配列・配水であったのが、上層水田では、真北方位に沿って縦横に直線的な水路が配されるようになる。また、南北の水田面標高差は、下層水田の20cm前後、中層水田の30cm前後から、上層水田で50cm前後に増大し、より高位への水田拡張が窺える。北側低位部の25次調査においても、18次調査で指摘されていた上層水田開田の画期を、平面的に、そして垂直方向に確認できたことになる。

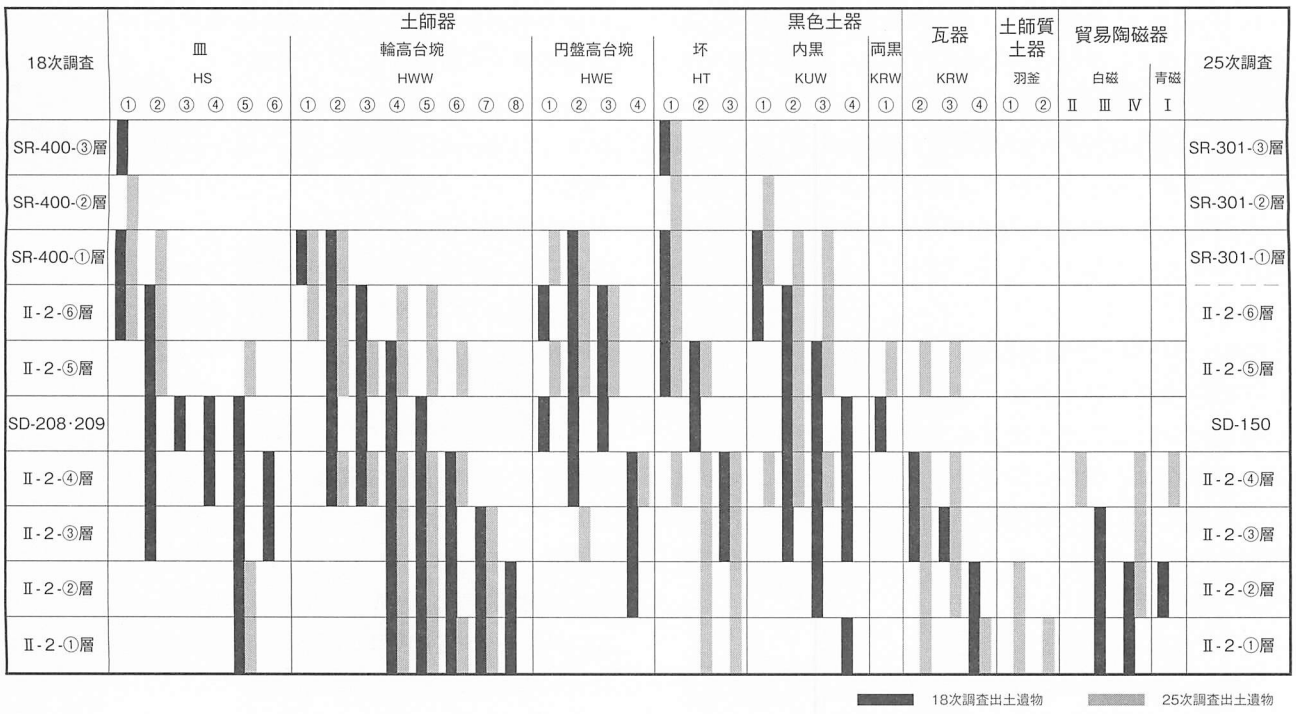

図132　25次調査・18次調査の各層・遺構における出土型式の消長

(2)　遺構の時期

遺構の変遷について、具体的時期を明示しないまま、記述を行ってきた。25次調査報告において触れてきた各層・遺構の出土遺物と、隣接連続する18次調査の対応する各層・遺構の出土遺物に、少なからぬ差異がみられたためである。両者の差異を提示した上で、18・25次調査に連続する各層・遺構について、現時点での位置づけを新たにする。

18次調査報告では、土師器・黒色土器の型式分類と、出土層位から読み取ることのできる型式変遷が示され、瓦器埦や貿易陶磁器による年代観を加えて、各層・遺構の年代比定がなされた。25次調査出土遺物についても、同じ型式分類に基づき、各層・遺構出土遺物の消長を確認する。ただし、18次調査報告で両黒黒色土器埦KRW ②～④としたものは、一般的な両黒土器と異なり、胎土や製作技法から瓦器の範疇で扱う。また、土師質土器羽釜は、口縁部から下がった位置に突帯を貼り付ける①と、口縁端部に接して突帯を貼り付ける②に分類する。さらに、白磁碗Ⅱ～Ⅳ類、龍泉窯系青磁碗Ⅰ-4類など、主要な貿易陶磁器も変遷に加えて整理し、各層・遺構毎に年代を再考・確認する(図132)。

[自然流路の埋没]

18次調査SR-400-③層は部分的な調査に留まり、古代後半までの遺物出土が報告され、SR-400-②層も柱状高台土師器等が出土し、古代後半の位置づけがなされた。一方、25次調査SR-301については、最深部未掘ながら、調査区ほぼ全域で③層の掘り下げを行い、縄文時代から古代に及ぶ大量の遺物が出土したが、内黒の黒色土器など、古代後半に降る遺物はみられず、8世紀後半から、遅くとも9世紀前半までである。SR-301-②層でも縄文時代から古代に及ぶ遺物出土が確認できたが、最新相は内黒の黒色土器(埦KUW ①・坏・甕)であり、少し降って9世紀後半である。また、Ⅱ-2-⑤・⑥層・SR-301-①層に紛れ込んだ、本来SR-301-②層出土の可能性がある遺物も、9世紀後半以前のものである。以上から、自然流路は9世紀後半頃までに大半が埋没しながら、10世紀後半頃までは流水を伴い、以後流水が停止したとみられる。

流水停止後のシルト質土については、18次調査SR-400-①層で、HS ①・HWW ①・②・HWE ②・HT ①・KUW ①の組み合わせに基づき、10世紀後半から11世紀の時間幅を読み取り、上部Ⅱ-2-⑤・⑥層出土遺物との整合性から、10世紀後半頃までとした。25次調査SR-301-①層では、18次調査出土遺物の組み合

わせに、HS②・HWE①・KUW②・③が加わり、10世紀後半から11世紀の時間幅の中でも、最新相まで含む。上位のⅡ-2-⑥が残った可能性は否定できないが、想定される時間幅の中でも新しい段階の、11世紀中頃から後半に位置づけられる可能性が高い。10世紀後半に流水が途絶えた後、11世紀中頃から後半までの間に、窪地へのシルト質土の堆積が徐々に進行したと復元できる。

[下層水田～中－下層水田間]

下層水田から中－下層水田間については、遺構変遷の整理において、25次調査出土遺構と18次調査出土遺構の明確な対応関係は確定できないとした。これを前提に、本来の下層水田開田、埋没、そして中－下層水田間の時期について、絞り込むことのできる可能性を提示する。

ⅰ） 下層水田の開田

18次調査では下層水田の開田を、Ⅱ-2-⑥層出土遺物の、HS①・②・HWW②・③・HWE①～③・HT①・KUW①・②の組み合わせから、10世紀後半から11世紀の時間幅に絞り込んだ。そして、自然流路の最終埋没を10世紀後半とし、下層水田の開田を11世紀とした。

25次調査でⅡ-2-⑥層として取り上げた遺物には、HWW④・⑤・KUW③が加わる。ただし、調査区北東部でSR-301-②層の遺物が紛れ込むとともに、調査区北部の下層水田に中－下層水田間の水田を残しているとすると、より新しい遺物が紛れ込んでいる可能性もある。それでも、25次調査で新たに加わった遺物は、紛れ込みと判断した瓦器を除いて、10世紀後半から11世紀の時間幅に収まる。

対応関係が確定できないため、18次調査下層水田の時期を25次調査Ⅱ-2-⑥層取り上げ遺物から直接判断できないが、SR-301-①層を11世紀中頃から後半に位置づけるなら、下層水田の開田も11世紀後半以降となる可能性がある。

ⅱ） 下層水田の埋没

下層水田の埋没については、18次調査Ⅱ-2-⑤層出土の、HS②・HWW②～④・HWE②・③・HT①・②・KUW②・③の組み合わせから、11世紀後半に求めた。

25次調査でⅡ-2-⑤層として取り上げた遺物には、HS⑤・HWW⑤・⑥・HWE①・KRW①、そして瓦器埦KRW②・③が加わる。ただし、Ⅱ-2-⑥層同様に、SR-301-②層の遺物と、より新しい遺物が紛れ込んでいる可能性がある。それでも、瓦器埦は、中－下層水田間の水田を残した可能性がある範囲以外で、しかも水田畦畔を検出した以降の下部でも、Ⅱ-2-⑤層から比較的安定して出土している。また、回転糸切り痕を残す土師器小皿（HS⑤）他、新たに加わった新相の遺物も、中－下層水田間の水田を残した可能性がある調査区北部に偏らない。一方で、Ⅱ-2-④層以上で認められる貿易陶磁器類がみられない。以上から、25次調査でⅡ-2-⑤層として取り上げた遺物は、瓦器埦にやや新しい様相がみられるものの、12世紀前半まで降ると判断する。

このような状況から、本来の下層水田埋没が12世紀前半まで降る可能性を指摘できる。

ⅲ） 中－下層水田間

18次調査では、中－下層水田間でSD-208・209が出土し、HS②～⑤・HWW②～⑤・HWE①～③・HT②・KUW②～④・KRW①、さらに和泉型瓦器埦を伴い、12世紀初頭から前半に位置づけた。

25次調査ではSD-150が出土したのみで、出土遺物もKUW②の存在を認めたに留まる。これに伴った水田が下層水田に含まれている可能性があるものの、やはり対応関係は特定できない。

18次調査で新たに登場が認められたHS③・④は、25次調査Ⅱ-2-⑤層でみられたHS⑤と同段階での出現が想定され、25次調査Ⅱ-2-⑤層からあまり時を経たとは考え難い。復元される水田配列も連続性を示唆する。Ⅱ-2-⑤層による下層水田の埋没にあまり時をおかない12世紀前半から中頃に、中－下層水田間の水田も位置づけられる可能性がある。

[中層水田の開田]

中層水田は、25次調査と18次調査で、その連続が最も安定的に確認できた水田である。18次調査Ⅱ-2-④層に伴った遺物の組み合わせは、HS②・④～⑥・HWW②～⑥・HWE②・④・HT③・KUW②～④、そして瓦器埦KRW②であり、貿易陶磁器として、白磁体部片の出土が報告されている。これに基づき、中層水田の開田を12世紀中頃と18次報告ではした。

一方、25次調査Ⅱ-2-④層では、HT①・②・KUW①・瓦器埦KRW③、そして、貿易陶磁器の白磁碗Ⅱ類・同Ⅳ類、龍泉窯系青磁碗Ⅰ-4類が加わる。白磁碗Ⅳ類と龍泉窯系青磁碗Ⅰ-4類の組み合わせは、和泉型瓦器埦Ⅲ-1・2類とともに、松山平野では12世紀末葉から13世紀前葉に比定され、18次調査ではこれらが出土したⅡ-2-②層を12世紀末葉から13世紀前葉と

した。25次調査Ⅱ-2-④層で伴う瓦器椀KRW③も、和泉型瓦器椀Ⅲ-1・2類あるいはⅢ-3類に相当し、中層水田の開田は12世紀末葉以降とすることができる。

[中層水田の埋没]

18次調査では、Ⅱ-2-③層に伴った、HS②・⑤・⑥・HWW④～⑦・HWE④・HT③・KUW②～④、そして瓦器椀KRW②・③から、12世紀後半に中層水田の埋没を位置づけた。

25次調査Ⅱ-2-③層出土遺物には、HWE②・HT②、白磁碗Ⅳ類が加わるが、むしろ古相あるいはⅡ-2-④層で既にみられたもので、新たにⅡ-2-③層の時期を降らせる遺物はない。それでも、Ⅱ-2-④層を12世紀末葉以降に位置づけたことにより、中層水田の埋没廃棄もそれ以降に位置づけられる。

[上層水田の開田]

上層水田の開田時期を、18次調査では、Ⅱ-2-②層出土の、HS⑤・HWW④～⑧・HWE④・KUW③、そして瓦器椀KRW④から、12世紀末葉～13世紀前葉とした。

25次調査Ⅱ-2-②層で、HT②・③・瓦器椀KRW②・③が加わるが、18次調査より新しいものではない。13世紀後半以降の土師質土器羽釜①を少数伴出しているが、25次調査上層水田面に上位の堆積を掘り残した部分があり、時期を降らせる根拠にならない。したがって、中層水田開田とした12世紀末葉以降で、18次調査成果が示す時期幅から、上層水田開田を13世紀前葉頃に比定する。

[上層水田の埋没]

18次調査Ⅱ-2-①層では、HS⑤・HWW④～⑧・KUW④、そして瓦器椀KRW④の組み合わせがあり、そこに13世紀代の青白磁合子蓋が伴い、13世紀中頃に特徴的な口禿の白磁皿が伴わないことから、13世紀前半に上層水田の埋没を求めた。

25次調査Ⅱ-2-①層では、HT②・③・瓦器椀KRW②が加わるものの、18次調査より新しいものでなく、貿易陶磁器も龍泉窯系Ⅰ-5b類など、13世紀前半に留まる。他方、14世紀代まで降る土師質土器羽釜②もあるが、やはり上層水田面での掘り残しから、時期比定の根拠とできない。18次調査成果にしたがい、13世紀前半に収まるとする。

[Ⅱ-1層]

25次調査では、Ⅱ-2-①・②層に14世紀代に降る土師質土器羽釜が混在し、Ⅱ-1層にも同様の遺物が認められた。Ⅱ-1層については、愛媛大学城北キャンパス造成直前の近現代に及ぶが、その最古相に14世紀前後の遺物が含まれることになる。

[まとめ]

一部対応が明確にできなかったものの、18次調査と25次調査に連続する各水田について、時期を検討してきた。18次調査成果と少なからず差があり、総じて、25次調査成果は新しい時期を示した。掘り下げ時に掘り残した部分もあるが、むしろ掘り下げすぎた場面が少なくない。それらの可能性は既に詳述してきた通りである。それ故、25次調査出土遺物が示す新相遺物により、位置づけを新たにした。

時期を下げる根拠となった遺物の一つが、25次調査Ⅱ-2-⑤層以上で認められた瓦器椀で、12世紀後半から13世紀に降るものが少なくないと判断したことによる。18次調査との連続が最も安定的におさえられた中層水田でも、25次調査Ⅱ-2-④層では12世紀後半以降の瓦器が出土し、さらに白磁碗Ⅳ類、龍泉窯系青磁碗Ⅰ-4類から、中層水田開田を12世紀末葉とした。中層水田以前の、自然流路埋没から下層水田・中－下層水田間についても新しい様相が窺え、11世紀後半から12世紀中頃までの可能性を指摘した。

以上から、現時点での各層・遺構の年代比定は、以下のようにまとめることができる。

自然流路の埋没

流水の停止：10世紀後半

窪地の埋没：11世紀中頃～後半

Ⅱ-2-⑥層の下層水田開田：(11世紀後半)

Ⅱ-2-⑤層による下層水田埋没：(12世紀前半)

中－下層水田間の水田耕作：(12世紀前半～中頃)

Ⅱ-2-④層の中層水田開田：12世紀末葉

Ⅱ-2-③層による中層水田埋没：12世紀末葉

Ⅱ-2-②層の上層水田開田：13世紀前葉

Ⅱ-2-①層による上層水田埋没：13世紀前半

この結果、11世紀後半から12世紀中頃にかけて、下層水田から中－下層水田間の耕作が、ほぼ水田配列を踏襲しながら続くのに対し、12世紀末葉以降、中層水田から上層水田へと短時間で変遷し、その中に上層水田開田の画期が見いだされることになる。

2　出土遺物

水田層は、11世紀から13世紀の遺物を中心に含み、表土層中には、戦前の練兵場時代の遺物が存在していた。一方、水田層以前の遺物は、自然流路SR-301埋土に大量に含まれる。シルト質土層であるSR-301-①層出土遺物においても遺物表面が磨滅したものが少なくなく、流水性のSR-301-②層・③層出土遺物では、さらに磨滅したものが多い。具体的移動距離は不明とせざるを得ないが、SR-301埋土出土の遺物は、25次調査区周辺および東側上流部からもたらされたものである。したがって、その遺物内容から、流路上流域を中心とした、25次調査区周辺の遺跡形成の動向を知ることができる。これまでの周辺既往調査成果との対応を確認しながら、以下時代毎に遺物内容を確認する。

(1)　縄文時代の遺物

自然流路SR-301埋土中最古は、少数ではあるが、縄文時代中期に遡る（図120－737～739）。周辺では、文京遺跡21次・24次調査でⅣ層下部から縄文前期末の土器が出土し、他にも愛媛大学城北構内の各所で、少数ながら中期の土器出土が確認されている。SR-301出土縄文中期土器も、このような文京遺跡一帯への、前期末以降の人間活動開始を示す資料と言える。

文京遺跡一帯で、遺構とともに、まとまった遺物が出土し始めるのは縄文後期である。愛媛大学構内では、東部の文京遺跡21次・24次調査で炭化物・焼土の集中があり、北部の９次調査や30次調査でも土器が出土している。それ以上に、南側の微高地では、まとまった遺物・遺構の出土がみられる。11次調査では野外炉を伴い多くの土器が出土し、27次調査で土壙や土器・炭化物の集中地点があり、31次調査では土壌化した包含層が広がり、土壙や柱穴も出土している。32次調査では自然流路が出土し、33次調査では土壙・野外炉などの出土である（表１）。このような後期遺跡の増大と呼応するように、SR-301においても縄文後期土器の出土が増え（図120･121）、双耳壺（図120－745）といった特殊な土器もみられる。

これが晩期となると、SR-301ではやや遺物数が減る（図121）。同時期の遺跡は、東側の文京遺跡21次・24次調査や道後今市遺跡があり、多くの遺物が出土している。これらに比べて、25次調査区の近傍での縄文晩期土器の出土は多くない。より東側に偏った縄文晩期遺跡の展開を、25次調査SR-301出土遺物も示していると言える。

(2)　弥生時代の遺物

自然流路SR-301からは、前期から後期のほぼ全期間に及ぶ弥生土器が出土している（図68・75～77・107～119）。25次調査区南側には、中期後葉から後期前葉に大規模密集型集落が営まれ、SR-301からは同時期の遺物が多く出土している。

ただし、この時期だけに偏ってはいない。文京遺跡21次・24次調査で確認されている前期前半の土器があるとともに、大学構内ではほとんど出土していない、前期後半から中期中葉の土器も一定量含まれる。これまでの大学構内における調査成果から、このような時期の遺跡が25次調査区周辺にまとまって展開していたとは考え難い。大学構内を超えた、より東側からの比較的長距離の流出が想定できよう。同時にこのことは、道後城北遺跡群における弥生時代遺跡の継続性を反映しているとも言える。

なお、出土弥生土器には、他地域からの搬入品あるいは他地域系譜のものが存在する。前期では角閃石を多く含んだ夜臼系の壺（図105－434）がある。中期後葉から後期には、中部瀬戸内系の土器が認められ（図109－513～517、図114－629、図117－716・717）、南九州の山ノ口式土器の搬入品もある（図68－133）。前期の壺を除いて、大規模密集型集落が営まれた時期に重なり、当該期の多様な地域間交流を反映したものと評価できる。

(3)　古墳時代の遺物

古墳時代になると、自然流路SR-301出土遺物は減る。前期はそれでも若干の遺物が認められ、周辺でも37次調査Ｘ区で古墳時代前期の自然流路の出土がみられた。ところが、中期の土師器はほとんどなく、須恵器にも中期に遡るものはほとんどみられない（図70・77・103・104）。この状況は、周辺既往調査で成果とも符合する。

それが後期になると、SR-301からは須恵器がまとまった出土数となる（図65・66・74・75・86・92・93

等)。古墳時代後期には、文京遺跡14次調査区・16次調査Ｂ区を中心に、南側の13次調査区、20次調査区、５次調査区にも遺跡の広がりを確認できる。14次調査では、竈を備えた方形四本柱の竪穴式住居が密集して営まれ、25次調査区SR-301は、ちょうどその北側にあたる。SR-301出土古墳時代後期の遺物は、その集落からの供給が中心と考えられる。

(4)　古代の遺物

続く古代において、自然流路SR-301の出土遺物は増大する。土師器・須恵器など、７世紀から下層水田が開田される11世紀までの遺物が認められる（図64～69・73～76・83～85・87～104等)。その中でも、８世紀代を中心とした赤彩を施した土師器が多く認められ（図84等)、他にも奈良二彩（図65）や須恵器硯（図100）等の特徴的な遺物が存在する（巻頭図版４)。軒瓦こそないが、布目瓦も少なくない（図66・73・101・102)。さらに、９世紀以降も、緑釉陶器（図55－24）や灰釉陶器（図64）などの遺物が存在する。

ところが、大学構内において、この時期の遺構・遺物はほとんど出土していない。やや範囲を広げてみても、松山大学構内遺跡６次調査で、９世紀後半から10世紀前半に位置づけられる土坑群が出土しているに留まる。ただ､この時期に該当する可能性のある遺構は、大学構内にも指摘できる｡25次調査区南側の微高地上、16次調査Ｂ区で出土したSB-1である。６間×３間の掘立柱建物で、南北長辺約11m、東西短辺４～4.5m

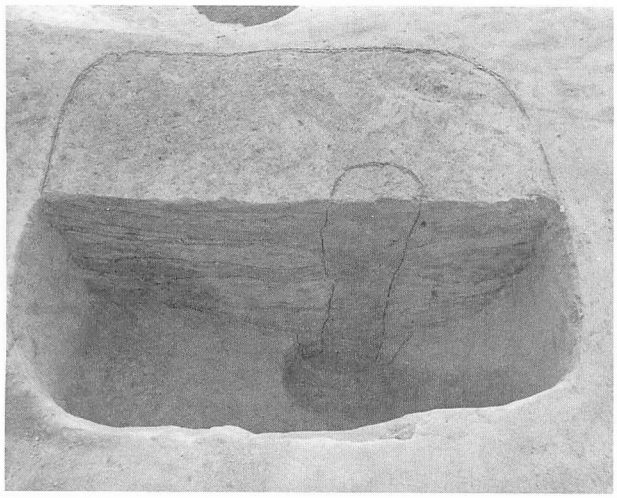

図133　文京遺跡16次調査Ｂ区 SB-001柱穴埋土（西から）

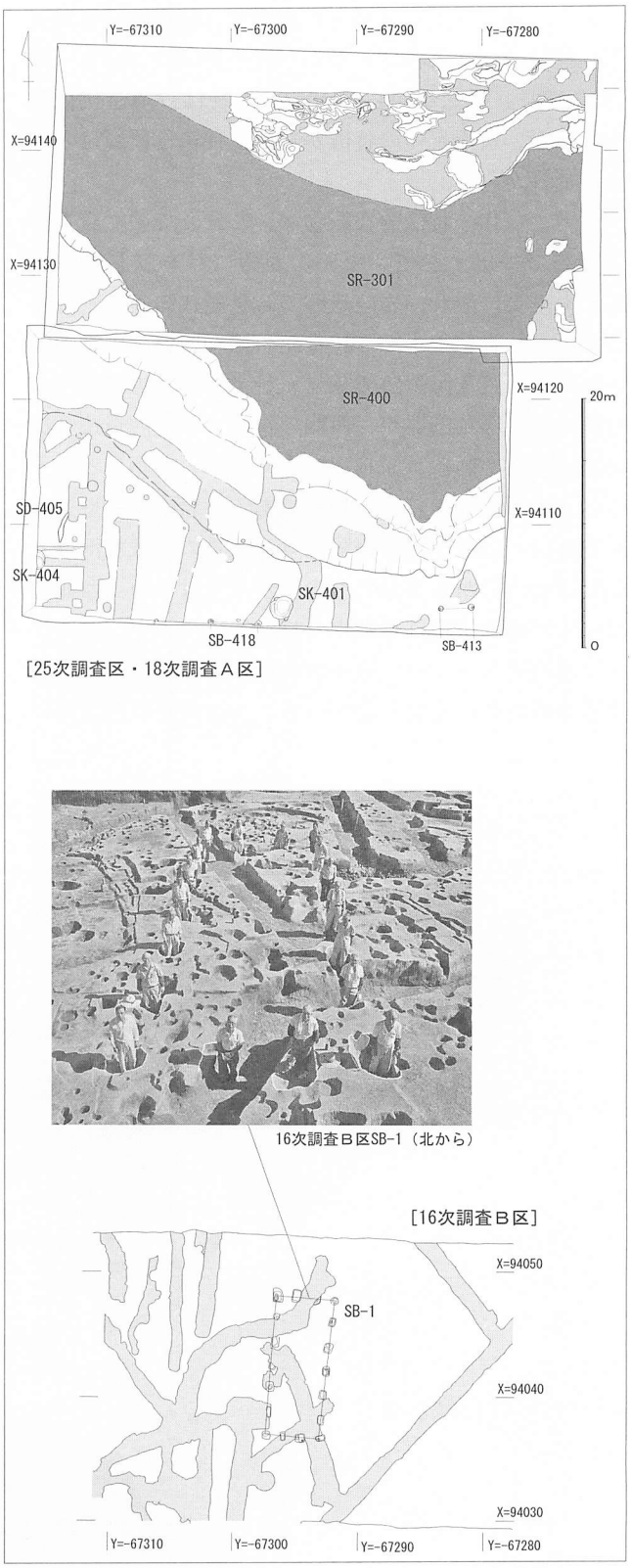

図134　文京遺跡25次調査・18次調査Ａ区
・16次調査Ｂ区の古代遺構配置図
（縮尺1/600）

を測る。柱穴平面形は隅丸長方形で、柱痕跡は径20cm弱。柱周囲は互層状にしっかり埋土を固めている（図133・134）。残念ながら出土した遺物は古墳時代後期までだが、遺構自体の特徴から、古代に位置づけられる可能性が高い。

一方、古代の特徴的な遺物も、これまでの文京遺跡の調査では出土していない。周辺に目を転じてみても、やや東に離れ、岩崎遺跡で８世紀代の暗文土師器や土馬、９世紀後半から10世紀の緑釉陶器・灰釉陶器が出土し、道後町遺跡で９世紀後半から10世紀前半の緑釉陶器・灰釉陶器が、西側の松山大学構内遺跡３次調査で暗文土師器、同６次調査で石帯（丸鞆）と若干の赤彩土師器がみられる程度である。岩崎遺跡や道後町遺跡は１km以上距離が隔たり、遺物の磨滅状況は、これほどの長距離移動のものばかりではない。西側の松山大学構内遺跡は現時点で最も近接するが、流路下流で遺物量も少ない。道後城北遺跡群において、古代の遺跡が各所に点在しながらも、25次調査自然流路にもたらされた一連の古代遺物の供給地は、別の未知の地点に求めざるを得ない（図135）。

遺物・遺構にしても、直接結びつけることのできる遺跡は周辺に確認されていないが、道後城北には湯之町廃寺や内代廃寺が存在し、温泉郡あるいはそれ以前の湯評の領域内に、文京遺跡一帯も含まれる。赤彩土師器や須恵器硯、奈良二彩などの特徴的な遺物からは、本調査区周辺に８世紀代の未見の官衙関係施設あるいは古代寺院の存在も充分想定される。そして、９世紀以降の緑釉陶器や灰釉陶器の存在は、想定される官衙関係施設あるいは古代寺院の機能が、９世紀から10世紀まで存続した可能性を示唆する。松山大学構内遺跡６次調査の土坑群は、その具体的遺構の広がりの一部の可能性がある。

道後城北遺跡群においては、弥生時代だけでなく、官衙関係施設あるいは古代寺院といった古代遺跡も展開していたことを、今回の調査から推測できる。詳細は、周辺上流域での調査の進展を待って検討したい。

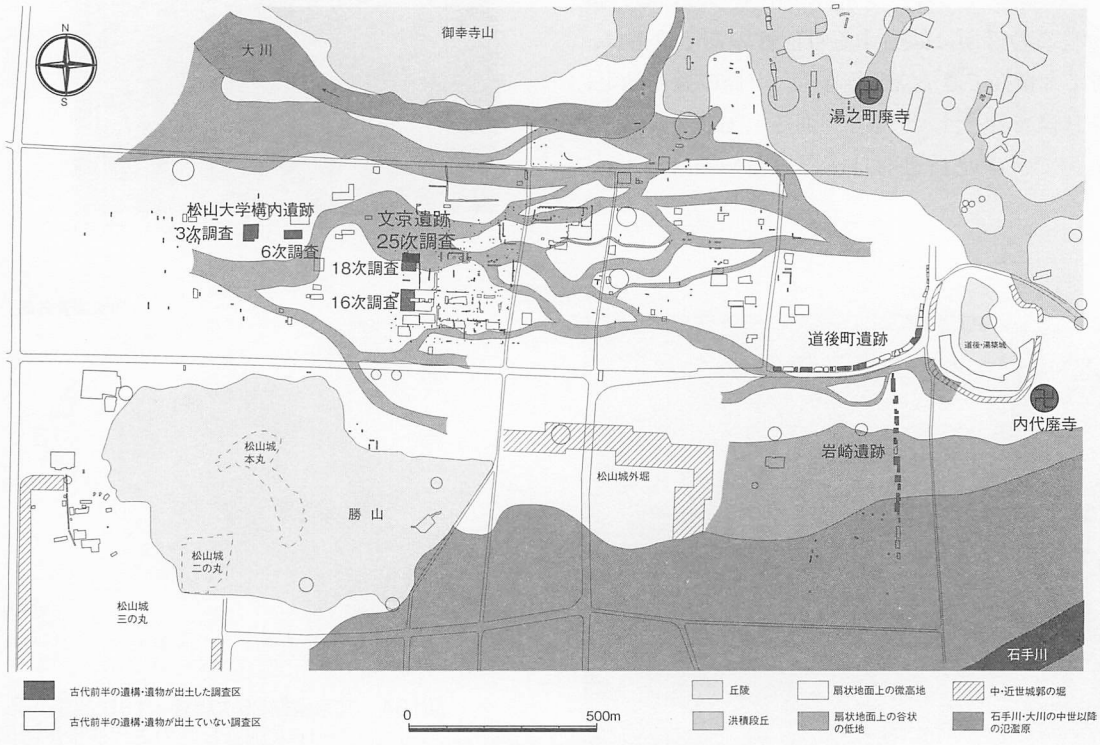

図135　道後城北における古代前半の遺跡　（縮尺1/20,000）